ISSN 2186-7763

おきなわ薬剤師会報

No.261.　2012(平成24年)　11・12月号

社団法人 沖縄県薬剤師会

／目／次／

公　　示　会長候補者及び監事選挙に関する公示……神村　武之…(1)
薬剤師倫理規定　……(25)
巻　頭　言　一般社団法人移行に伴う諸選挙について……野崎　真敏…(26)
表　　彰　2012秋の叙勲 瑞宝双光章 受章(我部政男先生) ……(28)
平成24年度沖縄県薬事功労者知事表彰(金城栄一先生・田場英治先生) ……(28)
平成24年度薬事功労者厚生労働大臣表彰(大橋得二先生) ……(29)
第44回沖縄県公衆衛生大会長表彰(我喜屋美香先生) ……(29)
沖縄学術大会　第26回沖縄県薬剤師会学術大会報告……亀谷　浩昌…(31)
第26回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム ……(33)
第26回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会報告……大城　喜仁…(38)
第26回沖縄県薬剤師会学術大会会員発表審査報告 …… 笠原大吾・伊藤昌徳・山里 勇…(40)
第26回沖縄県薬剤師会学術大会奨励賞受賞発表要旨 ……(42)
薬と健康の週間　くすりと健康フェア(県民公開講演会)……宮城　敦子…(45)
薬祖祭・街頭キャンペーン・平成24年度薬と健康の週間表 ……(50)
会務ハイライト　平成24年度第１回日本薬剤師会九州ブロック会議報告……吉田　洋史…(52)
研　修　会　開局委員会主催第２回スキルアップ研修会報告……新垣　秀幸…(54)
平成24年度高度管理医療機器等継続研修会報告……山城　　専…(55)
委員会だより　記念に写真を撮って差し上げます！……広報委員会…(55)
実 務 実 習　平成24年度第Ⅱ期薬学生実務実習報告……我喜屋美香…(56)
平成24年度薬学生実務実習Ⅱ期生からの体験記・感想 ……(57)
月例相談会　第105回健康とおくすり相談会報告(南部地区薬剤師会) ……新垣　秀幸…(62)
第106回健康とおくすり相談会報告(那覇地区薬剤師会) ……姫野さやか…(63)
投　　稿　第35回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプ参加報告……外間　　登…(64)
九山薬学大会　第74回九州山口薬学大会医療安全対策連絡協議会報告……吉冨　弓江…(66)
日薬学術大会　第45回日本薬剤師会学術大会参加報告……川上雄一朗…(68)
ＦＡＰＡ　アジア薬剤師連合学術大会(FAPA2012)に参加して ……玉城　武範…(71)
部会だより　学校薬剤師について知っていますか？～手洗いとインフルエンザ～…久場加代子…(74)
Ｄ　　Ｉ　薬事情報おきなわ №219……薬事情報センター…(75)
県民の皆様へ　あまくま薬立つ情報 ……(87)
薬学の歴史　第11回 修道院の薬学……(88)
第12回 最初の薬局……(89)
薬　草　学　暮らしの中の薬草学 第５回 クワンソウ(アキノワスレグサ)……狩俣　イソ…(90)
リレー随筆　授乳婦と薬剤……伊差川サヤカ…(92)
卒 煙 物 語　その38 ２回目 ……え　ん　こ…(94)
薬連だより　第５回若手薬剤師指導者育成フォーラム報告……吉田　将司…(95)
平成24年度日本薬剤師連盟九州ブロック協議会が開催される……吉田　久子…(96)
石波茂自民党幹事長と医療関係団体との懇談会……山城　英人…(98)
藤井もとゆき国会レポート～秋の臨時国会が始まる～……藤井もとゆき…(99)
沖縄県薬剤師連盟会務報告(平成24年10月・11月分) ……(124)
告知ポスター　くすりと健康フェア(県民公開講演会)配布用告知ポスター ……(100)
転 載 記 事　くすりと健康フェア(県民公開講演会)開催案内告知記事 ……(101)
論壇 お薬手帳持参忘れずに～安心安全な処方に必要～ ……池間　記世…(102)
論壇 違法ドラッグ乱用防止を～学校での教育徹底が重要～ ……前濱　朋子…(103)
盲目の大城さん 健康と笑顔歌う～県・薬剤師会フェア～……(104)
季節風「薬と健康の週間」街頭キャンペーン ……(104)
広報委員会による「くすりと健康フェア」告知の記事 ……(104)
薬は正しく飲もう「健康週間」でパンフ配布 (宮古地区薬剤師会)……(105)
「お薬手帳」で健康の管理を(一般投稿記事より)……(105)
琉球人形通し文化発信～多分野のご活躍の久場とよ先生～ ……(106)
探せグッジョブ！～久米島小の16人・薬局や郵便局へ～ ……(106)
ティータイム　年金食(一般投稿記事より) ……(106)
論壇　障がい者への虐待防げ～当会指導弁護士の論壇記事を紹介～ ……(107)
年 間 目 次　おきなわ薬剤師会報 平成24年もくじ(通巻256号～261号)……(108)
会 務 報 告　平成24年10月～11月分 ……(120)
訃　　報　ご逝去 上原克美先生、平山靖先生……(123)
会 員 作 品　誌上ギャラリー(裏表紙)について ……(125)
編 集 後 記　……(125)

お 知 ら せ　沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内 ……(27)
日本薬剤師会生涯学習支援システムＪＰＡＬＳについて ……(30)
県薬が会員に販売している印刷物等 ……(65)
会報原稿募集のご案内 ……(67)

・表　紙

題字：豊平峰雲（とよひらほううん）

『アジサシ』　photo by 小渡 静男（新川薬局）　撮影地：コマカ島

公　示

平成２５年１月１４日

会　員　各　位

社団法人　沖縄県薬剤師会
会長　神　村　武　之

会長候補者及び監事選挙に関する公示

本会は、標記に示す次期会長候補者及び監事選挙を下記のとおり行いますので、立候補される会員は届け出て下さい。

記

区　分	会長・監事選挙
選　挙　日	**平成２５年　３月２４日（日）**
場　　所	**沖縄県薬剤師会館**
締　切　日	**平成２５年　３月　９日（土）**

※なお、本選挙は、従来開催されてきた３月の臨時代議員会で執り行われます。

一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則（案）

（趣　　旨）
第１条　沖縄県薬剤師会（以下、「本会」という。）の会長候補者及び監事の選挙は、定款に定めるもののほか、本規則によって行う。

（選挙期日等の公示）
第２条　会長は、前条の選挙を行うときは、選挙を行う日の６０日前までに、届出の受付期間、締切日時、その他選挙に関し必要な事項を本会の事務局に掲示するとともに、会員に周知させるため、沖縄県薬剤師会報等に掲載しなければならない。

（被選挙資格）
第３条　会長候補者及び監事の被選挙資格は、選挙を行う日の９０日前までに、沖縄県薬剤師会への入会手続を、正式に完了している正会員とする。

（立候補の届出）
第４条　会長候補者及び監事の候補者になろうとする会員は、第２条による公示の日から選挙を行う日の１５日前までに、別に定める文書により、別に定める書類を添えて、選挙管理委員長に届け出なければならない。ただし、同時に２つ以上の選挙の候補者になることはできない。
２　前項の届出の受付は、土曜日、日曜日及び祝日を除く日の午前９時から午後５時までの間に、本会の事務局において行う。
３　郵送による届出は、締切日時までに、本会の事務局に到着したものをもって有効とする。

（候補者推薦の届出）
第５条　会長候補者及び監事の候補者を推薦しようとする正会員は、別に定める文書により、３名以上が連署して、推薦することができる。ただし、同一会員が推薦できる候補者数は、それぞれの選挙において選ぶべき員数を超えてはならない。
２　前項の届出は、前条各号の規定に準じて行うほか、被推薦者が署名した承諾書を添えなければならない。

（立候補の辞退と推薦届の取下）
第６条　立候補を届け出た会員は、その選挙が行われるまでに、本人が署名した文書により、選挙管理委員長に届け出て、立候補を辞退することができる。
２　候補者の推薦を届け出た会員は、被推薦者の承諾を得て、前項に準じ、推薦届を取り下げることができる。

（候補者一覧表の作成と送付）
第７条　選挙管理委員長は、第４条または第５条による届出を締め切ったときは、直ちに候補者一覧表を作成し、本会の事務局に掲示するとともに、速やかに、代議員及び関係者に送付しなければならない。
２　前項の候補者一覧表の記載順位は、立候補届出の受付順による。

（投票権者と投票の方法）
第８条　会長候補者及び監事の投票権者は、投票を行うため議長が議場の閉鎖を命じたとき、議場内にいる代議員とする。
２　投票は、別に定める投票用紙により、無記名で、当選を可とする者に定数以内で丸印を付すことによって行う。

（投票の効力）
第 9 条　投票の効力は、議長が代議員のうちから指名した選挙立会人が、議長の意見を聴いて決定する。

（無投票当選）
第１０条　候補者が、その選挙によって選ぶべき員数を超えないとき、または超えなくなったときは、社員総会の議決を経て、投票を行わずに、その候補者をもって当選者とすることができる。
２　前項による議決が得られず、かつ第６条による立候補の辞退、または推薦届の取下げがないときは、投票を行う。
３　前項による投票においては、第１２条第１項、または第１３条第１項及び第２項に定める必要得票を得た者をもって、当選者とする。

（選挙を行う日の補欠選挙）
第１１条　候補者が、その選挙によって選ぶべき員数に不足するとき、または前条第２項及び第３項による投票により選ぶべき員数が不足となったときは、その選挙を行う日に、社員総会の議決を経て、別段の方法により、補欠選挙を行うことができる。
２　前項に定める別段の方法によるときは、第４条、第５条、第７条の規定は適用しない。

（会長候補者の必要得票数と当選者の決定）
第１２条　会長候補者の選挙においては、第８条第１項の投票権者の過半数の得票がなければならない。
２　過半数の得票者がいないときは、多数を得た上位２名を候補者として、再選挙を行う。

（監事の必要得票数と当選者の決定）
第１３条　監事の選挙においては、第８条第１項の投票権者の過半数の得票がなければならない。
２　前項の必要得票を得た者のうち、多数を得た者から、順次選ぶべき員数までを当選者とする。
３　得票数が同じときは、議長が、くじで当選者を定める。

（当選者の確定と宣告）
第１４条　議長は、選挙立会人から投票結果の報告を受けたときは、各候補者の得票数その他必要な事項を発表し、当選者の確定を宣告するものとする。

（規定していない事項と疑義の処理）
第１５条　本規則に定めていない事項、あるいは選挙に関する疑義は、議長が社員総会に諮って処理する。
（規則の改廃）
第１６条　本規則は、理事会の議決を経て改廃することができる。

附　　則
１　本規則は、制定の日（平成　年　月　日）から施行する。

一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則施行細則（案）

（趣　　旨）

第 1 条　沖縄県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則（以下、規則という。）を円滑に運用するため、本細則を定める。

（立候補届出書）

第 2 条　規則第４条において、別に定める文書とは、立候補届出書のことをいい、その様式は別紙で定める。

（候補者推薦届出書及び被推薦者の承諾書）

第 3 条　規則第５条において、別に定める文書とは、候補者推薦届出書のことをいい、添付しなければならない被推薦者の承諾書とともに、その様式は別紙で定める。

（履歴書・略歴・趣意書）

第 4 条　規則第４条において、別に定める書類とは、履歴書（保存用）と略歴・趣意書（広報用）のことをいい、その様式は別紙で定める。前記の略歴・趣意書は、候補者一覧表に掲載することを目的とし、候補者の略歴、候補者となった趣意、所信その他を、２２字×１０行以内に記載するものとする。超過部分は、候補者一覧表作成時に抹消する。候補者一覧表の様式は、別紙で定める。略歴・趣意書の内容は自由とするが、本会の信用を傷つけ、個人を中傷するようなことがあってはならない。

（立候補辞退届及び候補者推薦取下届）

第 5 条　立候補辞退届出書及び候補者推薦取下届出書の様式は、別紙で定める。

（候補者届出状況照会の回答及び一覧表の作成と掲示）

第 6 条　選挙管理委員長は、会員から候補者の届出状況について照会があったときは、その時点における受付人数及び氏名を回答するものとする。ただし、候補者の略歴・趣意書の内容並びに候補者推薦届出書の推薦者の氏名は、公平を期して事務局長が保管するものとし、候補者一覧表を作成して本会の事務局に掲示するときまで、会員に漏らしてはならない。

（立候補届出の締め切り等）

第 7 条　選挙管理委員長は、立候補または推薦の届出を締め切ったときは、直ちに候補者が被選挙資格者として適格であることを確認し、候補者一覧表を作成しなければならない。

（候補者名簿の掲示等）

第 8 条　選挙管理委員長は、選挙の当日、候補者名簿を投票所に掲示するとともに、出席代議員に配付するものとする。候補者名簿の様式は、別紙で定める。

（投票用紙）
第 9 条　投票用紙の様式は、別紙で定める。

（所信表明と推薦演説）
第１０条　立候補者、被推薦者または推薦者の１名は、議長の許可を得て、それぞれの選挙の前に所信表明または推薦演説をすることができる。前記の順位は候補者一覧表の順位とし、会長候補者選挙にあっては１名３分以内、監事選挙にあっては１名１分以内とする。ただし、議長は、総会に諮ってその時間を延長することができる。

（投票権者数の確認及び宣告）
第１１条　議長は、投票を行うため議場を閉鎖したときは、直ちに投票権者数を確認し、その数を宣告しなければならない。

（選挙立会人）
第１２条　選挙立会人は議長が投票権者の中から３名指名するものとし、候補者以外の代議員とする。

（無効投票）
第１３条　次の投票は、無効とする。
（１）正規の投票用紙を用いないもの
（２）定められた記号（丸印）による記載方法によらないもの
（３）定数を超える候補者に丸印を記載したもの

（疑義の処理）
第１４条　本細則に定めていない事項、あるいは疑義が生じたときは、議長が総会に諮って処理する。

（細則の改廃）
第１５条　本細則は、議長提案により、総会の承認を経て改廃することができる。

附　　則
１　本細則は、制定の日（平成　年　月　日）から施行する。

沖縄県薬剤師会会長候補者選挙届出書関係書類について

別紙１　　立候補届出書の様式
別紙２－１　候補者推薦届出書の様式
別紙２－２　候補者推薦届出書　推薦者名簿の様式
別紙３　　承諾書の様式
別紙４　　履歴書の様式
別紙５　　略歴・趣意書の様式
別紙６　　立候補辞退届出書の様式
別紙７－１　候補者推薦取下届出書の様式
別紙７－２　候補者推薦取下届出書　推薦取下者名簿

〔届出書〕
１．立候補届出の場合
　　別紙１、別紙４、別紙５　〔辞退届は、別紙６〕

２．推薦候補届出の場合
　　別紙２－１、別紙２－２、別紙３、別紙４、別紙５
　　〔辞退届は、別紙７－１、別紙７－２〕

沖縄県薬剤師会監事選挙届出書関係書類について

別紙８　　立候補届出書の様式
別紙９－１　候補者推薦届出書の様式
別紙９－２　候補者推薦届出書　推薦者名簿の様式
別紙１０　　承諾書の様式
別紙１１　　履歴書の様式
別紙１２　　略歴・趣意書の様式
別紙１３　　立候補辞退届出書の様式
別紙１４－１　候補者推薦取下届出書の様式
別紙１４－２　候補者推薦取下届出書　推薦取下者名簿

〔届出書〕
１．立候補届出の場合
　　別紙８、別紙１１、別紙１２　　〔辞退届は、別紙１３〕

２．推薦候補届出の場合
　　別紙９－１、別紙９－２、別紙１０、別紙１１、別紙１２
　　〔辞退届は、別紙１４－１、別紙１４－２〕

＜上記の書類のご使用については、後頁を複写、もしくは当会ホームページよりダウンロードして下さい。＞

〔別紙１　立候補届書の様式〕

会長候補者立候補届出書

立候補者氏名：

私儀　沖縄県薬剤師会会長候補者に立候補いたしますので、履歴書及び略歴・趣意書を添えてお届けいたします。

平成　　年　　月　　日

立候補者氏名：　　印

住　　所　（〒　　－　　）

所　　属（地区・支部）

沖縄県薬剤師会会長　殿

〔別紙２－１　候補者推薦届出書の様式〕

会長候補者推薦届出書

被推薦者氏名：

上記の者を沖縄県薬剤師会会長候補者として推薦いたしますので、候補者の承諾書、履歴書及び略歴・趣意書を添えてお届けいたします。

平成　　年　　月　　日

推薦者（代表）氏名　　印
（ほか　　人）

住　　所　（〒　　－　　）

所　　属（地区・支部）

沖縄県薬剤師会会長　殿

〔別紙２－２　候補者推薦届出書　推薦者名簿の様式〕

（No.　　）

会長候補者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　推薦名簿

推薦者（代表）氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印
住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印
住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印
住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印

〔別紙３　承諾書の様式〕

承　　諾　　書

候補者氏名：

私儀　沖縄県薬剤師会会長候補者として推薦されることを承諾いたします。

平成　　年　　月　　日

候補者氏名：　　印

住　　所　（〒　　－　　）

所　　属（地区・支部）

沖縄県薬剤師会会長　殿

〔別紙４　履歴書の様式〕

履　　歴　　書

（平成　　年　　月　　日現在）

フリガナ			男　・　女
氏　　名			
生年月日	明治 大正　　年　　月　　日生 昭和　　（満　　歳）		
自宅	現住所	（〒　　－　　）	
	電　　話 ＦＡＸ	（　　）－（　　）－（　　） （　　）－（　　）－（　　）	
勤務先	名　　称		
	所在地	（〒　　－　　）	
	電　　話	（　　）－（　　）－（　　）	

元号	年	月	主な職歴・公職歴・薬剤師会関係役職歴等

〔別紙５　略歴・趣意書の様式〕

（略歴）

選挙の種類	（新・現・元）	専門の分野	開局・病院・学術・その他（　　）		
ふりがな		年齢	歳	性別	男・女
氏　　名					
薬科大学卒業校名		所属			
主な職歴					
薬剤師会の主な役職歴					

（趣意書：22×10＝220字以内）

〔注〕この略歴・趣意書のコピーを綴じたものを候補者一覧表として関係者に配布致します。（選挙公報に担当）

〔別紙６　立候補辞退届出書の様式〕

会長候補者立候補辞退届出書

立候補者氏名：

私儀　沖縄県薬剤師会会長候補者として立候補届出書を提出いたしましたが、都合により辞退いたしますのでお届けいたします。

平成　　年　　月　　日

立候補者氏名：　　印

住　　所　（〒　　－　　）

所　　属（地区・支部）

沖縄県薬剤師会会長　殿

〔別紙７－１　候補者推薦取下届出書の様式〕

会長候補者推薦取下届出書

被推薦者氏名：

上記の者を沖縄県薬剤師会会長候補者として推薦いたしましたが、都合により推薦を取り下げますのでお届けいたします。

なお、候補者の承諾を得ていることを申し添えます。

平成　　年　　月　　日

推薦者（代表）氏名　　印

（ほか　　人）

住　　所　（〒　　－　　）

所　　属（地区・支部）

沖縄県薬剤師会会長　殿

〔別紙７－２　候補者推薦取下届出書　推薦取下者名簿の様式〕

(No.　　)

会長候補者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　推薦取下者名簿

推薦取下者（代表）氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印
住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印
住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印
住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印

〔別紙８　立候補届書の様式〕

監事立候補届出書

立候補者氏名：

私儀　沖縄県薬剤師会監事に立候補いたしますので、履歴書及び略歴・趣意書を添えてお届けいたします。

平成　　年　　月　　日

立候補者氏名：　　印

住　　所　（〒　　－　　）

所　　属（地区・支部）

沖縄県薬剤師会会長　殿

〔別紙９－１　候補者推薦届出書の様式〕

監事候補者推薦届出書

被推薦者氏名：

上記の者を沖縄県薬剤師会監事候補者として推薦いたしますので、候補者の承諾書、履歴書及び略歴・趣意書を添えてお届けいたします。

平成　　年　　月　　日

推薦者（代表）氏名　　印

（ほか　　人）

住　　所　（〒　　－　　）

所　　属（地区・支部）

沖縄県薬剤師会会長　殿

〔別紙９－２　候補者推薦届出書　推薦者名簿の様式〕

（No.　　）

監事候補者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　推薦名簿

推薦（代表）氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印
住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印
住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印
住所　（〒　　－　　）		
所属（地区・支部）	氏名	印

〔別紙１０　承諾書の様式〕

承　　諾　　書

候補者氏名：

私儀　沖縄県薬剤師会監事候補者として推薦されることを承諾いたします。

平成　　年　　月　　日

候補者氏名：　　印

住　　所　（〒　　－　　）

所　　属（地区・支部）

沖縄県薬剤師会会長　殿

〔別紙１１　履歴書の様式〕

履　　歴　　書

（平成　　年　　月　　日現在）

フリガナ			男　・　女
氏　　名			
生年月日	明治 大正　　年　　月　　日生 昭和　　（満　　歳）		
自宅	現住所	（〒　　－　　）	
	電　　話 ＦＡＸ	（　　）－（　　）－（　　） （　　）－（　　）－（　　）	
勤務先	名　　称		
	所在地	（〒　　）	
	電　　話	（　　）－（　　）－（　　）	

元号	年	月	主な職歴・公職歴・薬剤師会関係役職歴等

〔別紙１２　略歴・趣意書の様式〕

（略歴）

選挙の種類	（新・現・元）	専門の分野	開局・病院・学術・その他（　　）		
ふりがな		年齢	歳	性別	男・女
氏　　名					
薬科大学卒業校名		所属			
主な職歴					
薬剤師会の主な役職歴					

（趣意書：22×10＝220字以内）

〔注〕この略歴・趣意書のコピーを綴じたものを候補者一覧表として関係者に配布致します。（選挙公報に担当）

〔別紙１３　立候補辞退届出書の様式〕

監事立候補辞退届出書

立候補者氏名：

私儀　沖縄県薬剤師会監事候補者として立候補届出書を提出いたしましたが、都合により辞退いたしますのでお届けいたします。

平成　　年　　月　　日

立候補者氏名：　　印

住　　所　（〒　　－　　）

所　　属（地区・支部）

沖縄県薬剤師会会長　殿

〔別紙１４－１　候補者推薦取下届出書の様式〕

監事候補者推薦取下届出書

被推薦者氏名：

上記の者を沖縄県薬剤師会監事候補者として推薦いたしましたが、都合により推薦を取り下げますのでお届けいたします。

なお、候補者の承諾を得ていることを申し添えます。

平成　　年　　月　　日

推薦者（代表）氏名　　印

（ほか　　人）

住　　所　（〒　　－　　）

所　　属（地区・支部）

沖縄県薬剤師会会長　殿

〔別紙１４－２　候補者推薦取下届出書　推薦取下者名簿の様式〕

(No.　　)

監事候補者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　推薦取下者名簿

推薦取下者（代表）氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所　（〒　　－　　）

所属（地区・支部）　　氏名　　印

住所　（〒　　－　　）

所属（地区・支部）　　氏名　　印

住所　（〒　　－　　）

所属（地区・支部）　　氏名　　印

住所　（〒　　－　　）

所属（地区・支部）　　氏名　　印

薬剤師倫理規定

平成９年10月　日本薬剤師会改訂

前　文

薬剤師は、国民の信託により、日本国憲法及び法令に基づき、医療の担い手の一員として、人権の中でもっとも基本的な個人の生命・健康の保持促進に寄与する責務を担っている。

この責務の根底には生命への畏敬に発する倫理が存在するが、さらに、調剤をはじめ、医薬品の創製から供給、適正な使用に至るまで、確固たる薬の倫理が求められる。

薬剤師が人々の信頼に応え、医療の向上及び公共の福祉の増進に貢献し、薬剤師職能を全うするため、ここに薬剤師倫理規定を制定する。

第１条（任務）

薬剤師は、個人の尊厳の保持と生命の尊重を旨とし、調剤をはじめ、医薬品の供給、その他の薬事衛生をつかさどることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって人々の健康な生活の確保に努める。

第２条（良心と自律）

薬剤師は、常に自らを律し、良心と愛情をもって職能の発揮に努める。

第３条（法令等の遵守）

薬剤師は、薬剤師法、薬事法、医療法、健康保険法、その他関連法規に精通し、これら法令等を遵守する。

第４条（生涯研鑽）

薬剤師は、生涯にわたり高い知識と技能の水準を維持するよう積極的に研鑽するとともに、先人の業績を顕彰し、後進の育成に努める。

第５条（最善尽力義務）

薬剤師は、医療の担い手として、常に同僚及び他の医療関係者等と協力し、医療及び保健、福祉の向上に努め、患者の利益のため職能の最善を尽くす。

第６条（医薬品の安全性等の確保）

薬剤師は、常に医薬品の品質、有効性及び安全性の確保に努める。また、医薬品が適正に使用されるよう、調剤及び医薬品の供給に当たり患者等に十分な説明を行う。

第７条（地域医療への貢献）

薬剤師は、地域医療向上のための施策について、常に率先してその推進に努める。

第８条（職能間の協調）

薬剤師は、広範にわたる薬剤師職能間の相互協調に努めるとともに、他の関係職能をもつ人々と協力して社会に貢献する。

第９条（秘密の保持）

薬剤師は、職務上知り得た患者等の秘密を、正当な理由なく漏らさない。

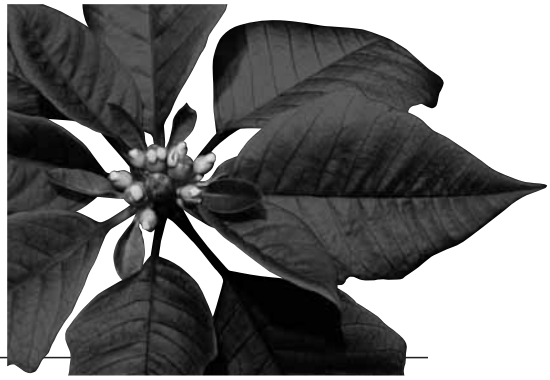
第10条（品位・信用等の維持）

薬剤師は、その職務遂行にあたって、品位と信用を損なう行為、信義にもとる行為及び医薬品の誤用を招き濫用を助長する行為をしない。

巻頭言

一般社団法人移行に伴う諸選挙について

選挙管理委員会
委員長　野崎 真敏



公益法人制度の改革に伴って、沖縄県薬剤師会は一般社団法人に移行することが去った５月２７日の本会総会において議決されました。一般社団法人に移行することによって、総会の形態と会長の選出方法が大きく変わります。

先ず総会についてですが、移行する前は全会員を対象に行っていましたが、移行後は概ね正会員25人の中から１人の割合で選出される代議員48人で総会を行うことになります。地区薬剤師会から選ばれた代議員で構成する制度に移行することによって、それぞれの地域が抱える様々な問題が集約され、より活発で効率のよい議論になることが期待されます。

一般社団法人への移行は平成２５年４月１日の予定ですが、移行に先立って移行後の代議員の選挙を平成２４年８～９月に実施しました。８月１日～９月１０日に立候補者の受付を行い、９月１３～３０日に郵送による投票、３０日に開票し１０月５日に当選者の告示を行う予定でしたが、立候補者の数が定員以内であったため全員無投票当選という結果になりました。代議員選挙の結果については、会報Ｎｏ.２６０（平成２４年９・１０月号）に掲載されている通りです。なお、代議員の選挙は、新たに作成された代議員選挙規程に基づいて行いました。

次に会長（代表理事）と監事の選出ですが、移行後の定款第２４条３項で「会長は社員（代議員）の議決によって推薦のあった会長候補者の中から選定することができる」とされているので、代議員会で会長候補者と監事の選挙を行い、理事会で選任する方向で「会長候補者及び監事選挙規則」の作成を進めています。移行後の初代の会長候補と監事については移行前の代議員会で選挙を行い、新理事による理事会で会長を選任することになります。

理事については、変更前の選挙管理規程第１４条３項「地区薬剤師会から各１人、職種部会から各１人を選出し、選出された理事の他に会長が必要と認めた場合、定款１９条に定める理事の定数の範囲で、新たに理事を指名することができる」に沿った規則の作成を検討しています。

定款第２５条１項から６項（理事の職務及び権限）に謳われているように、新法人に移行後は、各理事の業務分掌が明確にされ、業務執行にあたっては大きな権限が付与されますが、それに伴う責任も発生します。一般社団法人に変更になることによって法人法１１１条第１項の賠償責任など、会の職務を執行する理事の責任が以前に比べて遙かに重くなります。会社法人の取締役並みに責任が重くなる執行役員の職務がスムーズに遂行できるように、代議員はもとより会員各位の協力を切に望みます。

全ての会員が自由に役員に立候補できるように、新しい規定では被選挙資格を変更前の「選挙を行う日の１年前」から「９０日前」に大幅に短縮しました。本会の目的である「薬剤師の倫理の高揚及び学術の振興を図り、薬学及び薬業の進歩発展を図ることにより、沖縄県民の健康な生活の確保・向上に寄与すること」に共鳴する先生方の執行役員への積極的な挑戦を期待します。

最後に、紙面を借りまして、選挙管理規程の作成に貴重なご助言をくださいました本会指導弁護士の照屋俊幸先生に深く感謝申し上げます。

平成24年度 沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内

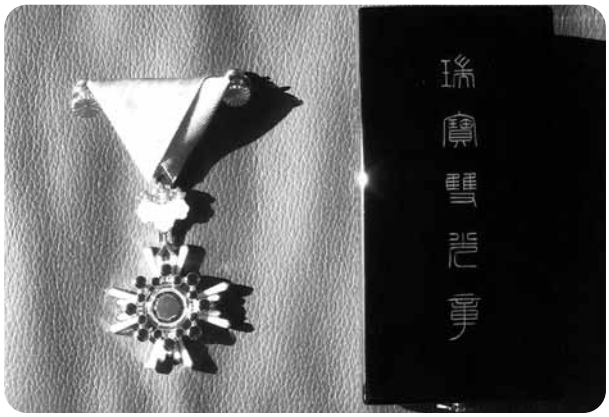
日時：平成25年１月20日（日）午後６時～
会場：沖縄都ホテル 虹雲の間（地階）

【旭日双光章】	我喜屋　宏氏	久保田　輝　雄氏
【瑞宝双光章】	我部政男氏	
【厚生労働大臣表彰】	大橋得二氏	
【九州山口薬剤師会会長賞】	亀谷浩昌氏	
【日本薬剤師会有功賞】	玉城輝幸氏	
【沖縄県知事表彰】	金城栄一氏	田場英治氏
【沖縄県薬剤師会長表彰】	崎山慶子氏	渡具知一枝氏
	村田成夫氏	荒谷敏巳氏
	富田雅章氏	
【沖縄県学校保健会長表彰】	伊敷幸太郎氏	宮良善孝氏
【沖縄県公衆衛生大会長表彰】	我喜屋美香氏	
【全国医薬品配置協議会会長表彰】	島袋　薫氏	
【沖縄県医薬品登録販売者協会会長表彰】	仲里民子氏	

※祝賀会チケットをお求めの方は、沖縄県薬剤師会事務局、または地区薬剤師会までご一報ください。

2012 秋の叙勲 瑞宝双光章 受章

我部 政男先生　おめでとうございます



平成24年11月３日（土）　琉球新報・沖縄タイムス

旭日双光章

久保田　輝雄（76）＝くぼた・てるお　薬事功労。元県薬種商協会会長。南城市大里稲嶺2795の1

※薬業連合会より久保田輝雄氏も受章

瑞宝双光章

我部　政男（70）＝がべ・まさお　薬事功労。元九州厚生局沖縄麻薬取締支所長。豊見城市字豊見城975の5

平成24年度 沖縄県薬事功労者知事 表彰

金城 栄一先生　田場 英治先生　おめでとうございます

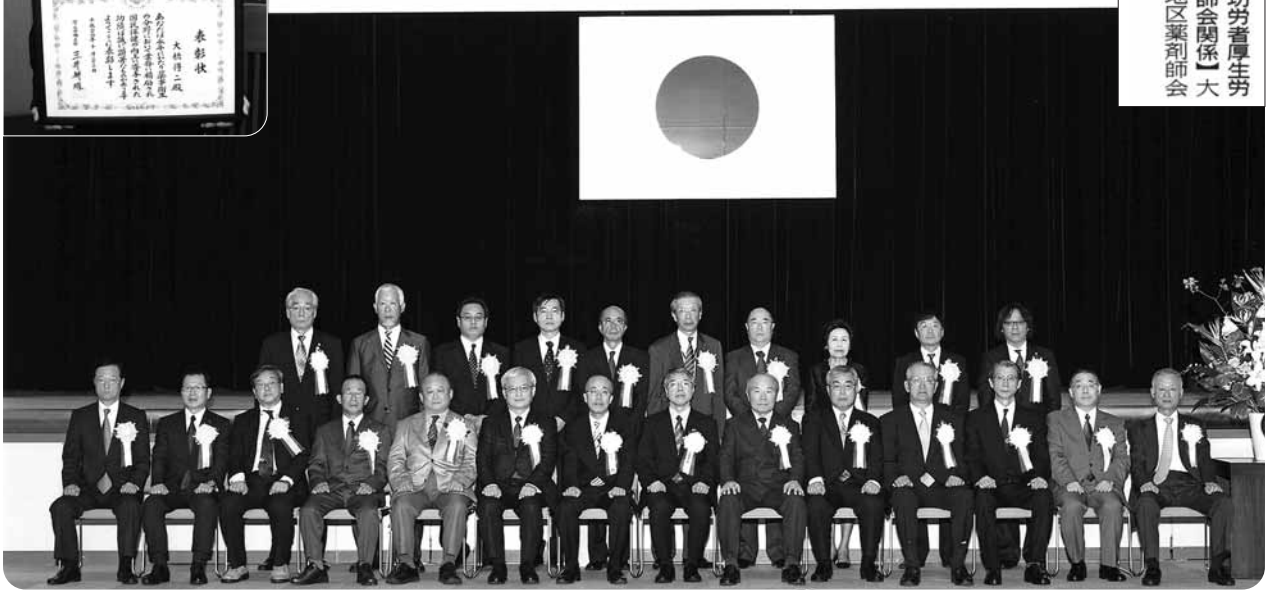
期日：平成24年10月23日（火）　場所：沖縄県福祉保健部長室

前列左から　受賞された金城栄一氏、田場英治氏
後列左から　神村武之 会長、崎山八郎 福祉保健部長、上里林 薬務疾病対策課長

平成24年度 薬事功労者厚生労働大臣 表彰

大橋 得二先生 おめでとうございます

期日：平成24年10月23日(火)　会場：厚生労働省講堂



琉球新報
沖縄タイムス

平成24年度薬事功労者厚生労働大臣表彰【薬剤師会関係】大橋得二(56)(北部地区薬剤師会長)＝名護市

後列右端 大橋得二氏

第44回 沖縄県公衆衛生大会長 表彰

我喜屋 美香先生　おめでとうございます

期日：平成24年11月９日(金)　会場：沖縄県市町村自治会館

左より　比嘉真三 沖縄県公衆衛生協会副会長、
我喜屋美香 氏、吉田久子 氏、前濱朋子 氏

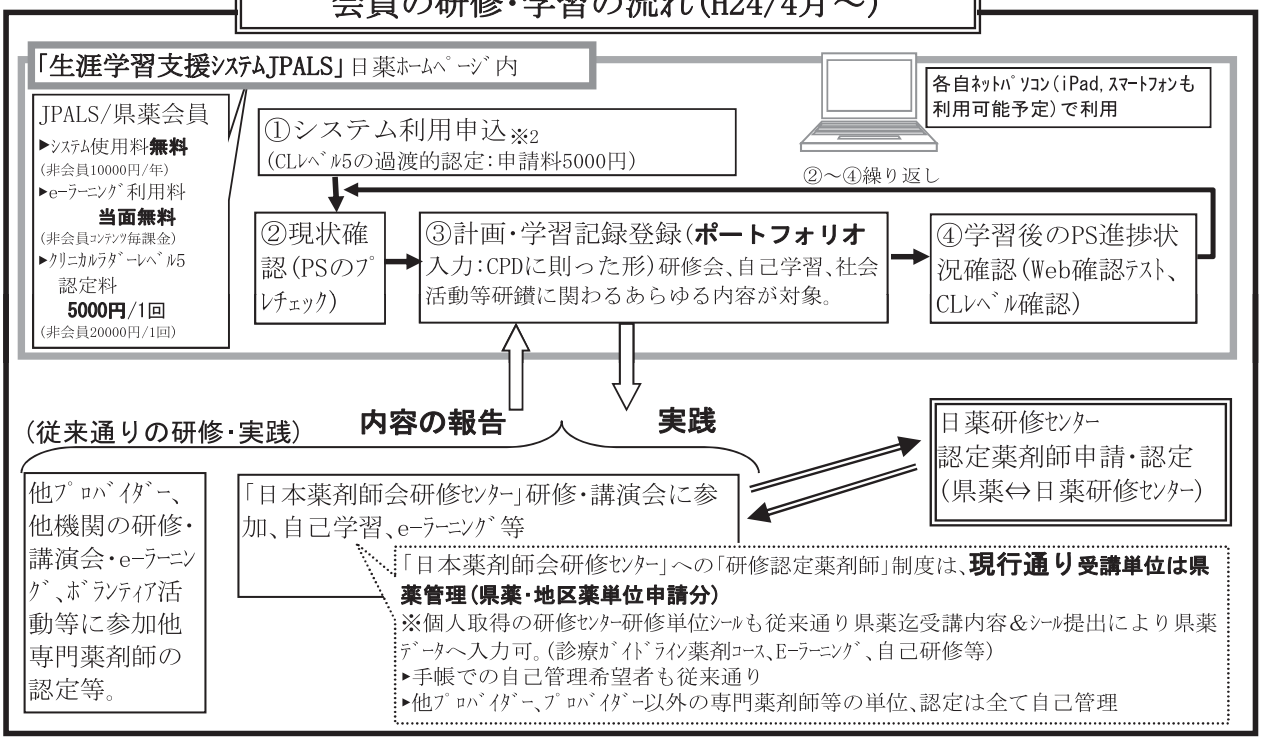
お知らせ

「日本薬剤師生涯学習支援システムJPALS」について（沖縄県）

平成24年度4月から「日本薬剤師生涯学習支援システム（JPALS:ｼﾞｪｲﾊﾟﾙｽ）」がスタートしています。
基本的な考え方は、
①まずはジェネラリストを目指す/「ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ（PS）」「ｸﾘﾆｶﾙﾗﾀﾞｰ（CL）」[※1]に基づいて計画
②自己学習を支援する/「ｅ-ラーニングシステム」
③記録し報告する習慣を身につける/「ポートフォリオシステム（学習記録自己管理ｼｽﾃﾑ）」
の3つです。このシステム（Ｗｅｂ上）に記録する内容は研修会だけにとどまらず、職場の勉強会から個人の自己学習、社会活動など研鑽に関わるあらゆる内容が対象となります。（詳しくはH24/3月発行の「日薬雑誌3月号」同封冊子「JPALS」参照）

平成24年4月からはとにかく「**研修したらポートフォリオを作成**!」記録を残すことが『**薬剤師の常識**』となります。薬剤師人生一生分の学習履歴を財産として残せます。**受講者本人が受講内容等を入力、計画、評価することに意義があります。**
※2 **2012年4月1日～翌年3月31日迄は過渡的認定有り**

会員の研修・学習の流れ（H24/4月～）



注意!! **一度認定されても基準を満たさなければレベルが下がるシステムとなっています!**
ＣＬ取得後２年間で１２本以上ポートフォリオの提出（学習履歴の入力）が無ければ自動的にＣＬレベルは後退する仕組み（レベルダウン）なので、年間６本以上の学習履歴の入力が必須となります。ＣＬ５からは取得後３年間で１８本以上ポートフォリオ提出。

※1　クリニカルラダー（ＣＬ）　：ＣＬレベルは1～10段階有り（ＣＬ1～ＣＬ10）
生涯学習での自身の到達度を確認する為の段階制の制度で、ＣＬ１～ＣＬ４迄は1段上がる為に、１年間にポートフォリオ６本以上報告（学習履歴の入力）と年度末に行われる「Ｗｅｂ確認テスト」に合格することが条件となる。ＣＬ４→ＣＬ５への認定のみ日薬による審査も行われる。

ＣＬレベル１→国家試験合格者
ＣＬレベル５→管理薬剤師に相当

日薬認定のCLﾚﾍﾞﾙ5（CL5）がベースとなる。CL5では他職種との連携や情報共有、疼痛緩和やターミナルケア、無菌製剤、禁煙指導、学校薬剤師活動や訪問薬剤管理指導業務など、ジェネラリストとして幅広い到達目標が盛り込まれている。まずはCL5を目指し、CL6以降はジェネラリストを土台に、専門領域を目指す学習とする方針。（関係団体と検討中）

※2　2012年4月1日～翌年3月31日迄は過渡的認定有り
『**薬剤師免許登録時から15年以上である会員**』、又は『日薬研修センター等（認定機構ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞｰ）の「**認定薬剤師**」取得者』は**ＣＬレベル５（CL5）に相当する者として認定証を発行**（要：利用申込&申請　申請料5,000円）する。

沖縄学術大会

第26回沖縄県薬剤師会学術大会報告

日時：平成24年11月11日（日）10:30〜17:30
会場：沖縄県薬剤師会館 ホール（会員講演発表・ランチョンセミナー）
沖縄県薬剤師会館 研修室（機器展示会場）
沖縄県医師会館 ホール（特別講演会）

神村武之大会会長挨拶（開会時から満席となった）

大会実行委員長
亀谷 浩昌

第２６回学術大会は、平成２４年１１月１１日（日）、前回に続き薬剤師会館と隣接する医師会館を使って開催された。会を重ねるごとに参加者が増え続け、新たな会場探しの必要性も気になりだした。参加者は県薬１７８名、病薬７６名、薬学生１１名の合計２６５名であった。

雨模様の天気のもと、午前１０時３０分に開会した。今回の大会テーマは、「薬剤師維新 未来へ翔け！！」である。講演要旨集の表紙デザインは、イラストが薬剤師を象徴する「ヒュギエイアの杯」、そのバックを飾るのは糖尿病治療に画期的新薬として登場したＤＰＰ－４阻害薬の中から武田薬品工業株式会社（特別講演会共催社）の「ネシーナ」であることなどを絡めた大会実行委員長による開会の辞に続き、神村武之沖縄県大会会長の挨拶があった。挨拶の中で、昨年の九山薬学大会が成功裡に終了したことは今回で２６回目の開催となった同大会を積み重ねてきた経験と知識と組織力の賜物であると会員への御礼を冒頭で述べられ、今年待望の６年制卒業の薬剤師が現場に出てきていること、地域医療包括ケアシステムの構築に向け当該分野に薬剤師の積極的な参画が求められていること、薬剤師将来ビジョンが策定され、「薬剤師が変わる、薬剤師が変える」と自ら行動をしなければならない等と続けて述べられた。なお、今大会の司会を務めたのは、６年制になって初めての卒業生で、こくら虹薬局に勤務している比嘉仁先生である。大会テーマである「薬剤師維新 未来へ翔け！！」を象徴しているかのようなフレッシュさを感じた参加者も多かったと思う。また、座長も時代を担う若い人材から選出し、引き受けてもらった。「病薬関連部門」の座長を琉球大学附属病院薬剤部の鈴木毅先生と沖縄県立中部病院の呉屋多恵子先生、「保険薬局・その他関連部門」をあの薬局の成川賢一先生と薬志堂薬局の玉城有子先生にそれぞれお願いした。

１０時４０分から演題発表が始まった。今回は全部で１８演題が集まった。内訳は、病薬関連が６演題、開局関連が６演題、その他関連が６演題であった。今回は演題が早々と集まった。このところ、開局の演題の内容が目覚ましく向上してきた。ただ、反省点もあったので大会実行委員長として提案をしておきたい。折角演題を発表するのであるから、発表する内容を吟味し、わかりやすいスライドを作成し、わかりやすく口演し、きちんと時間内に納めるよう努力していただきたい。この学術大会を練習台として、ゆくゆくは中央の大会での発表を目指していただきたい。

発表された演題の中から特に薬剤師の資質向上に寄与したと思料される発表者に対しては、学術大会奨励賞を授与しているが、今回、病薬関連部門は中頭病院の渡慶次憲彦先生による「当院における吸入指導統一化の取り組み」、保険薬局関連部門では、こくら虹薬局の安里智子先生による「こくら虹薬局における喘息吸入指導への取り組み」、その他部会関連部門では、スポーツファーマシスト委員会の西平克子先生による「スポーツファーマシストの活動報告」がそれぞれ選ばれた。３氏には学会終了後の懇親会の席上、神村武之会長から賞状と奨励金を授与された。

ランチョンセミナーは、杏林製薬株式会社との共催で、小倉記念病院臨床研究センターの増田和久先生による「業務改革の荒波 病院薬剤師から薬局薬剤師へ」の演題で講演していただき、薬局改革のマネジメントについて知ることができた。

機器展示会場には、毎回２階の研修室を当てているが、今回は１１社が応募し、展示面積の確保に嬉しい悲鳴を上げた。各社には狭いスペースではあったが最新の薬局設備機器

講演要旨集表紙

や調剤支援技術ソフト等を紹介していただき感謝申し上げる。ドリンクコーナー（協賛社：株式会社ジャパンビバレッジ）も同会場に設置して参加者に自由に飲んでいただいた。

特別講演は、会場を医師会館に移して、水島綜合法律事務所の水島幸子先生に「医療紛争・医療裁判の実態と課題～薬剤師編～」の演題で講演していただいた。医療訴訟の内側、中でも訴訟に関与する裁判官や弁護士の考え方が良く分かった。

講演終了後、渡具知一枝大会副実行委員長による閉会の辞で１７時３０分に学術大会は無事終了となった。

大会を成功裡に終えることができたのは、広告及び協賛会社１３社、出店協賛１１社のご支援、大会進行スタッフのご尽力等の賜物である。心より感謝申し上げる。次回は大会実行マニュアルをより実戦的に改訂し、よりスムースな大会運営を目指したい。

不動在庫備蓄ネットワークシステム

参加者は過去最高を記録
会場外に臨時席とサブスクリーンが設けられた

第26回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム

受　付　9:50 ～
開　会　10:30 ～

司会　こくら虹薬局
比　嘉　　仁

○ 開会の辞　第２６回沖縄県薬剤師会学術大会・実行委員長　亀　谷　浩　昌
○ 会長挨拶　第２６回沖縄県薬剤師会学術大会・会長　神　村　武　之

Ⅰ　会員発表（午前の部）

◎演題番号（１～４）　10:40～11:20　座長　鈴木　毅
（琉球大学医学部附属病院）

１．「抗がん剤により発症するＢ型肝炎対策」当院の現状調査

社会医療法人敬愛会 ちばなクリニック[1)]　○當　真　房　子[1)]
中頭病院[2)]　浦　崎　清　美[2)]　森　脇　典　子[2)]
山　本　紗　織[2)]　平　良　　智[2)]
長　濱　照　美[2)]

２．４剤併用療法になったＨＩＶ陽性患者を振り返って

琉球大学医学部附属病院薬剤部[1)]　○新　江　裕　貴[1)]
諸　見　牧　子[1)]　宇　野　　司[1)]
日本大学薬学部病院薬学研究室[2)]　中　村　　均[2)]　大　屋　　葵[2)]

３．治療抵抗性統合失調症におけるクロザピンの使用報告

独立行政法人国立病院機構琉球病院　○浮　池　順　平

４．当院における吸入指導統一化の取り組み

社会医療法人敬愛会中頭病院　○渡慶次　憲　彦
池　宮　愛　乃　三　原　真由美
仲　田　有希代　呉　屋　美貴子
阿　嘉　秀　寅　伊　波　美　幸

ブレイクタイム（休憩・機器展示閲覧）
11:20～11:50

ランチョンセミナー（昼食）　11:50～12:50　　提供：杏林製薬株式会社

講師　増田（ますだ）　和久（かずひさ）先生

『業務改革の荒波 病院薬剤師から薬局薬剤師へ』

～ オール薬剤師で乗り越え薬剤師新時代を確立しよう ～

財団法人平成紫川会 小倉記念病院 臨床研究センター
（前薬剤部長）**増　田　和　久 先生**

座長：第２６回沖縄県薬剤師会学術大会・実行委員　外間 惟夫

左より 外間惟夫氏、増田和久先生、神村武之会長

＜プロフィール＞

【職歴】
昭和50年３月：長崎大学薬学部薬学科卒業、昭和50年４月：社会保険小倉記念病院薬剤部就職、平成８年２月：同病院薬剤部長就任、平成19年４月：同病院医療技術部門長就任平成24年７月：同病院臨床研究センター副センター長就任

【団体活動】
平成８年４月：洞薬会（北九州地区勤務薬剤師会）理事、平成10年４月：福岡県病院薬剤師会理事、平成17年９月：日本腎と薬剤研究会監事、平成19年４月：全国社会保険病院薬剤師会副会長、平成19年４月：洞薬会（北九州地区勤務薬剤師会）副会長、平成19年４月：(社)小倉薬剤師会常務理事、平成22年４月：福岡県病院薬剤師会副会長・洞薬会（北九州地区勤務薬剤師会）会長・(社）福岡県薬剤師会常務理事、平成22年９月：日本腎と薬剤研究会副会長

【著書】
「病気と薬パーフェクトガイド2011，－虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）－・－高血圧－」
「臨床現場で要求される薬学的基礎知識」（医薬ジャーナル）に多数執筆

ブレイクタイム（休憩・機器展示閲覧）
12:50～13:10

Ⅱ　会員発表（午後の部）

◎演題番号（５～９）　13:10～14:00　　座長　成川 賢一（あの薬局）

５．近隣医療機関と連携した保険薬局における吸入指導の実践
－吸入チェックリストを用いた指導の現状と今後の課題について－

(株)薬正堂 すこやか薬局グループ　○富　山　さゆり
久　場　良　亮　　比　嘉　浩　一
喜屋武　芳　美　　宮　里　敏　行

６．こくら虹薬局における喘息吸入指導への取り組み

こくら虹薬局　○安　里　智　子　　久手堅　奈　央

7．高用量のインスリン自己注射を行っている患者の手技の実情と課題

ぎのわん健康支援センター にしばる薬局　○沖　山　尚　美
比　嘉　はつみ　　久　貝　千賀子
沖　山　勝　彦　　藤　本　勝　喜

8．在宅における認知症患者への服薬管理

屋嘉比薬局　○屋嘉比　康　作

9．当薬局で行った疑義照会内容と
日本薬剤師会が報告した疑義照会実態調査報告書との比較

ぴぃぷる薬局 経塚店　○中　尾　滋　久
長　瀬　　涼　　稲　嶺　まどか
中　村　妃美絵　　安　里　良　枝

ブレイクタイム（休憩）
14:00～14:10

◎演題番号（10～14）　14:10～15:00　座長　玉城 有子（薬志堂薬局）

10．一包化錠剤監査支援装置 TabSight 導入による一包化調剤への影響

あいらんど薬局 宜野湾あいち店　○佐　川　和　徳
小　濵　道　胤　　喜友名　艶　子

11．使える不動在庫・備蓄ネットワークシステムを利用して

不動在庫・備蓄ネットワーク委員会　○宮　里　　直
（医薬分業対策委員会）　知　念　正　人　　江　夏　恭　範
吉　田　将　司　　吉　田　洋　史
新　城　光　枝　　大　城　久美子
島　袋　陽　子　　小　泉　宝　之

12．那覇市保健所（仮称）開設に向けて
～保健所における薬剤師のかかわりと、開設への取り組み～

那覇市役所健康保険局 保健所準備室　○仲　地　　剛
（沖縄県中央保健所 生活衛生班出向）

13. 学校薬剤師が行った騒音測定の実際
－路上における交通騒音ならびに学校内における騒音の測定について－

学校薬剤師部会　○渡嘉敷　見　吉田久子
笠原大吾　大城恭子

14. スポーツファーマシストの活動報告

スポーツファーマシスト委員会　○西平克子
新垣秀幸　伊藤昌徳
大城恭子　笠原大吾
吉田典子　山城　専

◎演題番号（15～18）　15:00～15:40　座長　呉屋 多恵子
（沖縄県立中部病院）

15. お薬手帳の活用について

医薬分業対策委員会　○西川　裕
池間記世　江夏京子
仲真良重　知念正人
姫野耕一　屋嘉比康作
仲座方利　川上善久
下地　仁　幸地良信

16. ジェネリック医薬品使用率が全国一高い沖縄県の現状について

沖縄県薬剤師会理事[1)]
沖縄県健康づくり推進協議会委員[1)]　○我喜屋　美　香[1)]
沖縄県薬剤師会医療保険委員会[2)]　仲真良重[2)]　池間記世[2)]

17. 病棟配薬業務の負担軽減へ「テクニシャン導入の試み」

社会医療法人仁愛会 浦添総合病院薬剤部[1)]　○比嘉　保[1)]
翁長真一郎[1)]　浜元善仁[1)]
看護部[2)]　宮城恵子[2)]　池宮城美和子[2)]
錦古里光子[2)]
看護部配薬テクニシャン[3)]　金井美香[3)]　山川夕子[3)]
知念真澄[3)]

18. 東日本大震災へ沖縄県医療救護班として参加して

沖縄県立中部病院薬局　○勝連真人

ブレイクタイム（機器展示閲覧・休憩）　15:40～16:00

＜機器展示会社＞

パナソニックヘルスケア(株)	(株)リレーションズ	(株)ＥＭシステムズ
日立メディカルコンピュータ(株)	(株)ＶＩＰグローバル	ＢＺアドバンス(株)
(株)ＩＴＳシステム	高園産業(株)	(株)メディング
(株)トーショー／キャノンライフケアソリューションズ(株)		(株)ユヤマ

製品紹介　「武田薬品の製剤技術の取り組み」

武田薬品工業株式会社 那覇営業所　福永　顕

Ⅲ　特別講演　共催：武田薬品工業株式会社　会場：沖縄県医師会館 ホール　16:00～17:30

医療紛争・医療裁判の実態と課題 ～ 薬剤師編 ～

水島綜合法律事務所 弁護士　**水 島 幸 子 先生**

座長：第２６回沖縄県薬剤師会学術大会・実行委員　糸嶺　達

講師　水島（みずしま）　幸子（さちこ）　先生

＜プロフィール＞

【学歴】

平成元年３月：中央大学法学部法律学科卒業～平成元年４月中央大学大学院博士前期課程法学研究科（民事法専攻）入学～平成５年３月同研究科（民事法専攻）　修了

【職歴】

平成６年７月：岡田春夫綜合法律事務所入所～平成14年10月：弁護士登録（大阪弁護士会)、弁護士法人淀屋橋・山上合同入所～平成16年４月：独立行政法人国立病院機構近畿ブロック事務所顧問弁護士就任～平成16年５月：近畿大学法科大学院非常勤教員（学習指導教員）就任～平成16年10月：独立行政法人国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校非常勤講師（法学）就任～平成18年４月：社団法人大阪府看護協会顧問弁護士就任～平成18年５月：社団法人兵庫県看護協会顧問弁護士就任～平成19年６月ＮＰＯ法人医療安全教育協会監事就任～平成19年11月：水島綜合法律事務所開設～平成20年４月：社団法人千葉県看護協会顧問弁護士就任～平成20年５月：ＮＰＯ法人医療と法律研究協会評議員就任

○ 閉会の辞　第２６回沖縄県薬剤師会学術大会・副実行委員長

17:30　渡具知 一枝

沖縄学術大会

第26回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会報告

日時：平成24年11月11日（日）18:00～20:00
会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

会場を再び当会館ホールに移し、約８０名の参加の下、広報委員会の前濱朋子氏の司会で同大会懇親会は進行された。

宇野司副会長の開会の辞で始まり、神村武之会長が挨拶、来賓挨拶には沖縄県歯科医師会会長の比嘉良喬氏がされた。

その後、沖縄県薬剤師会長表彰式が執り行われた。崎山慶子氏、渡具知一枝氏、村田成夫氏、荒谷敏巳氏、富田雅章氏の５氏に表彰状と記念品が授与され、崎山慶子氏が代表して謝辞を述べた。

続いて、学術大会演題発表認定証授与式があり、発表者１８名全員に亀谷浩昌大会実行委員長から認定証が授与された。

また、病薬関連部門、保険薬局関連部門、その他部会関連部門の各部門で薬剤師の資質向上に特に寄与した発表毎に演題が選ばれ、神村武之会長より学術大会奨励賞が授与された。

奨励賞の受賞者と発表演題は次のとおりである。

会員発表18名に亀谷浩昌大会実行委員長から認定証が授与された

奨励賞受賞者から喜びの言葉があった

＜奨励賞受賞者＞

病薬関連部門受賞の
渡慶次憲彦氏

保険薬局関連部門受賞の
安里智子氏

その他部会関連部門受賞の
西平克子氏

薬事功労者沖縄県薬剤師会会長表彰
受賞者代表謝辞をする崎山慶子氏（中央）

薬事功労者沖縄県薬剤師会会長表彰受賞者
左より 崎山慶子氏、渡具知一枝氏、村田成夫氏、荒谷敏巳氏、富田雅章氏

開会の辞
宇野　司 副会長

大会会長挨拶
神村武之 会長

来賓挨拶
比嘉良喬 県歯科医師会会長

奨励賞発表
亀谷浩昌 大会実行委員長

閉会の辞
吉田洋史 副会長

懇親会司会
前濱朋子 理事

○病薬関連部門

渡慶次憲彦 氏（中頭病院）

「当院における吸入指導統一化の取り組み」

○保険薬局関連部門

安里　智子 氏（こくら虹薬局）

「こくら虹薬局における喘息吸入指導への取り組み」

○その他部会関連部門

西平　克子 氏（スポーツファーマシスト委員会）

「スポーツファーマシストの活動報告」

新垣正次顧問の乾杯のご発声の後、歓談となった。懇談途中、特別講演講師の水島幸子先生と来賓の比嘉奈津美先生から挨拶をいただいた。比嘉先生からは、目前に迫っている衆議院総選挙に出馬表明したことについての挨拶であった。

楽しい交流を深めた懇親会も瞬く間に時間となり、吉田洋史副会長の閉会の辞により終了した。　　（報告：県薬事務局　大城）

乾杯の音頭　新垣正次顧問

特別講演講師の水島幸子先生（左から４人目）と記念撮影

比嘉奈津美氏を紹介する吉田久子県薬連盟幹事長と神村武之会長

衆議院総選挙に出馬する
比嘉奈津美氏（歯科医師）

水島幸子先生と記念ショット

会長表彰受賞者を祝い賑やかとなった

受賞者２人（渡具知一枝氏と安里智子氏）、大会司会役（比嘉仁氏）と
この日はこくら虹薬局にとってお祝いになった
こくら虹薬局メンバーで記念撮影

第26回沖縄県薬剤師会学術大会会員発表審査報告

＜保険薬局関連部門審査報告＞

保険薬局関連部門審査員　笠原 大吾

当部門からは６題の発表があり、私を含めた５名の審査員で審査いたしました。

演題は、富山さゆり先生（(株）薬正堂すこやか薬局グループ）「近隣医療機関と連携した保険薬局における吸入指導の実践－吸入チェックリストを用いた指導の現状と今後の課題について－」、安里智子先生（こくら虹薬局）「こくら虹薬局における喘息吸入指導への取り組み」、沖山尚美先生（ぎのわん支援センターにしばる薬局）「高用量のインスリン自己注射を行っている患者の手技の実情と課題」、屋嘉比康作先生（屋嘉比薬局）「在宅における認知症患者への服薬管理」、中尾滋久先生（ぴいぷる薬局経塚店）「当薬局で行った疑義照会内容と日本薬剤師会が報告した疑義照会実態調査報告書との比較」、佐川和徳先生（あいらんど薬局宜野湾あいち店）「一包化錠剤監査支援装置Tab Sight導入による一包化調剤への影響」でした。

学術大会の発表レベルが年々向上していることは、どなたも指摘するところです。本年の６題も、いずれも優秀な演題で、審査員の先生方も評価に苦慮していたようでしたが、結果的に審査の合計点が頭一つリードしていた、安里智子先生（こくら虹薬局）の演題が奨励賞に選ばれました。決め手は、喘息患者のための吸入指導の計画的な綿密な取り組みと、将来に向けての指導のレベルアップに向けての可能性、汎用性の高さが高く評価されたものであります。

当部門は、日頃の業務の中から発表のテーマが生まれることが多いという特色があります。１年に１回の本学術大会に向けての研究の取り組みはまだ少ないとは思いますが、いずれは、それも見据えて日常業務に取り組むことにより薬剤師としての資質向上に寄与しうるという点では、本発表が奨励賞を獲得されたことは、大いに意義があったと考えております。今後も、皆様の“患者さんの療養のために・・・”という薬剤師としての熱い思いを持った日頃からのご活躍を祈念しております。

＜病薬関連部門審査報告＞

病薬関連部門審査員　伊藤 昌徳

第２６回沖縄県薬剤師会学術大会において、病院薬剤師部門の発表は６演題ありました。

今回のテーマである「薬剤師維新　未来へ翔け！！」は、６年制薬学教育を修了した薬剤師１期生の誕生と病院内の病棟薬剤師配置に対する診療報酬が新設された大きな節目に相応しく、発表の視点もそれに準ずるものでした。

「薬剤師の病棟配置に向けた取り組み」や「各特殊領域における活動」、「化学療法を適正に実施するための取り組み」、そして今後の整備が求められる「大災害における薬剤師の役割」等、病院薬剤師の重要なテーマを会場に投げかけた大会でした。

５名の審査委員で協議した結果、中頭病院の渡慶次憲彦先生による「当院における吸入指導統一化の取り組み」が奨励賞に決定しました。多くの吸入用デバイスが開発され、確実な薬効を示すためにも患者自身による正確な手技と当該患者に相応しいデバイスであるかを判断する必要があります。そのための基本となる薬剤師の指導水準を高く統一化することで、吸入治療患者の薬物治療に貢献したことが評価されました。自分たちの業務を取り巻く環境の中で問題探究し、解決点を見い出し、施設内で取り組む一連の活動は大きな成果に繋がるため、医療施設内で薬剤師の活躍を期待できる内容でした。

発表全般を通し、発表時間超過が多く、取り組みに対するアウトカム（社会にどのような影響を与えるかという視点の成果）が明確に示せなかった内容が多かったと感じました。

非常に良い視点で取り組んでいるため、今後益々薬剤師の貢献を社会に示す「結果」を示す研究に結び付けて欲しいと願っております。薬剤師が大きくはばたく年であることを実感できる大会でした。会員の益々のご活躍を期待しております。

＜その他部会関連部門審査報告＞

その他部会関連部門審査員　山里　勇

昨年に引き続き、私を含めた５名で審査員を務めさせていただきました。

今年も１８演題の発表を病薬部門、保険薬局部門、その他部会関連部門と３分類して各部門１位の奨励賞を選考いたしました。その他部会関連部門では、今回６演題の発表で他部門と同数の演題発表が行われましたが、その６題についてご紹介します。

不動在庫・備蓄ネットワーク委員会の宮里直先生からは、システムの改善点や現況、在宅医療の機能追加等について、行政部会の仲地剛先生からは、県から那覇市へ移行準備を進めている保健所の業務、薬剤師のかかわりについて、学校薬剤師部会の渡嘉敷見先生からは、騒音測定の実際についてで、交通騒音、校内騒音、特に教室内における騒音では教師の声が子供たちに聞こえやすいのか調査の意義について発表がありました。スポーツファーマシスト委員会の西平克子先生からは、活動の具体的な４事例について分かりやすく解説され制限時間内でまとめていました。医薬分業対策委員会の西川裕先生はお薬手帳の活用についてアンケートを基に現状を分析し発表され、部門アンカーは医療保険委員会から沖縄県健康づくり推進協議会の我喜屋美香先生が発表、ジェネリック医薬品使用率が全国一高い沖縄県の現状について多くの資料を基に発表がありました。各発表とも普段の活動や努力している状況が報告されました。

発表内容、発表構成、発表方法について厳正なる審査の結果、スポーツファーマシスト委員会の西平克子先生が奨励賞を獲得されました。

今回の学術大会における、その他部会関連部門の内容は活動報告が主であったことから、次回からは報告部門と分類してはどうかとの意見もありました。

関係の皆様におかれましては、来年の発表に向けても、研究成果を患者様や地域へ還元できる研究テーマで選定され、奨励賞獲得に向けてふるってご応募くださいますよう今からご準備をよろしくお願いいたします。

＜会員発表審査会＞

日時：平成24年11月11日（日）17:30～18:00　会場：沖縄県薬剤師会館 会長室・会議室

＜保険薬局関連部門審査会＞

- ○新垣　秀幸
- ○江夏　京子
- ○笠原　大吾
- ○川上　善久
- ○吉田　洋史

＜病薬関連部門審査会＞

- ○伊藤　昌徳
- ○玉城　仙子
- ○姫野　耕一
- ○松山　朝雄
- ○宮城　保彦

＜その他部会関連部門審査会＞

○上間秀子　○佐久川さつき　○宮城敦子　○村田美智子　○山里 勇

※敬称略

＜保険薬局関連部門奨励賞受賞講演要旨＞

６．こくら虹薬局における喘息吸入指導への取り組み

こくら虹薬局　○安　里　智　子　　久手堅　奈　央

【はじめに】

沖縄県は喘息死全国３位であり、その原因はコントローラーのコンプライアンス不良と考えられている。薬局内で吸入薬の指導方法は個々に存在し、不明瞭になっていた。そこで薬剤師間の吸入療法の認識を統一し、コンプライアンス向上を図るため、いくつか取り組みを行ったので報告する。

【吸入療法に向けた取り組み】

Ｈ２３．１１月　吸入療法研修～名大付属病院　喘息外来教室～
Ｈ２４．　１月　薬局内で吸入指導の方法を統一するため、「吸入療法勉強会」を開催
Ｈ２４．　３月　院内薬剤師との交流集会にて吸入療法の紹介
Ｈ２４．　６月　地域連携、薬薬連携～那覇・浦添地区薬剤師会向けの講演
Ｈ２４．１０月　医薬連携～沖縄協同病院　院内医局勉強会にて吸入指導箋の紹介

【吸入指導を充実させるための活動】

・デバイスの確保（インチェック、練習用キット、マウスピース、スペーサー）
・患者配布用資料の作成
・オリジナル指導箋の作成（イージーアズマプログラム：ＥＡＰ）
・薬歴の「申し送り」「マスター」の整備

【これだけは押さえておきたい吸入指導内容】

・手技確認
・口すぼめ呼吸
・吸い方（ドライパウダー型→思いきり吸う　エアゾール型→ゆっくり吸う）
・１０秒息止め（必ず指折り数える）

【今後の取り組み】

今回の取り組みにより、薬剤師間で統一した指導、患者側に迷いを与えない吸入指導を行う重要性がわかった。継続したフォロー、デバイスのケア方法なども薬剤師の伝えるべき内容と確認できた。

今後は申し送り、マスター、ＥＡＰを活用し、スムーズで的確な患者指導を行えるようにしていきたい。

吸入療法では、地域で統一した吸入指導が求められおり、イージーアズマプログラムの指導箋を活用した医薬連携、薬薬連携を実現させたい。

正しい吸入方法によるコントロールの改善で短時間β刺激薬の使用量の減少を目標に取り組んでいきたい。

＜病薬関連部門奨励賞受賞講演要旨＞

４．当院における吸入指導統一化の取り組み

社会医療法人敬愛会　中頭病院　〇渡慶次　憲　彦
池　宮　愛　乃　　三　原　真由美
仲　田　有希代　　呉　屋　美貴子
阿　嘉　秀　寅　　伊　波　美　幸

【目的】

吸入薬は内服薬・注射薬と異なり、使用する患者の吸入手技により薬の効果が左右され、治療へ大きく影響を与えると考えられる。吸入操作を一度で理解し習得することは難しく、一度、習得しても長期間使用しているうちに自己流の操作になってしまい、正しく吸入できていない事もあり、さらに現在では多くのデバイスがあり、それぞれに吸入操作が異なるため、患者のみならず医療従事者も全てを把握しきれていない現状があることから、病棟における吸入指導の統一化を図る取り組みを行ったのでその結果を報告する。

【方法】

① 呼吸器科病棟の看護師、各病棟を担当する薬剤師へ吸入指導に関するアンケートを実施（Ｈ２３／８／２０～Ｈ２３／９／４）した。
② アンケート結果より吸入指導介入の流れをフローチャート化、各吸入薬の吸入方法チェックシートの作成、吸入薬に関する勉強会の開催等の吸入指導の統一化を行った。
③ 対策実施前（Ｈ２３．６．１～６．３０）と実施後（Ｈ２３．１１．１～１１．２３）で薬剤師の吸入指導介入率・指導回数・看護師の吸入手技に関する記録記載率を調査し比較・評価した。

【結果】

アンケート結果から吸入指導対象者・指導介入方法・評価方法に明確な取り決めがなく、看護師・薬剤師それぞれが独自の感覚、独自の方法で吸入指導を行ってきたことがわかった。また、薬剤師は病棟によって吸入指導を行う機会に明らかな差があり、吸入指導の経験不足から吸入指導の知識・手技に不安を感じていることが伺える。

吸入指導の統一化によって、吸入指導対象者に指導介入できた割合は５７．８９％→６８．７５％へと約１０％増加し、薬剤師が２回以上指導介入した患者さんの割合は１８．１８％→６３．６３％へと大幅に増加した。また薬剤師が指導に介入した患者１人あたりに対する吸入手技に関する記録回数は１．３３回/人→１．９１回/人へと増加し、看護師が吸入手技に関する記録を残している割合率も１６．６７％→６８．７５％へと増加した。

【今後】

呼吸器科病棟での吸入指導の統一化を通し、病棟看護師・外来看護師・歯科衛生士など様々な職種と連携することで互いの持っている情報を共有する事ができ、薬剤師の吸入指導の質を向上させることにつながったと考える。現在、全病棟へ吸入指導の統一化に取り組んでおり、随時ツールの改訂や院内勉強会開催など行っているが、今後は吸入指導介入による治療効果について検証したいと考える。

＜その他部会関連部門奨励賞受賞講演要旨＞

14. スポーツファーマシストの活動報告

沖縄県薬剤師会　スポーツファーマシスト委員会　○西　平　克　子
新　垣　秀　幸　　伊　藤　昌　徳
大　城　恭　子　　笠　原　大　吾
吉　田　典　子　　山　城　　専

【はじめに】

沖縄県薬剤師会では、平成２２年度よりスポーツファーマシスト委員会を発足させ、活動を行っている。毎年秋に行われる国民体育大会（以下国体）の時期にはドーピングに関する質問が多く寄せられるが、今年の第６７回国体（ぎふ清流国体）では、沖縄県体育協会からの要請で沖縄から初めてスポーツファーマシストが帯同することとなった。当委員会より代表として笠原大吾先生が派遣された。委員会では大会期間中、常時相談に対応できる体制をとった。

国体期間中の選手および関係者からの相談事例と現地での活動を報告する。

【相談事例】

事例１．高校生の保護者（競技前）
　　風邪薬を持たせたいが、鼻づまりや鼻水に効く薬を教えてほしい。
事例２．女性からの質問（競技前）
　　昨日頭痛でイヴをのんだ。４日後に試合があるが早く抜ける薬はないか？
事例３．１０代の陸上競技選手の男性（競技前）
　　スパークユンケルの使用について
事例４．選手から（国体会場より）
　　（１）アイデイト
　　（２）リポビタンD、コカコーラは大丈夫か？

【国体報告】

９月２１日（金）に行われた沖縄県選手団結団式（沖縄セルラーパーク那覇）では、薬やサプリメントなど疑問に思っていることについて、県薬剤師会おくすり相談窓口に問い合わせていただけるよう、「薬剤師会ホットライン用の問い合わせ用紙（県薬の問い合わせ先を印刷したもの）」を配布し説明を行った。また、国体においては、９月２８日（国体前夜）のドクターズミーティング、２９日の開会式に出席。９月３０日～１０月４日は、各種目の会場に出向き、薬に関する指導を行った。

【まとめ】

１．国体競技者からの質問には、迅速に回答できるよう委員は常にメールをチェックしながら待機した。質問を受付後、各々委員が調査を行い、メーリングリストで確認後、回答できるような体制をとった。今回の質問は、平均２時間以内で回答した。４件の質問について３６回のやり取りがあった。
２．国体に参加したことで、清涼飲料や栄養ドリンクがすぐに手に入る状況にあることが判明した。
３．自販機にある製品にも注意が必要であることがわかった。
４．競技者が安心して競技生活を送っていく上で、このような相談に適切に対応できるスポーツファーマシストの役割は重要であり、相談できる体制整備が重要と思われる。
５．当委員会では、相談体制の強化の為、今年度相談員として３名の先生が加わり、現在１０名で活動している。

薬と健康の週間

くすりと健康フェア

＜県民公開講演会＞

日時：平成24年10月17日（水）18:30～20:15
会場：パレット市民劇場（那覇市）

広報担当理事
宮城 敦子

くすりと健康フェアの一環として「心身ともに健康」をテーマにした講演会を県民に無料で公開している。今年も例年通り、講演はふたつ。沖縄出身のハートフルシンガー大城友弥氏によるミニライブと、僧侶でシンガーソングライターのやなせなな氏による講演＆コンサートだ。

崎山八郎沖縄県福祉保健部長の代理出席で、国吉広典沖縄県福祉保健部保健衛生統括監と、沖縄県薬剤師会会長の神村武之氏の主催者あいさつで幕が上がる。

特別講演が始まった。大城友弥氏の登場だ。大城氏は視覚障害のため、マイクスタンドまで彼の父親が付き添い、立ち位置を確認する。

「夢にむかって今日もスマイル」と題した大城友弥氏のミニライブがスタートした。

話し始めるとすぐに持ち前の明るさで観客の心をつかむ。坂本九さんの歌「上を向いて歩こう」を聞いて音楽に目覚めたらしい。独学でピアノを弾くようになりシンガーソングライターとして自分の居場所を見つけたという。

披露してくれた曲は「大切なもの」「スマイル」の２曲。さすがに場数をこなしているだけあって「スマイル」では観客をまきこんだハンドモーションで会場を盛り上げた。

舞台が暗転し、次の講演に移る。静かに流れたイントロと共に、やなせなな氏が現れ、「七夕」を歌いあげた。「いのちの支縁講演会＆コンサート～やさしい癒しの歌の数々を講話と共に～」の始まりだ。「夕焼け小焼け(唱歌カバー)」「おやすみ」と続き、子宮体癌を患ったこと、健康や心、ひとの優しさについて話す。涙を誘うストーリーだ。

と、スクリーンに映像が現れた。ああ、被災地の映像だ。東日本大震災のかなしみがフラッシュバックする。やなせ氏は被災地に赴き、いまでも震災支援をしているという。続いて披露された「千年眠れ」「まけないタオル」は震災支援のオリジナル曲だ。

僧侶になったいきさつ、シンガーソングライターを目指したこと、全国のお寺を回り歌い続けていること、そして健康の話を深く掘り下げた「命」についての話が感動的だった。

最後に心に残った言葉を紹介しよう。

「悲しみを知るとやさしくなれる」

昔どこかで聞いたことのある言葉だが、やなせ氏が放つ含蓄のある言葉はいちいち腑に落ちるから不思議だ。

講演＆コンサート終了。心や魂の洗濯をしたような爽快感に包まれる。この講演を機会に、今まで以上に「命の重さ、尊さ」を考えたいと思った。

＜主催者あいさつ＞
国吉 広典 氏　　神村 武之 会長

司会を務めた宮城敦子広報担当理事
右は手話通訳者

＜プログラム＞　　司会　沖縄県薬剤師会広報担当理事　宮　城　敦　子

○開　　会

○主催者あいさつ　　沖縄県福祉保健部保健衛生統括監　国　吉　広　典
沖縄県薬剤師会会長　神　村　武　之

○県民公開講演会

講演１「夢に向かって今日もスマイル」
大城　友弥 さん
曲目　①スマイル　　②大切なもの

講演２「いのちの支縁講演会・コンサート」
～やさしい癒しの歌の数々を講話と共に～
やなせ　なな さん
曲目　①七夕　　②夕焼け小焼け（カバー）
③最期の子守唄　　④おやすみ　　⑤千年眠れ
⑥まけないタオル　　⑦唱歌のメドレー　　⑧春の雪

やなせななさんと大城友弥さん

＜講師プロフィール＞

大城　友弥（おおしろ ともや）

１９９０年生まれ。沖縄県八重瀬町出身。

小学校５年生の時、ラジオから流れてきた坂本九さんの「上を向いて歩こう」を聴いて、強い感銘を受け歌を唄いたいという思いを抱き、キーボードを独学。２００４年１２月、初のコンサートを無料開催。「音の出る信号機を贈ろう」キャンペーンや「盲導犬募金」への募金を募り寄付。以後、実行委員会を立ち上げ毎年開催し、地域の社会福祉協議会や作業所へ収益金を全額寄付している。現在、ラジオのレギュラー番組、学校コンサート、各種イベント等精力的に活動中。

やなせ　なな（梁瀬 奈々）

１９７５年生まれ。奈良県出身。シンガーソングライター。浄土真宗本願寺派・教恩寺住職。

２００４年シングル「帰ろう。」でデビュー。その後４枚のシングルと３枚のアルバムをリリース。癒しの歌声が確かな支持を獲得し、ＣＭソングやゲームのエンディングテーマにも起用されている。子宮体ガンを克服した経験と僧侶の立場から、いのちに関する歌を数多く制作し、年間１００回を超えるコンサート・講演会活動を行う傍ら、エッセイの執筆、ラジオのＤＪ、ニュース番組のコメンテーターとしても活躍中。

県民公開講演会 スナップ写真

講演１「夢に向かって今日もスマイル」
大城　友弥 さん

友弥さんのミニライブがスタート！

「大切なもの」を披露

「スマイル」ではハンドモーションで観客と一体

講演２「いのちの支縁講演会・コンサート」
やなせ　なな さん

舞台が暗転、荘厳な曲が流れ やなせななさん登場

「悲しみを知るとやさしくなれる」
東日本大震災時の震災支援や自らの体験談を話す

“まけない！タオル”を披露

オリジナル曲「千年眠れ」「まけないタオル」「春の雪」を熱唱
感動のフィナーレ

薬と健康の週間

県民公開講演会うらかた日記

広報担当理事　宮城 敦子

◆ 出逢い

その日は朝から気をもんでいた。台風接近中で風雨がどんどん強くなってきたのだ。当日開催されるイベントは殆ど延期、または中止を余儀なくされていたが、県民公開講演会は予定通り決行する旨の連絡が入る。

我々広報委員は、この日のために数回にわたって自治会長会議に参加し、協力依頼をしてきた。多くの県民にご参加いただき、公開講演会を盛り上げたいと広報活動を頑張ったのだが・・・、これでは客足が心配だ。

そんな心配をよそに、講師のやなせ氏を乗せた飛行機は正午過ぎ沖縄に着く。神村会長と事務局の山城係長の３名で空港にてお迎えする。写真でしかお顔を拝見していないので、スムーズに迎えることができるのか、これまた不安材料のひとつであった。

到着遅延が多い中、なぜか、やなせ氏の便は早めの到着。さて、ここからが本日の私の仕事の大一番。やなせ氏を探すのだ。集中力を高めると目標は不思議と見えてくるものだというが・・・。ふと視線がぶつかる人がいた。「もしや」と声をかける。ビンゴだ。僧侶というイメージからはほど遠く、チャーミングで華奢な女性だった。沖縄で講演することがとても楽しみだと言われた。

外は風雨がさらに強まっている。青色と緑色が醸し出す沖縄の風景は、水墨画のようにその彩色をすっかり消していた。しかし、そんな台風の日も沖縄らしくていいのかもしれない。ちょっとつらいけど。

◆ 昼食の席で

那覇市内で食事をした。僧侶ということで何故か身構えていた私だったが、やなせ氏は意外にも人懐っこく饒舌だった。

仙台放送でラジオ番組を持っていることを知る。奈良県を中心に関西で活躍していると聞いていたのだが、仙台とはどういうご縁があったのだろうか。聞くところによると、昨年の東日本大震災で歌うことで慰めになればと、かの地を訪れたという。それが縁で番組を持つことになったらしい。

やなせ氏の本をアマゾンで注文していたが、当日までに手元に届かなかった旨を悔し紛れに「ご著書にサインがほしかった」とずうずうしくも話してしまった。やなせ氏はすかさず「送りますよ」と言ってくれたのだ。

数日後、本とＣＤが届いた。しかも私宛でサイン入り。まさかこんな展開になるとは。そして、私が担当しているラジオ番組で「まけないタオル」という曲を電波に乗せた。やなせなな氏のオリジナル曲だ。東日本大震災復興支援ソングである。首や頭に巻けない長さのタオルと「震災に負けない」をかけたユニークなネーミングだ。

◆ 会場入り

昼食をすませて午後１時半、会場のパレット市民劇場（那覇市久茂地）に入った。県薬の事務局スタッフ、県の薬務疾病対策課の面々もすでに会場に入っていた。

舞台・会場設営であわただしく動いている。私もシナリオの読み込み、スタッフや手話通訳者との打ち合わせ、と動き始めた。

そしてリハーサル。シンガーはマイクや音響チェックにはナーバスだ。事細かに要望する。歌い出したやなせ氏。その歌声に驚いた。あの甘さのある声で関西弁を放っていたのに、そこにはみじんもなく、力強く落ち着き、しかも伸びのある声だった。天使から女神に変身した。傍らで私はそんなことを感じていた。

リハーサルは１時間に及び、本音を言うと１時間半はほしかったと吐露する。本来ならば、主催側もそうしてほしかったのだが・・・台風事情も鑑み、やなせ氏自身の都合もあって最終便に搭乗しなければならないため、やむをえない。

さて、次はハートフルシンガー大城友弥氏のリハーサル。本番の持ち時間は２０分。リハーサルでは目の不自由な大城氏にご両親が付き添う。

本番まで１時間半。スタッフ控室でシナリオを読み込んだり、腹ごしらえをしたりでリラックスタイムをすごす。

劇場ロビーでは、南部地区薬剤師会による「健康とおくすりと相談会」が始まろうとしていた。折しも、実務実習期間中ということで数名の学生がこのフェアに参加していた。いい経験になったと思う。そこで、ふと思いついたことがあって、実務実習の責任者として東奔西走している我喜屋美香氏に声をかけた。「やなせ氏と会ってもらえませんか」。我喜屋氏は、先頭を切って東北大震災のボランティア活動をしていたし、東北のご出身ということもあってお節介ながら、是非、やなせ氏と会っていただき、縁をつないでいただこうと思ったのだ。実際におふたりを引き合わせると、すぐに意気投合したようで、大震災のことだけでなく、東北に纏わる話題で盛り上がっているように見えた。我喜屋氏は講演後、率先してやなせ氏のお見送りに同乗した。空港までの車中では涙ながらに語り合っていたという。

開演前のリハーサルにて記念撮影

◆ いよいよ本番

本番直前になって司会者モードに切り替えるべく衣装替え。たいしたファッションではないが、オンオフのスイッチはちょっとしたことでも切り替えたほうがいい。

シナリオのチェック、特に講師のプロフィールは入念にチェックする。講師との打ち合わせもＯＫだ。照明、音声もリハーサルどおりだ。

いよいよ開演。司会者のポジションにつくと、客席が思った以上に埋まっていたので落ち着いて進行することができた。（講演内容については、講演報告記事をご覧ください。）

シナリオどおりに進んでいる。

午後８時前になると、さすがに緊張してきた。やなせ氏の飛行機は午後９時だ。午後８時１０分には終了したい。しかし、ここは場数をこなしてきたやなせ氏。時間配分は頭に入っている。すかさず私も終演を告げた。質問タイムを用意していたが時間の都合上、カットする。

幕が下りた。無事終了。しかし、やなせ氏を空港まで送り届けるまで気は抜けない。ほっとする間もなくスタッフは俊敏だった。８時半には空港に着き、強風の中、やなせ氏は機上の人となった。

長い一日が終わろうとしていた。風雨はまだおさまっていなかったが、強風は労をねぎらっているかのように聞こえた。多くのスタッフの力が集結し、ひとつの作品を完成させたような充実感をかみしめたのだった。

薬と健康の週間

薬　祖　祭

（波之上宮本殿）

「“薬と健康の週間”行事は、毎年、波之上宮本殿で、朝１０時からの薬祖祭を皮切りに行われる。宮司の祝詞の中に薬祖神、少彦名命（スクナヒコナノミコト）に薬の取扱いに間違いがないよう病める人の苦しみの癒えんことを奏上して、薬剤師会、卸協会、小売商組合、薬種商協会等の各団体名を言上されている。朝の澄みきった潮風の流れるさわやかな雰囲気の中で、各団体長はじめ関係業界人で厳修される。医薬の道を天職とする薬業人にとって年一回の薬祖祭には、この一年の無事を感謝し、薬の取扱いの過ちのないように祈願したいものである。」
と、故仲松彌元氏（第六・八・十一代会長）は、薬祖祭雑感を当会報誌に寄稿されている。

仲松氏は、昭和３７年に製薬会社が軒を並べる大阪市道修町の少彦名神社より御分霊「神農（中国医薬の守護神）」を勧請して、那覇市波之上宮に依頼して奉祀された。道修町で毎年１１月２２，２３日に神農祭が行われることから、波之上宮に神農が奉祀された翌年より、１１月２３日（勤労感謝の日）に薬祖祭が執り行われるようになった。

参拝者には、病除祈願の張り子の虎を笹に結びつけたお守りが配られる。この風習は、日本で初めてコレラが大流行した年に道修町の医薬商が相議り、疫病除卸薬「虎頭殺鬼雄黄圓（虎の頭骨を配合した丸薬）」を作り、神前で祈祷して庶民に無料で施し、虎と竹を組み合わせたお守りと共に配った。当時、コレラを「虎列刺」と書き、その猛威と怖さを誇示していたので、薬に“虎を殺す鬼”と名づけられた。

神農を祀る神農祭とは別に、東京、京都、名古屋をはじめ、各地で薬剤を祀る祭礼が行われている。祭神は日本の医薬の神として敬われてきた少彦名命と大国主命（オオクニヌシノミコト）。祭日は土地ごとに違っていたが、近年、１０月１７日に統一され、薬剤師会や薬業界が祭主となって催している。

今年の薬祖祭は、当初１０月１８日（木）に開催予定されていたが、台風接近のため１０月２２日（月）に延期開催となった。神村武之会長と毎年参加されている金城保景第十四代会長が諸事情により欠席となったが、台風通過後の朝の澄みきった潮風の流れるさわやかな雰囲気の中で、沖縄県薬業連合会と沖縄県で厳修された。　　（文責：事務局　大城）

薬と健康の週間　街頭キャンペーン

パレットくもじ前広場

北部地区薬剤師会（イオン名護店前）

八重山地区薬剤師会（サンエー石垣シティ前）

※宮古地区薬剤師会実施の街頭キャンペーンは地元新聞に取り上げられていたので、後頁の転載記事コーナーにてご閲覧下さい。

平成24年度「薬と健康の週間」（10月17日～23日）行事表

月　日	時　間	行　事　名	場　　所	実施団体
10月17日(水)	9:00～16:00	平成24年第２回既存配置一定水準資質向上研修会	那覇市地域職業訓練センター	沖縄県医薬品配置協議会
	13:00～17:00	第43回全国統一薬事講習会	(株)琉薬	沖縄県医薬品登録販売者協会
	16:00～18:30	くすりと健康フェア　健康とおくすり相談会	那覇市パレット市民劇場ロビー	南部地区薬剤師会
	18:30～20:00	くすりと健康フェア　県民公開講演会	那覇市パレット市民劇場	沖縄県、沖縄県薬剤師会
10月19日(金)				
10月20日(土)	15:00～16:00	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	イオン名護店	北部地区薬剤師会・沖縄県
	14:00～15:00	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	サンエーショッピングタウン宮古前	宮古地区薬剤師会、沖縄県
	16:00～17:00	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	サンエー石垣シティ前	八重山地区薬剤師会、沖縄県
10月21日(日)				
10月22日(月)	10:00～10:30	薬祖祭	波之上本殿	沖縄県薬業連合会、沖縄県
	10:30～11:00	永年勤続者表彰	波之上本殿	医薬品卸業協会
	13:30～14:00	認可外保育園子供用マスク寄贈	沖縄県庁福祉保健部長室	沖縄県医薬品卸業協会
	16:00～17:00	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	パレットくもじ前広場	薬業連合会、沖縄県
	16:00～17:00	「麻薬・覚せい剤乱用防止」街頭キャンペーン	イオン北谷店前	沖縄県医薬品登録販売者協会 沖縄県
10月23日(火)	10:00～10:30	沖縄県薬事功労者知事表彰 **(田場英治氏・金城栄一氏)**	沖縄県庁福祉保健部長室	沖縄県

※ 薬と健康の週間中、献血推進を実施　＜場所：パレットくもじ献血ルーム　時間：９：３０～１７：００＞

会務ハイライト

第１回日本薬剤師会九州ブロック会議報告

日時：平成24年11月10日（土）14:00～17:00
会場：沖縄県市町村自治会館 4階 第７会議室

＜会議次第＞　司会：沖縄県薬剤師会理事　糸嶺　達
○開会の辞　沖縄県薬剤師会会長　神村　武之
○挨拶　日薬九州ブロック世話人　藤野　哲朗
１．日薬報告及び報告に関する協議・意見交換
日本薬剤師会 副 会 長　小田　利郎
常務理事　藤原　英憲
生涯学習委員会 副委員長　高濱　寛
① 薬剤師会を巡る最近の課題について
② 医療計画等への対応について
③ 会員増強策について
④ 生涯学習（ＪＰＡＬＳ）について
２．九州ブロック協議事項
○閉会の辞　沖縄県薬剤師会副会長　吉田　洋史

副会長
吉田 洋史

糸嶺達理事の司会で時間通りに、神村武之会長の開会の辞により始まった。

次に、藤野哲朗日薬九州ブロック世話人からの挨拶。その中で日本学校薬剤師会が無くなり、日本薬剤師会の一部会になっているにも関わらず、従来通りのやり方で（学薬だけで）活動をしていることを問題視。３月に予定されている九州学校薬剤師若手シンポジウムの開催場所である福岡県薬剤師会に話が通っておらず、県薬会長も知らず、また出席している九州各県の会長も詳しくは知らなかった。しばらく事実関係確認、協議を経て、若手を育てることに誰も異論はないが、組織としての体制を維持するためには、勝手な活動は許されず、今回の件はいったん白紙に戻すことになった。

次に、「薬剤師会を巡る最近の話題について」ということで、以下の項目について小田利郎日本薬剤師会副会長からお話しいただいた。①社会保障・税一体改革、②一般用医薬品の販売制度問題、③チーム医療の推進、④国民の保健増進・健康管理への薬局薬剤師の活用、⑤ＴＰＰ参加と医療への影響、⑥薬事法・医療法への対応、⑦その他の課題。

医療計画等への対応と会員増強策について、藤原英憲日本薬剤師会常務理事から説明があった。また、各県での医療計画への県との取り組み状況が報告され、進捗具合にかなり差があることが分かった。

生涯学習（ＪＰＡＬＳ）について、高濱寛日薬生涯学習委員会副委員長から説明があり、１０月末で登録総数が８，７７１人、過渡的認定数（レベル５）３，９３０人であった。今年度の登録目標が１万人だったことから６年制薬剤師の誕生による現場の薬剤師の危機感からなのか、意識の高さを感じさせる勢いとなっている。各県役員を筆頭に参加登録していただき、今年度限りの過渡的認定申請を是非してもらいたいとのこと。

全体での協議事項が長引き、少し時間が押したが、無事、同会議を終えることができた。

＜日薬九州ブロック会議出席者名簿＞

日本薬剤師会
- ○小田　利郎（副会長）
- ○藤原　英憲（常務理事）
- ○田尻　泰典（理事）
- ○高濱　　寛（生涯学習委員会副委員長）

佐賀県薬剤師会
- ○吉富　直助（会長）
- ○曲渕　直喜（副会長）

長崎県薬剤師会
- ○蒲池　芳明（副会長）
- ○手嶋　無限（委員）

熊本県薬剤師会
- ○廣田　誠介（会　長）
- ○江上　祥一（副会長）
- ○神田　晴生（専務理事）

福岡県薬剤師会
- ○藤野　哲朗（会長）
- ○井上　章治（副会長）
- ○三浦　公則（副会長）
- ○満生　清士（常務理事）

大分県薬剤師会
- ○安東　哲也（会長）
- ○副　　千秋（副会長）
- ○友成　　朗（専務理事）

鹿児島県薬剤師会
- ○内野　　悟（会長）
- ○上野　泰弘（副会長）
- ○井上　正英（南薩支部役員）
- ○沼上　正樹（事務局長）

宮崎県薬剤師会
- ○田代　和久（会長）
- ○小山　明俊（専務理事）
- ○黒木　慎也
- ○久保薗　哲（事務局）

山口県薬剤師会
- ○山本　晃之（常務理事）
- ○河井　臣吾（常務理事）

沖縄県薬剤師会
- ○神村　武之（会長）
- ○宇野　　司（副会長）
- ○吉田　洋史（副会長）
- ○江夏　京子（常任理事）
- ○山里　　勇（常任理事）
- ○糸嶺　　達（理事）

※敬称略

研修会

開局委員会主催 第２回スキルアップ研修会報告

日時：平成24年10月28日（日）13:00～15:00
会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

開局委員会
委員長　新垣 秀幸

＜式次第＞　　司会：開局委員会　島　袋　さゆり
○あいさつ　　開局委員会委員長　新　垣　秀　幸
○研修『**エネルギー代謝**』
講師：開局委員会　**石　川　元　信**

島袋 さゆり氏

新垣 秀幸氏

去る１０月２８日（日）に第２回目のスキルアップ研修会が開催され、４４人の参加者がありました。この日は、日曜日にも当たっており、各地で運動会等の各種イベントが開かれ、参加者が少ないのではと心配していましたが、第１回目に続き、多数の先生方の参加で無事開催されました。

今回も当委員会の石川元信先生を講師とし、「エネルギー代謝」に焦点を置き、昔、聞き覚えのある糖新生、ＴＣＡ回路等々について研修が行われました。研修内容は、ありきたりの生化の分野でなく、必要なビタミンの説明やＣｏＱ１０がなぜ販売されたのか？詳しく講演されました。

生活習慣病による一部の高血糖や高脂血症がなぜ起こるのか？予防は？について、エネルギー代謝をよく知ることにより、日々の業務に使えるよう、大変詳しい内容の研修会となりました。

これらの研修内容は、登録販売者には定例の研修会が設けられているとのことです。

次回は、１２月６日（木）の平日に開かれます。奮ってご参加ください。

「エネルギー代謝」
講師：石川 元信 先生

研修会

平成24年度高度管理医療機器等継続研修会報告

日時：平成24年11月19日（月）20:30～22:30
会場：大湾信泉記念館（石垣市）

八重山地区薬剤師会
会長　山城　専

去る１１月１９日（月）、大湾信泉記念館において、標記研修会が開催されました。昨年から八重山地区にも県薬より講師が派遣されています。それまでは本島に出向かなくては受講できなかったので、とても助かっています。

昨年に引き続き、県薬副会長の吉田洋史先生が講師を務められました。日薬作成のテキストにメーカー作成の内容も含められながら、大変分かりやすく解説して頂きました。吉田先生には改めてこの誌上をお借りして感謝申し上げます。

今回は、地元の参加薬局以外にも、東江メガネの方や本島での講習会にはご都合がつかず出席できなかったという事で、北部地区の村上市子先生（さくら薬局）も参加されていました。普段は、顔を合わす事のない方々とも交流でき、講習会終了後は懇親会を開いて情報交換をし、大変有意義でした。

今回の参加薬局が取り扱っている高度管理医療機器は、自己検査用血糖測定器や保護材（ドレッシング材）でした。沖縄県では糖尿病の主な原因である肥満の割合が高く、糖尿病が今後増加すると心配されています。私の薬局では、血糖測定器の販売は年に１回程ですが、来局される方に糖尿病に対する意識を高めて頂くためにも、血糖値のチェックが簡単にできる様にしており、希望があればデータを個人別に記録し、予防や受診勧告につなげています。病院で受診する前に敷居の低い薬局が健康チェックの一助となれば幸いです。

来年も、異業種の方や村上先生の様に他地区の先生方が多数、参加されることを願っております。

委員会だより

記念に写真を撮って差し上げます！

（無料）

広報委員会では、会報掲載記事の取材のひとつとして、各種催しの場で写真撮影をしています。そこで、取材に差支えがない範囲で、会場で記念写真を希望する会員の要望に応えることにしました。広報委員にお気軽にお声かけください。

【写真の受け渡し方法】

予算の関係で、提供は電子メールを使った写真（ＪＰＥＧファイル；電子媒体）の添付送付のみとなります。

写真の受け取りをご希望の方は、お名前、撮影日、撮影時間（○時○分）を記載して、下記アドレスまでメール送信をお願いします。撮影時間は写真の特定に必要です。

沖縄県薬剤師会 広報委員会　**kouhou@okiyaku.or.jp**

実務実習

平成24年度 第Ⅱ期薬学生実務実習報告

薬学生実務実習受入委員会
副委員長　我喜屋 美香

平成２４年度薬学生実務実習第Ⅱ期・１１週間の保険薬局での実習が１１月１７日に終了しました。第Ⅱ期は毎年、県内学術大会(昨年は九州山口薬学大会)、薬と健康の週間など体験行事が盛りだくさんです。今年も元気に参加してくれました。実習施設の皆様、本当にお疲れ様でした。

第Ⅱ期の実習生は９名（４大学)。従来だと在宅実習は半日が多いのですが、今回はほとんどの実習生が１日コースを希望。また、実習のコアカリキュラムにかなりの時間を要求しているＯＴＣに関しては、複数日を希望する実習生も出て、活気を確認しました。

以下に、実習施設８薬局、指導薬剤師及び実習協力施設・実習生の感想文を記載させていただきます。

本当にありがとうございました。紙面を借りて御礼申し上げます。

実習薬局（８薬局）　（以下、順不同・敬称略）

○アシスト薬局　○あにも調剤薬局　○うさぎ薬局　○会営薬局うえはら
○がじまる薬局　○がねこ薬局　○病院前薬局（名護）　○保険薬局プラネット

実習協力施設・委員会・団体

○会営薬局医療センター前　○がじまる薬局　○すこやか薬局新川店
○ぼたん薬局　○ドラックイレブン新都心店　○マツモトキヨシ中城店
○ゆがふ薬局　○(株)アトル沖縄支社　○(株)ダイコー沖縄
○南部地区薬剤師会　○薬事情報センター　○学校薬剤師部会
○学校薬剤師の先生方

オリエンテーション

ＤＩ実習

会営薬局医療センター前で夜間・救急対応について学ぶ

学校薬剤師について学ぶ

平成２４年度薬学生実務実習Ⅱ期生からの体験記・感想

福岡大学５年　伊波 友理華
（アシスト薬局 実習　指導薬剤師 仲宗根 辰弥）

『立派な薬剤師の第一歩を踏み出すきっかけとなった薬局実務実習』

薬学部六年制に伴い開始された実務実習。それは医療現場における薬学的問題の発見と現実的理解を目指し、実践的対策を構築しうる薬剤師専門能力の開発を目的に行われている。私自身、九月初旬から十一月中旬までの２ヶ月半、地元沖縄にある浦添総合病院門前薬局であるアシスト薬局で薬局実習を行った。実習内容は幅広く、薬剤師業務や薬剤師関連法規、保険請求業務など多くを学んだ。その中で、自分の意識を変える素晴らしい体験が幾つもあった。

まず業務における一連の流れを経験する中で、薬剤師の仕事は医薬品の適正使用において必要な情報を入手し提供するだけではなく、実際の患者さん自身を見る事を忘れてはいけないということ、服薬指導はリレーと同じであり、患者さんの心と体の健康を取り戻す事がゴールであることを学んだ。

また、学校薬剤師・ドラッグストアでのＯＴＣ見学・在宅医療・お薬相談会・漢方製剤・夜間／休日薬局など、外部実習も経験した。その中で私にとって大きな経験となったのは在宅医療であった。自分の見えない所で苦しんでいる患者さんが居るのだという事実。その実態を知ることが出来たこと、そして患者さん一人一人に関わっていくチーム医療の存在は大きいということを肌で感じ、高齢社会における薬剤師の在宅医療への介入は、治療効果を高めるのみならず、家族の負担軽減に繋がるなど、今後の医療を支える重要な業務であり、薬剤師が職能を発揮するのは病院や薬局内だけではないことが分かった。

そして医療に関わる薬剤師の魅力を教えて下さった指導薬剤師の先生との出会い。先生が私の今後の目標となった。これだけでも、私にとって意義のある実習となったと断言できる。先生のように、チーム医療のリーダーとして、そして 『仲間からも患者さんからも選ばれる薬剤師』になりたいという強い決意を胸に、残りの学生生活を更に有意義なものとしていきたい。

第一薬科大学５年　座嘉比 佐穂
（あにも調剤薬局 実習　指導薬剤師 荒井 千春）

薬局では病院実習よりも地域医療に携わっているという実感が強く持てました。

病院実習では体験する事のなかった薬剤師自身が患者さんの血圧や尿、便の回数チェック、健康状態を把握して今の服薬状況を見直し医師に提案していることはすごくいい事だと思うと同時に薬剤師にはそこまで出来るんだ、そこまで求められているのだと思いました。

在宅医療の患者さんに対してのサービスや工夫を常に考えてより良いサービス、医療をしていく事の大切さを学びました。薬局では病院とは違い医療人ではなく、薬の管理、準備、服用するまでのすべてを患者さん本人または患者さんの親、家族が行うので薬を正しく用意するだけではなく、分かりやすいようにしてあげる工夫が大切で一人一人患者さんの状況が把握でき、その人にとってより良い医療を常に考え提供できることが魅力だと思いました。

ＯＴＣ医薬品（ドラックイレブンでの体験）では調剤薬局とは違って医師のように患者の話や症状を聞くことから始まり、薬剤師自身が薬を選びお客様に勧め、薬についての情報を全て正しく提供することの大切さを学びました。調剤時にも繋がるのですが一般名と商品名との一致、それぞれの特徴、違いを理解、覚えていないと患者一人一人に合った薬の判断が出来ないこと。知識不足、勉強不足を実感するとともに薬剤師になってからもずっと勉強し続けることの必要さを実感しました。

災害時の薬剤師の役割についての講義も学校では学ぶことの出来ない実際の話を聞けたり薬剤師に出来ること、求められていること、そして今までの勉強だけでは実際の状況下では足りないということにも気づかされました。

実習を通して実際に現場で薬剤師に出来ること求められていることが以前に比べて少し分かりました。ただ薬の勉強をし知識を増やすだけでは無く、薬剤師にとって必要とされていることを考えて勉強に活かしていきたいと思いました。

第一薬科大学５年　諸見 奈緒
（会営薬局うえはら 実習　指導薬剤師 大城 久美子）

薬局実習では、処方せん受付からレセプト作成までの一連の流れを学ぶことが出来ました。

Ｉ期目に病院で実習を行っていたので調剤にはすぐなれると思っていましたが、薬剤数が多かったり、処方日数が長かったり、後発品へ変更だったりと内容が濃く、調剤になれるまでに思ったより時間がかかりました。計数調剤では錠剤によって１シート１０錠だったり１４錠だったり混乱してしまいました。特に酸化マグネシウム細粒、ハイシー顆粒の計数調剤はすごく頭が混乱しました。一包化の調剤では１処方せんの薬剤数が多く用法ごとに分けるだけでも大変で、またヒートのまま調剤しないといけない薬剤もあり毎回緊張しました。散剤の計量調剤では、９０包までしかまけないので９０包を超えないように調整したり、１０倍散にしたりと計算が大変でした。服薬指導では、患者にわかりやすい言葉で表現し、患者の話に共感、傾聴する姿勢ができるようになるまですごく大変でした。また、調剤や服薬指導では患者情報を得るために薬歴簿やお薬手帳がとても重要だということを実感しました。

外部実習では、薬局製剤の調製を体験、漢方薬の調合、在宅医療に同行、ドラック１１・マツモトキヨシでＯＴＣ医薬品や健康食品、サプリメントについての実習、学校薬剤師の仕事を体験、卸見学やＤＩ業務、お薬相談会・薬物乱用防止の講演会に参加し、いろいろな薬剤師業務を体験することができました。

この実習で、薬剤師は薬局に置いてある薬の知識だけでなく、食品からサプリメント、病気に関する知識まで幅広い知識が必要とされ、コミュニケーション力も欠かせない仕事だということを学びました。また、いろいろな薬剤業務を体験し薬剤師の仕事の多様性を学ぶことができました。

九州保健福祉大学５年　新田 有香
（会営薬局うえはら 実習　指導薬剤師 大城 久美子）

薬局実習では保険薬局で行っている業務を幅広く体験できました。

最初は投与期間の長い処方せんの調剤に慣れず、調剤にすごく時間がかかってしまいましたが、実習をすすめるうちに長期投与の一包化や散剤がたくさんある処方もできるようになりました。薬局では患者さんがすぐ近くで待っているので調剤をミスなく速く行うことが大切だと思いました。

一般名処方や後発品の調剤も印象に残りました。患者が後発品を希望するかどうかの確認や薬局に後発品の在庫があるか、一般名処方では薬局にある薬のどれにあてはまるか等、調剤しながら考えることがたくさんあり、とても勉強になりました。

また、調剤報酬の算定もできるようになりました。学校の勉強では不足していた部分も学ぶことができたので、患者さんに説明を求められた時に自信をもって説明できるようになったと思います。

服薬指導では最初の頃は緊張してしまい、伝えることに精一杯で患者さんの状態や服薬状況を聞くことができませんでしたが、何回か行う内に少しずつ患者さんから情報を聞くことができるようになりました。患者さんにうまく話を伝えられなかったり、うまくアドバイスできなかったときは、自分の知識不足を痛感しましたが、患者さんから上手だったよと言葉をいただいた時はすごく嬉しかったです。

いろいろな職種の薬剤師の業務を見学、体験をすることもできました。

卸売業の見学や学校薬剤師の業務体験、ドラッグストアーでの実習、在宅医療での薬剤師業務など様々な現場を見ることができ、薬剤師の職能は幅広いと感じました。

今回の実習で様々なことを体験・見学できたので、これからどのような薬剤師になりたいか考える貴重な時間を過ごすことができたと思います。これらを体験させてくださった先生方にすごく感謝しています。ありがとうございました。

福岡大学５年　増永 麻実

（保険薬局プラネット 実習　指導薬剤師 平田 逸子）

９月３日からスタートした薬局実務実習。２ヶ月半の実習は、長く漫然と過ぎていくかとおもいきや、終わってみると充実した時間があっという間に過ぎ去って行った気がします。

最初の１ヶ月はなかなか業務に慣れず、今まで覚えていた一般名と商品名が繋がらなくて自分が触った薬が何の薬か全くわからないことが多くありましたが、よく出る薬を調べたり、処方箋からから薬がどんな目的で出されているのかを考えたり、指導薬剤師だけでなく、皆さんが気にかけてくれていろいろなことを教えていただいたりしながら、日々少しずつ薬について覚えていき始まる前よりも確実に知識を増やすことができました。

実習に慣れ始めた頃からは患者さんへの投薬もさせていただきました。何を聞けばいいのかどうやって患者さんから情報を引き出すのかが難しくて緊張してしまい、初めはぎこちなかったのですが、患者さんも実習生に快く協力してくれる方が多く、コミュニケーションのとり方、患者さんの表情、処方箋・薬歴簿から読み取れる情報をもとに服薬指導を行うことがだんだんとできるようになっていったと思います。相手のことを気遣い、顔色や状況を判断しながら対話をしていくというのは患者さんだけでなく薬剤師同士・医療関係者同士との連携にもつながる大事なことだと改めて感じました。

実習期間中、いくつかの薬局やドラッグストア、学校薬剤師の仕事、医薬品卸などに行く機会に恵まれました。薬局といってもいろいろなタイプがあり、近くの病院によって取り扱っている薬剤の種類が違ったり漢方や在宅を中心にしているところがあったりと保険薬局と言っても様々だということを知ることができました。また、学校薬剤師や夜間薬局の見学で薬剤師として地域に貢献する大切さを学ぶこともできました。

病院実習をⅠ期で終えて薬局実習が始まったのですが、５ヶ月の実習で様々な体験をすることができ薬剤師の仕事の多彩さに驚きました。

将来、何になりたいのかどんな薬剤師になりたいのか改めて自分と向き合いたいと思います。

実習期間中にお世話になった方に感謝します。楽しい実習をサポートしていただきありがとうございました！

九州保健福祉大学５年　比嘉　豊

（がじまる薬局 実習　指導薬剤師 比嘉 はつみ）

１１週間のがじまる薬局での長期実務実習を通して、薬局薬剤師は、調剤業務や薬局製剤の製造、一般用医薬品の販売供給だけではなく、学校薬剤師として学校環境の整備に関わる事や在宅での薬剤管理、市民を対象にした健康相談会などでの活動など、多岐にわたる業務があることを学んだ。

その中でも、印象的であったのが、在宅医療でした。在宅医療では、普段の業務では気づくことができない問題点などが見えること、その問題を解決するために、医師、ヘルパーさん、ケアマネージャーさんなど患者とかかわる様々な職種の人達と協力してチーム一丸となって患者の治療をサポートしていることを学ぶことができた。また、訪問した患者さんの薬剤管理を改善するために指導薬剤師の先生と話して改善策を探すなどをしてみて、在宅医療のやりがいなども実感することができた。次に、印象的であったのが地域の方々への健康相談会やお薬相談会である。その地域の薬剤師さんが集まって、地域の方からのお薬に関する相談や生活習慣に関する相談などに答えているのを見学して、薬剤師が、地域の方々が健康に暮らせるようにサポートしているということを実感することができた。

これらのことより、薬局薬剤師は地域とのつながりを大切にして、地域の人から頼りにされて体調を崩した時などに気軽に相談できる薬剤師になることが必要であると考えた。

最後に、外部実習でがねこ薬局や、にしばる薬局、新川薬局、ゆがふ薬局、ぼたん薬局、すずらん薬局、会営薬局医療センター前、ダイコー沖縄やアトルなどの卸売業、ドラッグストアのマツモトキヨシ、県の薬務課、沖縄県薬剤師会などで薬剤師の先生方から様々なお話を聞くことができ、薬剤師の職域の広さ、これから求められる薬剤師像、６年制薬剤師への期待など様々なことを学び感じることができた。

この１１週間の実務実習で学んできたことを胸に刻み自分の思う理想の薬剤師に近づけるようにこれからも努力し続けていこうと思います。

神戸学院大学５年　又吉 真梨菜（がねこ薬局 実習　指導薬剤師 前濱 朋子）

がねこ薬局での２か月半の実習を振り返ると本当に毎日楽しくて、調剤・服薬指導だけでなくいろいろな経験をさせていただき充実した実務実習でした。Ｉ期は病院での実習だったので、この実習ではより患者さんに近くて服薬指導も多く経験できること、がねこ薬局は特殊な疾患の患者さんが多い薬局なのでそれらの疾患や薬について勉強すること、また地域との関わりに参加することが大きな目標でした。しかし実際の実習ではそれ以上のことを経験させていただき、服薬指導も初回の問診からわたしが対応した患者さんを２回目・３回目に来局された際に再度わたしが投薬することができたので、症状改善の様子や日常生活のことなど聞くことができました。実際に自分が投薬した患者さんが「調子がよくなっていて楽になっているよ。」というのを聞いたり、わたしのことを覚えていてくれて「研修がんばってね。いい薬剤師になってね。」とおっしゃってくれたのですごくうれしく思いました。

また、市民に対する健康フェアへの参加、学校薬剤師として検査や講義の手伝いをしたり、ドラッグストアでのＯＴＣ実習、卸の見学など他にもたくさんの外部実習を行ってみて薬剤師の職域の広さ・魅力を改めて実感することができました。

指導薬剤師の前濱先生をはじめ薬剤師、事務のみなさんは忙しい時でもわたしのちょっとした疑問にやさしく答えてくれたり、全員が患者さん役になってたくさん服薬指導のロールプレイをしてくれました。そのおかげで初めは自信もなく説明不足な服薬指導だったのが最近では徐々に慣れ患者さんも安心して薬が服用できるようになったかな？と思います。普段の業務をこなしながらもわたしのためにたくさん時間を割いてくれたみなさんには本当に感謝しています。神戸学院大学からの沖縄での実習は今回が初めてです。がねこ薬局で実習ができて、沖縄でのふるさと実習を希望してよかったです。

また、がねこ薬局以外の施設のみなさんにもたくさんご指導していただき本当にお世話になりました。ありがとうございました。

第一薬科大学５年　大兼久 尚史（病院前薬局 実習　指導薬剤師 浅沼 健一）

私は北部の病院前薬局さんで１１週間実習させてもらいました。沖縄県北部地区として初めての薬局での実習生の受け入れと、受け入れをして下さった病院前薬局さんが一人薬剤師ということだったので、学校の先輩たちや先生たちから「忙しくて学生の相手をする時間がないかもしれない」や「実習項目が埋まらないかもしれない」などと言われた事もあったので、最初の頃は少し不安がありました。しかし、実際に実習が始まってみると、確かに忙しかったですが、浅沼先生は忙しいながらも業務についての説明や初歩的な質問などにも快く答えてくれました。さらに、病院前薬局さんではやっていなかった麻薬管理や学薬などは、近くの薬局さんが協力してくれて体験することができました。そのため、一人薬剤師の薬局でも近隣の薬局さんがいろいろと支援してくれたため、とても充実した実習だったと思います。

服薬指導では、まだまだ慣れない事もありましたが患者さんはとても優しく、指導上の事で助けてもらった事も多々ありました。そのお陰で最後の方では緊張も解け、服薬指導もリラックスして行う事ができました。なので、外部実習などで南部地区に行く時は少々きつい事もありましたが、北部で実習できてよかったと思っています。

将来は薬剤師として沖縄県北部に帰ってきて、地元・地域に根付いた薬剤師になり地元に貢献できるようになりたいと思っています。

第一薬科大学５年　籾　慶輔（うさぎ薬局 実習　指導薬剤師 川上 善久）

あっという間の２．５ヶ月間でした。私は病院実習を終えた後に薬局実習を受けましたが、同じ薬剤師でこんなにも仕事の内容が違うのだと実感する毎日でした。

まず、薬局実習で感じたのは、私が想像していたよりも仕事量が多いということです。また、仕事内容の豊富さ、処方せんの多さにはとても驚きました。薬局薬剤師ならではの薬歴管理や調剤業務などはとても貴重な体験でした。他の医療機関スタッフとの連携など薬局でしか体験することの出来ない経験も多々させていただきました。

薬局での服薬指導は、病院での服薬指導とはまったく異なっており、患者との距離感が病院とは全然違うように感じました。病院はゆっくりと話すことが出来ます。その分、話す内容に厚みがあるように感じました。しかし薬局の場合は、次の患者が目の前で待っているので時間の束縛があり、スムーズな調剤・投薬、より適切な提供情報の選定などが求められるのだと感じました。

ＤＩでは、「薬の情報とその活用法」を学びました。いろいろなスタッフから来る質問への回答がそのスタッフの受け持つ患者の治療に直結している。そしてこの知識こそが地域医療全体のレベルを上げているのだと実感しました。

今回の薬局実習では、学校薬剤師の活動、医薬品卸の現場見学、在宅医療を中心とする薬局の見学・体験、漢方薬専門薬局での漢方の学習、災害時での薬剤師の役割に関する講義など数え切れないほど多種の薬剤業務に関する実習を体験させていただきました。とてもよい経験になったのと同時に、私は今の勉強のレベルでは全く通用しないとも思いました。

６年制薬学の授業で学ぶ内容は現場の薬剤師の活動に追いついていますが、単科でのレベルであって総合（複合、応用）という意味では全く足りていないと思いました。確かに応用などは現場に出てから学ぶことかもしれないが、もう少し学校で勉強出来ればもっと有意義な実習になっていたのかもと実感しています。

この２．５ヶ月でとても多くのことを学びました。ここでの体験は､今後の私が一生やっていくことそのものなのです。そしてここでの体験が、多くの患者を助けるための知識なのです。そして、この知識を活かすも殺すも、それは私次第だと思っています。この貴重な体験を活かし、さらなる努力をし、人の役に立てる医療人を志していきたいです。

先生方、実習をサポートしてくれたスタッフの方々、本当にありがとうございました。

後列（指導者）左より　仲真良重氏、大城久美子氏、比嘉はつみ氏、川上善久氏、荒井千春氏、我喜屋美香氏、仲宗根辰弥氏、平田逸子氏、前濱朋子氏
前列（実習生）左より　新田有香さん、諸見奈緒さん、比嘉豊さん、籾慶輔さん、座嘉比佐穂さん、大兼久尚史さん、伊波友理華さん、増永麻美さん、又吉真梨菜さん

月例相談会

第105回健康とおくすり相談会報告

日時：平成24年10月17日（水）
16:30～18:30
場所：パレット市民劇場
担当：那覇地区薬剤師会

新垣薬局　新垣 秀幸

去る「薬と健康の週間」に、南部地区薬剤師会の健康とおくすり相談会がパレット市民劇場にて開催されました。あいにく、相談時間より台風が接近し天気は最悪なコンディションとなりました。

相談員の先生は６名、実習の学生も参加していましたので、相談者よりも相談員とスタッフが多い状況となっていました。悪天候にもかかわらず二十数名の相談者が相談会へ訪れました。

使用機器も体成分分析器、血圧計、動脈硬化測定器等々を揃えましたが、当日、動脈硬化を測定する機器が不具合を起こし使用できませんでした。学生さんには、機器測定、案内の補助をお願いしました。時間が空いている間は、相談員の先生の後ろで見学をしてもらいました。

天気が悪かったために相談者が少なかったことから、ゆっくり相談へ応じられたと相談員の先生方からの感想がありました。また、機器での測定もスムーズに流れ、のんびりとした良い相談会となりました。

末筆にて申し訳ありませんが、今回の薬と健康の週間中に、金城栄一先生（晴天堂薬局）が沖縄県薬事功労者知事表彰を受賞されました。南部地区一同よりお祝い申し上げます。

＜課題＞

（１）相談員の先生の確保
　　平日のため業務が忙しくなかなか相談員となる先生がみつからない。

（２）学生の参加内容
　　打ち合わせ不足？実習内容の理解不足。

（３）機器整備
　　前日確認が必要。

実習生（前列）と記念撮影

機器測定や案内の補助を体験する実習生

✪健康とおくすり相談員

○新　垣　秀　幸　　○伊　敷　美　佳　　○我喜屋　美　香　　○金　城　栄　一
○高　良　武　和　　○照　屋　秀　子

月例相談会

第106回健康とおくすり相談会報告

日時：平成24年11月18日（日）
13:00～16:00
場所：サンエー那覇メインプレイス

大浜第二病院　姫野 さやか

１１月１８日（日）、サンエー那覇メインプレイスに於いて、那覇地区薬剤師会主催の「健康とおくすり相談会」を行った。

日曜日のお昼時とあって、たくさんの買い物客が行き交い賑わっていた。相談場所は二階中央エスカレーター東側正面のスペースを利用させていただいた。いつもは“那覇地区薬剤師会”の横断幕を背にして机とイスを並べるのだが、目立つ場所なので少しでもプライバシーを確保しようということになり、横断幕をついたてにし、その内側に相談場所を設ける工夫をした。

お薬手帳の広報紙を配りながら相談者を誘導した。若い方が多かったので相談者は少ないと予想したが、買い物の合間にと一度も健診を受けたことがないという離島からいらした年配のご夫婦や妊娠に気づく前に服用した薬のことが気になるという若い女性、映画を見て興奮した後だから血圧が上がっているという方、血圧の薬やコレステロールを下げる薬を服用しているが飲み始めに比べなかなか数値が下がらないという方々など相談内容は多岐にわたった。どれも薬は特定できなかったが、相談者がより安心して薬物治療を受けていただけるようなアドバイスをそれぞれ担当した薬剤師が行った。

“お薬手帳”の広報紙を配る際、「お薬手帳ご存知ですか？」と声をかけながら配ったが、殆どの方から「持っていますよ。」の返事があり、浸透していることが実感できた。しかし、相談にいらした方は全員“お薬手帳”を常時携帯していなかったので、薬の内容がわかればより適切なアドバイスができたのにと感じた。東日本大震災の時に“お薬手帳”を持っていて助かったという話があったが、不測の事態のことを考えると常時携帯することの大切さも感じた。また、おひとりだけ市販の手帳に薬の名前を書いて持参していたが、「お薬手帳は薬局毎に貰っているからこうやって書き留めている。別にしないとお薬手帳がすぐなくなるから・・」とのことだったので、お薬手帳は共通にすることで飲み合わせや重複する薬を確認できることを説明した。お薬手帳の意味を全ての方に理解して戴く難しさを感じた。

お薬手帳の電子化の記事を最近よく目にする。経済産業省と厚生労働省は日薬と連携し、「電子版お薬手帳」の導入を支援し、地域医療連携などを含め本格的な整備計画を始めている。大阪府薬剤師会は国の予算を得て、先駆的に全国標準システムを開発し全国への拡大を目指し、モデル地域での運用を開始し、来年九月に大阪で開かれる薬剤師会学術大会で発表を予定しているとのこと。アナログ版にせよ、デジタル版にせよ、薬剤師の役割の一つとして情報伝達とその後の経過フォローを継続し、薬と健康の情報発信者としての役割が担えるようにアンテナを張り研鑽を積まなければと再確認した時間でもあった。

✪健康とおくすり相談員

○新垣 晶市　○伊是名 秀平　○渡具知 一枝　○姫野 耕一　○姫野 さやか　○宮城 幸枝

投稿

第35回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプ参加報告

琉球大学医学部附属病院薬剤部　外間　登

平成２４年８月１日(水)～８月４日(土)の３泊４日の日程で、第３５回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプが沖縄県立玉城青少年の家にて行われました。

小児糖尿病サマーキャンプ、どのようなものか簡単に説明すると、キャンパー（主に１型糖尿病患児）と医師・栄養士・看護師・薬剤師・その他学生等から成るボランティアスタッフによって運営され、レクレーションや食事・睡眠等の共同生活を通してキャンパー及びその家族に対する療養生活指導を主体とするキャンプです。

キャンプ中のレクレーションは看護学生が５班（各班１０名程）に別れ、それぞれ何日目のお昼の部や夜の部などと日程中の時間を分担し、企画から進行まで行います。そしてその各班にキャンパーも３～４名ずつ割り当てられ（今回のキャンパーの参加人数は２０名ほど)、看護学生と一緒にレクレーションを楽しみながら３泊４日のキャンプを過ごします。

今回、僕は日常業務の都合上、全日程へ参加することができず、キャンプ日程中に、日勤業務終了後から様子を見に行くだけでもと思い、２回ほど夜からキャンプ会場へ足を運ぶことにしました。

まずはキャンプ日程１週間程前の事前ミーティングに参加。

その事前ミーティングでは、看護学生たちが班ごとに企画してきた日程（ビーチフラッグやスイカ割りなどのレクレーションと食事や血糖測定、捕食のタイミングなど）を医師や栄養士と確認・修正をしていました。

そして、キャンプ初日。キャンプ場に２０時着を目指していたが職場を出るのが遅くなり、到着が２１時半となってしまった。

到着した頃にはキャンパーたちの血糖測定も終了しており、この日はあまりキャンパーの様子を見ることはできませんでした。スタッフの当直グループへの引継ぎ（キャンパーたちの血糖変化や使用インスリン単位など）とその日最後のミーティング（その日の報告・反省と翌日の日程確認）だけの参加となりました。

キャンプ３日目。この日は予定通り２０時にキャンプ場に到着！！ちょうどキャンプファイヤーが始まるところでした。

キャンプファイヤー終了後、それまでの３日間のレクでの各班の点数、優勝班の発表や、がんばったで賞などの個人賞の発表が行われました。

キャンパーは小さい子から高校生までいて、毎年参加している子や初参加の子もいてこの日は最後の夜でもありみんな楽しそうに、名残惜しそうにしていました。

その日のミーティング終了後には、薬剤師だけで今後の課題等の話し合いもしました。

小児糖尿病サマーキャンプは今回で第３５回目であり、医師や看護師、栄養士、看護学生、メーカーさんの役割等は確立されているが、薬剤師の役割・立場はまだ確立されているとは言えず、その原因としては参加できる薬剤師の人数の不足などが上げられます。今回のぼくのように少しだけの参加でも、薬剤師の参加人数が増えれば、分担して役割をこなすことも出来るはずです。３泊４日フルに参加は無理でも半分くらい参加できれば、２人で交替して各班に配置してもらうことも可能かと思われ、各班に一人薬剤師が配置されていればしっかりキャンパーや他のスタッフとのコミュニケーションも取りやすくなり、薬剤師の役割確立にも繋がってくると思います。

来年はぜひ時間を作って全日程参加し、キャンパーやスタッフのみなさんと楽しい時間が過ごせるようにしたいと思います。

お知らせ

＜県薬が会員に販売している印刷物等＞

○国保総括票	25枚	1冊	100円
○市町村別請求書（その１）	50枚	1冊	160円
○市町村別請求書（その２）	1枚		10円
○調剤報酬明細書	50枚	1冊	160円
○管理薬剤師業務日報	1年分	1冊	600円
○処方せん	100枚	1冊	160円

○お薬手帳カバー	1枚	22円
○薬歴カード	各1枚	5円

（国保（本人・家族）青色／社保（本人）白色／社保（家族）桃色）

【改訂版薄手お薬手帳】表紙色（薄青色）１４ページ　価格 税抜き１２円

【現行リニューアル版】表紙色（薄黄色）３４ページ　価格 税抜き２２円

九山薬学大会

第74回九州山口薬学大会医療安全対策連絡協議会報告

日時：平成24年９月15日（土）12:30～14:30
会場：北九州国際会議場

医薬品事故・過誤対策委員会　吉冨 弓江

本協議会は、９県から２１名が出席して開催された。

〇報告事項

「医療安全について 調剤事故の現状と防止」
日本薬剤師会理事 田尻 泰典氏

医療安全に関しては新しい報告というものはなく、同じ事の繰り返しが重要である。そのためには「薬剤師は医療人である」という心構えを持ち続ける必要がある。

医薬品による医療事故が新聞等で報道されているが、福岡県でも過去に賠償金の対象となった事例がいくつかある。しかし、薬局から薬剤師会への報告は少なく、全体を把握できていない。

福岡県では、日本薬剤師会の薬賠責（日薬版薬賠責）の他に、県薬独自の薬賠責（県薬版薬賠責）への加入を勧めている。理由としては、賠償金が高額なために日薬版薬賠責だけでは賠償金をカバーできない事例があることと、県薬版薬賠責の場合は、県薬に必ず情報が入るからである。県薬としては、マスコミの取材を受けたときに「聞いていない」、「知らなかった」では通らないのである。

〇各県薬剤師会の取り組み状況報告

本協議会開催にあたり事前にアンケート調査を実施しており、その結果に基づいて報告、協議された。

１．調剤事故の発生情報の収集方法について

ほとんどの県が会報、研修会などを通じて県薬への事故報告の方法を連絡しているが、発生件数・内容を全て把握している県はなかった。その中で県薬版薬賠責を導入している山口、熊本、福岡の３県は、把握している事例は他県より多いと言える。

福岡県は県薬版薬賠責を２０年前から導入しており、そのメリットを次のようにあげた。

（１）地元に事務所がある会社であれば地元に適した対応ができる。
（２）全国的な会社だと対応が事務的になってしまうが、地元の会社であれば個々にも対応してくれる。
（３）全ての事例が県薬に報告されるため、重大な事例を共有して再発防止につなげられる。

今後、県薬としては、薬剤師への賠償額が上昇していること、事務員が原因による事故が増えている事などを会員に伝え、薬賠責加入の重要性、県薬への報告の必要性を知らしめなければならない。

２．薬局ヒヤリ・ハット事例収集について

登録割合が最も多い山口県は、９月１５日現在５４％、４１０薬局に達した。登録件数を毎月支部別にグラフ化し、年間１０回ほどの各委員会でも案内している。さらに、薬学生実務実習では、実際に報告もさせている事などが意識づけに繋がっていると考えられる。その他にもホームページに登録方法の解説を掲載し、事前に準備が必要なものを知らせ、登録方法の電話対応や訪問対応も行っているという。

宮崎県から、登録件数や報告件数が少ない理由として「処罰の対象になるのでは」「ミ

スを県薬に知られたくない」と考えている薬局があるのなら、正さなければならない。病薬でも初めは報告が懲罰の対象とみられていたが、その後フィードバックされて今では「宝の山」となった。との意見があった。

直接、日薬に報告する薬局もあると思うが、日薬の集計がブロック別になっており、県別では集計されていないため、県別の把握ができない。県別の集計がほしいとの要望もあった。

3．医薬品医療機器総合機構について

4．独自の取り組みについて

上記については、時間の関係上協議に至りませんでした。

5．今後協議会で取り上げたいテーマについて

電子版お薬手帳の取り組みや今後の方向性について（山口県）は、福岡県薬剤師会副会長の井上氏から、近い将来、お薬手帳は標準化する予定であることが報告された。

会報原稿募集のご案内

広報委員会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。

広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

・誌上匿名は可能です。
・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。

☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）
〒901-1105 島尻郡南風原町字新川218-10　TEL 098-963-8930　FAX 098-963-8932
e-mail : kouhou@okiyaku.or.jp

日薬学術大会

第45回日本薬剤師会学術大会参加報告

テーマ「未来を奏でる薬剤師響奏曲－その職能は新たなステージへ－」

(株)アトル 沖縄支社
川上 雄一朗

去る１０月７～８日、“ふじのくに”静岡県を会場に、第４５回日本薬剤師会学術大会が開催されました。青空の下、山・海・川の自然と歴史、産業が勢ぞろいした、見どころ豊富な地に全国から薬剤師が集結しました。開催地の浜松市は「音楽のまちづくり」を掲げており、音楽的な施策を続けているそうです。そんな施策から、本学術大会のテーマとなっています。ちなみに今年は６年制薬剤師が初めて誕生した年でもあり、記念すべき大会です。本大会へ参加する機会を卸勤務薬剤師会よりいただきましたので、その内容を報告します。

【特別記念講演】科学・薬学の未来

講師：**瀬名 秀明**

著者名はペンネームで本名鈴木秀明であり、瀬名は静岡のある地名が由来となっています。瀬名氏は映画化・ゲーム化にもなった、あのベストセラー「パラサイト・イヴ」の著者でもあります（私は、怖くなり、ゲームを途中で諦めた日のことを思い出しました)。曰く、日本人は海外と比べてミトコンドリアが好きらしく、研究が盛んなのだそうです。

瀬名氏は、作家にはめずらしくパワーポイントを使って、視覚的にわかりやすく話をしてくれました（その分、瀬名氏の顔を見る回数が減るのですが)。瀬名氏はロボットとＳＦが生命の探求から始まったことだと教えてくれました。ロボットでいえば生命と非生命、相反するように思われます。話題として、マスコミで話題になった石黒先生のアンドロイドのスライドが出てきました。（石黒先生はロボットに似せるために自分の顔を整形した）やはり、どことなく、不気味さがよぎります。どんなに似せても、人間は、肌の質感や身体のゆれ、目のキョロキョロした動きを敏感に感じ取っているのです。人間らしさの追究はまだ難しいようです。

ここでロボットを三つにわけると、製造業などで活躍する役立つロボット、人間とコミュニケーションをとるような娯楽ロボット、石黒先生のアンドロイドのように人間とは何かを知るロボットがあります。これらは「読書」で例えることができます。役立つロボット＝実用書、娯楽ロボット＝娯楽小説、人間を知るロボット＝哲学書というように。

さらに、私たちの生活の中では人間のロボット化というのがあります。マクドナルドの接客姿のように、徹底されたマニュアル化です。人間らしさとはなんでしょうか？

ロボット研究の第一人者加藤一郎教授の動画があります（ｙｏｕｔｕｂｅでも閲覧できます)。この映像の中には、目の前の楽譜をリアルに読み込み、演奏をするロボットが見られます。まるで人間のようでした。驚いたのは、１９８４年の映像ということです。いずれ、ロボットに小説が書ける日が来るのでしょうか？ロボットに安心・安全で任せられることはなんでしょうか？機械らしさと人間らしさとは何なのかを考えさせられます。

“ＡＣ ＪＡＰＡＮ”のＣＭで聞いたことはあるでしょう。

「こころ」は誰にも見えないけれど

「こころづかい」は見える
「思い」は見えないけれど
「思いやり」は誰にでも見える

ここにヒントがあります。もしかしたら、思いやりを与えれば人間らしく見えるのではないか？そんな発想が頭をよぎります。

瀬名氏は、生命や機械を題材にした過去の各々の書籍を紹介し、生命科学の予言ともいうべき世界が既に広がっていたのだと教えてくれました。「想像からつくる未来の創造力へ」このメッセージを私たち薬剤師へ伝えてくれました。

【ランチョンセミナー１６】薬剤師に知ってほしい抗がん剤でおこる口腔の副作用

講師：静岡県立静岡がんセンター
歯科・口腔外科部長　**大田 洋二郎**

がんといえば静岡がんセンター。富士山と駿河湾を望む丘陵地に開院した都道府県がん診療連携拠点病院。医薬品・医療機器の生産額が全国トップレベルを誇る本県の中でも、製薬・医療機器工場のほか製薬企業等の研究拠点が数多く集まるファルマバレープロジェクトを掲げています。主催の（株）サンスターとも低刺激性の口腔ケア商品の開発を行なっており、SMAPの草彅剛主演のドラマ「37歳で医者になった僕」のロケ地でもあったそうです。なんと、患者満足度1位（日経メディカル)、がんの治療の実力病院ランキングで全国第1位（週刊朝日）であり、きれいな日本庭園にも力を入れているそうです。

さて、がん治療にあたって口腔の副作用頻度は多いです。化学療法では４０％、造血幹細胞移植では８０％、放射線治療では１００％です。口腔の副作用には口腔粘膜炎、味覚異常、口腔乾燥、歯肉出血、口腔感染、ヘルペス性口内炎、ガンジダ性口内炎があり、それらの特徴やリスク、予防方法などを教えてもらいました。

・ヘルペス性口内炎はアフタと違い、ポツポツと刺すような痛みが特徴
・ガンジダ性口内炎は白苔ができ、ゆすぐことでとれるが再発する（スポンジ等でこすってはだめ、出血する)、ピリピリ・チクチクした弱い痛みがある。
・口腔粘膜炎は口腔トラブルの代表でびらんまたは潰瘍ができ強い痛みがある。
発症部位は口唇裏、頬粘膜、舌腹などがある。レジメ別では、抗がん剤による頻度は乳がん、胃がん、大腸がん・・と多い。
日本では未承認のケピパンス（アムジェン社）
患者指導するセルフケアの基本として、

１．口腔内清潔保持→１日３回のブラッシングなど
２．口腔内保湿→含嗽の継続・頻回に行う、市販の保湿剤など
３．口腔粘膜炎の疼痛コントロール
→　侵害受容体性疼痛であり、アセトアミノフェンやＮＳＡＩＤＳが効果あり。グレードに合わせて疼痛コントロールも変更を必要とする。

グレード１（違和感、ざらざら感）：うがい
グレード２（ひりひり、飲みこむと痛い、食事は可能）：うがい＋鎮痛薬
グレード３（話せない、飲み込めない、食事できない）：うがい＋鎮痛薬＋医療用麻薬

・口腔乾燥では唾液分泌減少から口腔粘膜の乾燥となり、口の中がざらざら、食物がまとまらないといった症状がでる。放射線照射により必発する。

他、分子標的薬アフィニトール（エベロリムス)、アービタックス（セツキシマブ）では関連口内炎の副作用やゾメタやランマーク、ＢＰ剤による顎骨壊死の副作用がある。中でも顎骨壊死について、骨髄炎が先行して症状としておき、そこで見つけることができると考えがちだが、骨露出していない顎骨壊死もあることが重要だそうです。見た目に惑わされないようにしなければなりません。

日々の治療の中で病院では歯科医師と、保険薬局では歯科医師会との連携が大事だと教えていただきました。

【分科会２】薬学教育は新たなステージへ
～医療人として求められる薬剤師の基本的資質～
【基調講演】医薬品をより安全に使用するために～薬害の教訓を踏まえつつ、患者の視点から～

講師：**花井 十五**

印象的な方でした。自身も薬害被害者であるが、医療を憎むどころか、安全使用のために明るい口調で、冷静で客観的な意見を交えて、薬剤師への期待を話してくれました。「二度と薬害を起さないでほしい」と９薬害１１団体の紹介と、薬害の歴史に触れ、薬剤師は薬害を最も理解する医療従事者であってほしいと訴えています。「医薬品は不完全な商品である」「医薬品は多くの患者が命をかけて育てるという宿命をもつ商品である。こうした現実と闘う宿命をもつ者たちが専門家である。」しかし、一方で医薬品の革新がすくってきた事実があります。ドラッグラグの解消等の行政対策がＨＩＶによる患者死亡数の減少に繋がっています。花井さんは、患者同士の会話には「お前の（ＣＤ４＋）いくつや？」といった挨拶が出るのだと、笑って話してくれました。これまでの薬の歴史を振り返っているような感覚でしたが、薬剤師として、医療従事者としての責任感が改めて心に染みた内容でした。

最後に、薬剤師へ下記の役割を期待していると述べてくれました。

・チーム医療の担い手として、患者にとって実質的セカンドオピニオン的役割
・医師等に対する医薬品安全情報の適切提供の役割
・投薬時のヒューマンエラー防止
・病棟、外来時における服薬指導・服薬支援
・在宅医療チームの一員としての服薬指導・支援

以降の分科会のシンポジウムでは、実務実習に関する発表がありました。ちょうど実務実習生の受入を予定していましたので、大変参考になりました。まさに薬学６年生による実習の感想発表を聞くことができ、“未来を担う若者に拍手・声援を！”という一幕もあり、会場は盛り上がりも見せました。また、各地域薬剤師会の取り組み状況や悩み等を聞くことができて収穫は大きかったです。実習生を受け入れるというのは地域の大きな協力があって可能であり、制度だけでなく現場の充実度はすさまじい努力や知恵が詰まっていると感じました。

【特別講演４】診療報酬改訂からみた薬剤師に求められるもの

講師：日本薬剤師会副会長　**三浦 洋嗣**

ここでは、普段は聞けないであろう診療報酬の舞台裏を聞くことができました。我々自身も改訂には振り回されていると感じますが、日本薬剤師会はそこに薬剤師への期待を診療報酬・調剤報酬という形でメッセージを送られています。その中には、後発医薬品の普及促進に向けた積極的な取り組み、お薬手帳の利用、在宅医療推進に触れ、「かかりつけ機能」をより一層発揮し、地域医療提供体制の中で貢献していくこと、病棟業務などがあります。これらの評価にあたり、中医協で繰り広げられる議論は、壮絶な攻防があったのだろうと発表から感じられました。厳しい財政状況の中で行なわれた改定は、改めて薬剤師業務を見つめ直す良い機会だったかもしれません。

最後に**【分科会１０】社会の期待に応える薬剤師の将来像**を拝聴しました。この分科会では、各領域で活動する薬剤師の現状を含めた将来像についての発表でした、薬局、病院・診療所、製薬企業、卸売販売業、医薬品に関わるほぼ全ての業務について知る良い機会でした。職域は違えど、すべての薬剤師が一元的に責任と主体性をもつことで、最終的にすべての医薬品の適正使用を担保するのだと、児玉会長は述べました。近々、将来ビジョンを策定し、ＨＰ上に公開する予定らしく楽しみです。

今大会では、上記以外にも口頭発表や卸会社によるポスター発表もあり、視野が広がる充実した二日間でした。この経験を、今後に生かして、業務に励んでいこうと思います。

ＦＡＰＡ

アジア薬剤師連合学術大会（ＦＡＰＡ 2012）に参加して

ミドリ薬局 美里店　玉城 武範

【はじめに】

平成２４年９月１３日（木)～１６日（日）の４日間、アジア薬剤師連合学術大会（24rd Federation of Asian Pharmaceutical Associations Congress：ＦＡＰＡ２０１２）がインドネシアで開催されました。地域コミュニティーに対し薬局としてどのような役割があるか、私の独自のテーマ「健康」を中心に、アジアの薬剤師と議論を交わしながら新しいニーズを考えました。

【学び】

今回は、Health Literacy（ヘルス・リテラシー）とＭＴＭ（Medication Therapy Management；薬物治療マネージメント）について注目しました。日本を先頭にほとんどのアジア諸国が、今後２０年以内に高齢（化）社会（Aging society and/or aged society）を迎えます。人口構造の変化は健康を維持する社会構造も伴います。先般、発表された健康日本２１（第２次）（厚生労働省）の中で、健康寿命を延ばす取り組みが示されていました。このことを考えた時、私は国民一人一人のHealth Literacyが重要になってくると考えます。Health Literacyとは、健康や医療に関する情報を得て、それを理解し活用する能力のことをいいます。私たちが日々の中で遭遇するあらゆることは、健康状態または病状に大きく影響を与えます。つまり、日常が健康・不健康の狭間ない連続である以上、日常生活の中でどのように健康を維持するか、質の良いリテラシーを全国民が持っておくことはとても重要と考えます。そして地域コミュニティーに注目するならば、医学管理が比較的行き届いている病院とは異なり、生活スタイルが千差万別である自宅での日常生活を通した各々の健康・不健康の上に成り立つあらゆる疾病初期におけるケア及び症状安定後の継続的なケアのフォローといった、“健康”を維持する支援的取り組みを薬局で行うことがプライマリ・ケアを担う薬剤師の腕の見せ所だと考えます。ここでいう“健康”とは、世界保健機関（WHO）憲章で定義されるように、「完全に、身体、精神、及び社会的によい（安寧な）状態であることを意味し、単に病気でないとか、虚弱でないということではない」ことを指します。(Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.) これらのことを実践するために、薬局で必要になってくる新しいサービスの一つに、ＭＴＭなどが注目されてくると考えます。

ＭＴＭ(Medication Therapy Management; 薬物治療マネージメント）サービスという概念は、ＡＰｈＡ（米国薬剤師会）とＮＡＣＤＳ（全米チェーンドラッグストア協会）がファーマシューティカル・ケアを包括する次のパラダイム事業として推進しています。元来ＭＴＭは「薬物治療を受けている患者の薬剤の適正使用と、薬物相互作用を含めた薬物有害事象を回避し、患者の治療アウトカムを最適にするもの」と定義されています。日本とは医療保険制度が異なる米国ですが、医療費高騰に対し今までとは異なるアプローチの方法で対策を初めて考え出された概念がＭＴＭだと

されています。このＭＴＭサービスで治療の適正化を行うことで、一時的に薬剤費用は増えたとしても、救急治療室（ＥＲ）及び病院への患者の受診を減少させ、複雑な治療に関わる薬剤費を減少させることで、トータルでのヘルスケアの費用を抑えようといった取り組みです。事実、コミュニティーファーマシー（米国における地域薬局の総称）の薬剤師によるＭＴＭサービスの実践により、薬物関連の問題の早期発見につながり、救急搬送、入院、および薬剤の偶発的事故を減らすことで、トータルでの治療にかかわるコストが削減できたことが報告されています。またＮＡＣＤＳは、薬剤師によって高齢の人々に提供された地域密着型のＭＴＭが、健康管理のアウトカムを改善して支出を削減したことが明確に示されていることを報告しています。

コミュニティーファーマシーにおけるＭＴＭサービスは、患者の処方箋と市販薬などの薬歴（ＰＭＲ）を活用し、患者が薬剤師と提携して健康目標を達成するため医師と薬物療法関連の行動計画（ＭＡＰ）を共有し、さらなる薬物治療への介入、受診勧奨および治療のフォローアップへ繋げていくものとされています。このことは本邦ではすでに、共同薬物治療管理業務（ＣＤＴＭ）として、事前に作成されたプロトコールに基づき比較的軽症で標準的な薬物治療が実施できる患者群を薬剤師管理する、といった形で取り組みが始まっていると思われます。

一般にＭＴＭサービスの恩恵を最も受ける群には、５種類以上の薬物療法を受けている患者、少なくとも１つの慢性疾患を持つ患者、ハイリスクな薬物療法（治療域が狭い医薬品など）を受けている患者、１人以上の処方医から処方を受けている患者、治療薬物の支払いコストの減少を望む患者などが挙げられていて、金銭的マネージメントに関してＧＥ医薬品のことも踏まえて取り組んでいると考えられます。

今回の米国からの報告では、ＭＴＭサービスの位置づけとして、病状の管理（疾病管理）、患者カウンセリング、抗凝固療法、ワクチン接種等に並んで、臨床薬剤師の役割とされる業務サービスの一つであることが強調されました。そのＭＴＭサービスのミッションは薬物治療のレジメンのレビューと最適化を行い、薬物有害事象を監視してその発現を防ぎ、薬物治療のアドヒアランス向上に努め、予防的なケアを進め他の職種と共同で病状の管理をし、治療にまつわるコストを改善することです。これら業務をＭＴＭクリニック（Medication Therapy Management Clinic/ＭＴＭＣ）として展開し、プライベートが確保された小部屋で直接決められた時間に行われ、５人の臨床薬剤師と１人のマネージャーを含めた６人で（２．５人常勤換算（ＦＴＥ/Full-time equivalent））で月平均２５０人の患者を１人３０分かけて対面形式（face-to-face）でＭＴＭサービスを行っている実践例が報告されました。ＭＴＭクリニックは、患者または家族とともにパートナーシップとして機能し、ほかの医療職専門家と安全で効果的な治療を進めるため、薬物治療のターゲットとされるアウトカムを達成できるよう患者を助けるものとして機能します。どのような患者がＭＴＭに登録されているかというと、１）多剤服用の患者（６剤以上）（多疾患や多併診でトータルケアが低下）、２）自己による内服の管理が困難な方、３）慢性疾患に対する薬剤治療のアドヒアランスが悪い方、４）慢性疾患に対し、明らかな薬識、病識の乏しい方があげられました。注目したサービス内容は、Pill Boxes（日本でいうところの一包化）が必要かどうかを決めていることです。具体的には、１）８０％台にアドヒアランスが落ち込んだ場合、２）１日に１０剤以上の服用薬剤がある場合や説明が非常に困難な場合、３）認知症やアルツハイマーの場合、４）心理的問題を抱える場合、５）適切な介護人者がいない、リテラシーの低い患者、６）適切な介護人者がいない、精神疾患患者など

です。本邦では、後期医療において６種類以上の薬を服用している人は３４．１％と報告されています[1)]。今後も高齢人口が増加の一途をたどるにつれて、多剤服用の患者は一層増えていくことが予想されます。また、認知症の患者、介護が十分でない患者も同様に増えてきます。これら米国の取り組み事例は、ターゲットとしている患者群の特性から見ても、わが国で今後必要とされる薬剤師活動と考えられます。すでにＭＴＭサービスに取り組んでいるアジア隣国の発表を見ても、今後の高齢社会での地域住民の潜在的ニーズに対応していく姿勢が感じられました。

また、薬局を中心として、通常の軽度の疾患に関しては薬剤師に初めに相談する社会システムが機能していることは、まさに薬剤師がプライマリ・ケアを担っている先進例と考えます。患者にとって病院よりも簡単に薬局で相談ができることは、診療所や病院の疲弊を減少させます。このことは、本邦で救急医療の質確保の問題で大きく議論された内容と一致します。われわれ地域薬局での患者に対する薬剤師活動は、自宅という社会的空間にある患者の生活を通したアプローチが中心となるが故、地域におけるヘルス・リテラシーの向上を目的に、“健康”を維持する支援的取り組みが、今後の時代のニーズとして重視されてくると考えます。

【おわりに】

４日間の参加で多くのアイディアを得ることができました。特に実務で実践している事例などは大変参考になり、ニーズが合えば仕組みを真似して積極的に取り入れたいと思うことが多々ありました。最も奮闘したことは、つたない英語で、会期中に数回、シンポジストに質問をしたことでした。他国の薬剤師との英語でのディスカッションは必死ではありましたが一歩踏み込んだ理解ができ、とても有意義な経験が持てたと思います。

また、ＦＡＰＡに招待されたインドネシアの医師と話した際、Ｐｕｂｌｉｃ　Ｈｅａｌｔｈ（公衆衛生）を一層向上していかなければならないことをお互い確認しました。私は「健康日本２１（第２次）」の１０年先の保健・医療・福祉にかかわる目標を紹介し、意見を求めました。インドネシアの高齢化率も伸びてきているとのことで、彼ら医師にとっても、質の良い医療とともに、一層、「保健」分野に理解が必要とのことでした。健康寿命の延伸の中、日本が老老介護を支えられる社会でいられるために、薬剤師として一層「保健」に力を入れていきたいと思い帰路に着きました。

謝辞：「２０１２ＦＡＰＡ Ｃｏｎｇｒｅｓｓ ｉｎ ＢＡＬＩ－ＩＮＤＯＮＥＳＩＡ」への参加にあたり、ご援助ならびにこのような見識広がるすばらしい機会を頂きました日本薬剤師会に心より感謝いたします。

参考文献

１．厚生労働省・平成２３年社会医療診療行為別調査結果の概況

部会だより

学校薬剤師について、知っていますか？

～手洗いとインフルエンザ～

学校薬剤師　久場 加代子

学校薬剤師の話の前に、今年最大の話題と言えばｉＰＳ細胞でしょう。心筋・神経細胞・網膜等をつくってしまう万能細胞ともいわれており、難病に苦しむ人にとっては、希望のもてる発見です。山中教授は、新薬の開発に期待しているとのコメントをなさっています。

さて、テーマとなるインフルエンザ対策ですが、昨年は８人に１人が感染したようです。インフルエンザの対策として、予防接種・マスク着用・手洗・うがい・・・・・加湿保温etcが考えられます。

この季節になると、学校薬剤師には、学校から、インフルエンザの予防法、受診後の対応など様々な質問がきます。

学校関係では、今年、学校保健安全法施行規則の、インフルエンザによる出席停止期間が改正されました。昨年までは「解熱後２日間」とされていましたが、今年４月１日からは小中高生・大学生では「発症後５日を経過し、かつ解熱後２日間（幼稚園児：３日間)」と改められました。抗インフルエンザウィルス薬の普及、特にイナビル等の服用により、解熱までの期間が短くなったため、感染力を残したまま登校するケースが増えているためです。発症後５日を過ぎれば、ウィルスがほとんど検出されなくなるという研究結果を踏まえて、上記改正となっています。

学校現場では、手洗い、手指消毒用アルコールの使用についての質問が増えます。

手洗いについては、手洗いの手法のほか、洗った後の手拭用の清潔なハンカチ、タオルの持参について提案します。手指消毒用アルコールについては安全な使用のため、先生の指導の下で使用させるように伝えます。特に小学校低学年の教室への配置は注意が必要です。

感染しない体力、感染したらやっつけてしまう体力作りも大切です。教育指導要領にくすり教育が加えられ、学校薬剤師が学校で薬の講演をする機会も増えてきました。その際には、薬の話に加え、自然治癒力の話もします。熱・痛みは早く治そうとする身体の反応・警戒サインの場合があること等も話します。小さい頃からの健康教育は、将来のセルフメディケーションにつながる事だと思います。学校では、皆勤賞が欲しいため、熱があっても登校する児童・生徒もいると聞きます。インフルエンザへの対応を通して、自分の健康管理はもとより、他人へ配慮する心も培われることも期待しつつ、予防の話をしていきたいと思っています。

学校薬剤師＆学校薬剤師を希望の会員の皆様へ

学校薬剤師部会では、毎年１月に学校薬剤師の配置等の再確認を行います。新たに学校薬剤師を希望する会員の方、現在の担当校について（変更等の）ご相談を考えておられる学校薬剤師の先生は、１月中旬までに学校薬剤師部会まで連絡下さい。

（連絡先）前濱 朋子　がねこ薬局　ＴＥＬ　０９８-９４２-２８８８　火・木・金のみ

薬事情報おきなわ No.219
2012年 11・12月号 ： Vol.27 No.6
薬事情報センター TEL：098-963-8931
FAX：098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品　平成24年11月22日付

区分	販売名 （　）内は識別コード	規格単位	薬価	会社名	成分名：適応症・効能効果
内用薬	ディアコミットドライシロップ分包250mg	250mg1包	507.10	Meiji Seika ファルマ	**スチリペントール：抗てんかん剤**《クロバザム及びバルプロ酸ナトリウムで十分な効果が認められないDravet症候群患者における間代発作又は強直間代発作に対するクロバザム及びバルプロ酸ナトリウムとの併用療法》（新有効成分）
	ディアコミットドライシロップ分包500mg	500mg1包	1015.10		
	ディアコミットカプセル250mg （識別コードなし）	250mg1カプセル	507.10		
	アイミクス配合錠LD （DS524／100/5）	1錠	150.40	大日本住友製薬	**イルベサルタン／アムロジピンベシル酸塩配合錠：長時間作用型ARB/持続性Ca拮抗薬配合剤**《高血圧症》（新医療用配合剤）
	アイミクス配合錠HD （DS525／100/10）	1錠	173.40		
	ロトリガ粒状カプセル2g （@2001）	2g1包	254.00	武田薬品工業	**オメガ-3脂肪酸エチル：EPA・DHA製剤**《高脂血症》（新有効成分）
	アミティーザカプセル24μg （SPI AA（PTPシートに表示））	24μg1カプセル	156.60	スキャンポファーマ	**ルビプロストン：下剤、浣腸剤／クロライドチャネルアクチベーター**《慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く）》（新有効成分）
	スイニー錠100mg （Sc312）	100mg1錠	83.00	三和化学研究所	**アナグリプチン：2型糖尿病用薬**《2型糖尿病ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る ①食事療法、運動療法のみ ②食事療法、運動療法に加えてα-グルコシダーゼ阻害剤を使用 ③食事療法、運動療法に加えてビグアナイド系薬剤を使用 ④食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用 ⑤食事療法、運動療法に加えてチアゾリジン系薬剤を使用》（新有効成分）
	ブフェニール錠　500mg （UCY500）	500mg1錠	449.40	オーファンパシフィック	**フェニル酪酸ナトリウム：尿素サイクル異常症用薬**《尿素サイクル異常症》（新有効成分）
	ブフェニール顆粒　94%	94%1g	831.70		
	ヴォトリエント錠200mg （GS JT）	200mg1錠	4027.20	グラクソ・スミスクライン	**パゾパニブ塩酸塩：抗悪性腫瘍剤／キナーゼ阻害剤**《悪性軟部腫瘍》（新有効成分）
	メサペイン錠5mg （M -5755）	5mg1錠	178.30	グラクソ・スミスクライン	**メサドン塩酸塩：癌疼痛治療剤**《他の強オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛中等度から高度の疼痛を伴う各種癌》（新有効成分）
	メサペイン錠10mg （M -5771）	10mg1錠	338.50		
注射薬	ジプレキサ筋注用10mg	10mg1瓶	2,067	日本イーライリリー	**オランザピン：抗精神病薬**《統合失調症における精神運動興奮》（新投与経路）
	アイリーア硝子体内注射液40mg/mL	2mg0.05mL1瓶	159,289	バイエル薬品	**アフリベルセプト（遺伝子組換え）：眼科用VEGF（血管内皮増殖因子）阻害剤**《中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性》（新有効成分）
	ソマチュリン皮下注60mg	60mg1筒	180,360	帝人ファーマ	**ランレオチド酢酸塩：骨粗鬆症治療剤**《下記疾患における成長ホルモン、IGF-I（ソマトメジン-C）分泌過剰状態及び諸症状の改善・先端巨大症・下垂体性巨人症（外科的処置で効果が不十分な場合又は施行が困難な場合）》（新有効成分）
	ソマチュリン皮下注90mg	90mg1筒	253,900		
	ソマチュリン皮下注120mg	120mg1筒	323,624		

＊識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。

●新医薬品　平成24年11月22日付

注射薬	タイガシル点滴静注用50mg	50mg1瓶	12,188	ファイザー	**チゲサイクリン：グリシルサイクリン系抗生物質製剤**《(適応菌種)本剤に感性の大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、アシネトバクター属.ただし、他の抗菌薬に耐性を示した菌株に限る (適応症)深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎》(新有効成分)
外用薬	シーブリ吸入用カプセル50 μg	50μg1カプセル	199.20	ノバルティスファーマ	**グリコピロニウム臭化物：長時間作用性吸入気管支拡張剤**《慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解》(新有効成分)
	ギリアデル脳内留置用剤7.7mg	7.7mg1枚	156442.60	ノーベルファーマ	**カルムスチン：抗悪性腫瘍剤**《悪性神経膠腫》(新有効成分)
	トービイ吸入液300mg	300mg5mL1管	8633.80	ノバルティスファーマ	**トブラマイシン：アミノグリコシド系抗生物質製剤**《嚢胞性線維症における緑膿菌による呼吸器感染に伴う症状の改善》(新投与経路)

●報告品目　平成24年11月30日付

区分	販売名 (　)内は識別コード	規格単位	薬価	会社名	成分名：適応症・効能効果
内用薬	アフィニトール錠2.5mg (NVR 5)	2.5mg1錠	6629.60	ノバルティスファーマ	**エベロリムス：抗悪性腫瘍剤**《1. 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌　2. 膵神経内分泌腫瘍　3. 結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫　4. 結節性硬化症に伴う上衣下巨細胞性星細胞腫》(規格追加)
注射薬	アロキシ点滴静注バック0.75mg	0.75mg50mL1袋	14632.00	大鵬薬品	**パロノセトロン塩酸塩：5-HT_3受容体拮抗型制吐剤。制吐剤**《抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(遅発期を含む)》(新キット)
	エルプラット 点滴静注液200mg	200mg40mL1瓶	110082.00	ヤクルト本社	**オキサリプラチン：抗悪性腫瘍剤**《治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌，結腸癌における術後補助化学療法》(規格追加)
	ゾメタ点滴静注4mg/5mL	4 mg5 mL1瓶	32,254	ノバルティスファーマ	**ゾレドロン酸水和物：骨吸収抑制剤**《1. 悪性腫瘍による高カルシウム血症　2. 多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変》(名称変更)
	ゾメタ点滴静注4mg/100mL	4m100mL1瓶	32,254		
	ゾレア皮下注用75mg	75mg1瓶	35,642	ノバルティスファーマ	**オマリズマブ(遺伝子組み換え)：気管支喘息治療剤(ヒト化抗ヒトIgEモノクローナル抗体製剤)**《気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る)》(規格追加)
	ネスプ注射液10μg プラシリンジ	10μg0.5mL1筒	2,765	協和発酵キリン	**ダルベポエチン　アルファ(遺伝子組換え)製剤：持続型赤血球造血刺激因子製剤**《腎性貧血》(容量を0.5mLに統一)
	ネスプ注射液15μg プラシリンジ	15μg0.5mL1筒	3,910		
	ネスプ注射液20μg プラシリンジ	20μg0.5mL1筒	4,993		
	ネスプ注射液30μg プラシリンジ	30μg0.5mL1筒	7,077		
	ネスプ注射液40μg プラシリンジ	40μg0.5mL1筒	8,922		
	ネスプ注射液60μg プラシリンジ	60μg0.5mL1筒	12,675		
	ネスプ注射液120μg プラシリンジ	120μg0.5mL1筒	22,503		
	ネスプ注射液180μg プラシリンジ	180μg0.5mL1筒	31,841.00		

＊今月、来月のひろいよみのコーナーは、平成24年度II期の薬学実習生(新田有香さん、諸見奈緒さん、籾慶輔さん、大兼久尚史さん、比嘉豊さん、座嘉比佐穂さん、伊波友理華さん、増永麻実さん、又吉真梨菜さん)が10月の薬事情報センターでの実習の際に作成しました。(＊一部担当者が校正してあります)

[病理診断報告書の確認忘れ]

事例1

患者は他疾患の経過観察のCT検査で子宮・卵巣病変を疑われ、産婦人科を受診した。産婦人科医師の診察では超音波検査で複数個の子宮筋腫を認めるものの明らかな悪性所見を認めず、子宮頸部細胞診を施行し、異常があれば連絡することになっていた。1年半後、PET-CTで骨盤内に集積を認め、再度産婦人科を受診し、膣内の細胞診を施行した。患者の診察終了後、医師は1年半前に施行した子宮頸部細胞診で異常(クラスV、扁平上皮がん)の病理診断報告書を確認していないことに気付いた。

事例2

通院中の患者が、胃検診で要精査の通知を持参した。医師は内視鏡検査を行い、病変部を生検し、次回の予約を入れた。その後、病理診断報告書が出ていたが、患者が来院しなかったため、カルテを一度も開くことがなく経過した。2年後、患者は胃検診の結果が再度要精査であったため、受診した。その際、医師は2年前の病理診断報告書で「悪性」の所見が出ていたことに気付いた。

事例が発生した医療機関の取り組み

・病理診断結果の内容の確認ができる仕組みと、患者への説明が確実になされる仕組みを構築する。

総合評価部会の意見

・重大な結果については、直接医師に連絡する仕組みを検討しましょう。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話:03-5217-0252(直通) FAX:03-5217-0253(直通)
http://www.jcqhc.or.jp/

[硬膜外腔に持続注入する薬剤の誤った接続]

事例

食道癌術後の疼痛コントロールのため、硬膜外カテーテルよりバルーンジェクター(加圧式医薬品注入器)を使用して、ドロレプタン、ポプスカイン、塩酸モルヒネを持続的に注入していた。術後3日目、保清時に硬膜外カテーテル刺入部の発赤、腫脹を認め、カテーテルを見たところ接続部がはずれていた。硬膜外カテーテルに接続されているはずのバルーンジェクターをたどってみると、中心静脈カテーテルに接続したシュアプラグ延長チューブに接続されていた。

事例が発生した医療機関の取り組み

・ルート類は、接続部位から挿入部位が分かる位置までたどって確認する。
・挿入位置がわかるところまで確認できない場合、ルートの接続部付近に「硬膜外腔用」や「静脈用」などの印をつけ、挿入部位が分かるよう工夫をする。
・硬膜外腔用と静脈用で違う加圧式医薬品注入器を使用し区別する。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
http://www.med-safe.jp/

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話:03-5217-0252(直通) FAX:03-5217-0253(直通)
http://www.jcqhc.or.jp/

Medical News

●業界初！ドーピングフリーの薬局製剤発売（薬事日報11月7日）

スポーツ選手のドーピング防止活動に取り組む『アトラク』は、世界アンチドーピング機構の基準（WADA基準）に対応した独自の薬局製剤の販売に乗り出した。販売を開始したのは感冒剤9号A、解熱鎮痛剤4号A、整腸剤1号の3品で、いずれも394品目が認められている薬局製造販売医薬品のうち、エフェドリンなどスポーツ界で禁止成分にあたるものをスポーツファーマシストの知識から慎重に回避した処方と製法を採用。『WADA基準禁止物質非含有』と明示し、選手が安心して服用できることをアピールしている。

●留年の要因、基礎学力不足-9学部にヒアリングを実施（薬事日報 11月12日）

文部科学省の「薬学系人材養成のあり方に関する検討会」のもとに設置された、「新制度の薬学部および大学院における研究・教育等の状況に関するフォローアップワーキンググループ（WG）」は、薬科大学・薬学部を対象に▽2008年度から11年度入学定員充足率の平均が60％以下▽08年度から11年度の入学者選抜の試験競争倍率が平均1・2倍以下――などの条件に当てはまる23学部について書面調査を実施。卒業率が60％を下回るなど、質の高い入学者の確保や優れた薬剤師を養成する為の教育に問題があると懸念される9学部をヒアリング調査した。多くの大学で入学者選抜のあり方や留年者や退学者、卒業延期者が多い事等に関する受験生や保護者への十分な説明などが改善すべき事項として上がった。報告書は、留年者の最大の要因が基礎学力不足であると指摘、面接試験のみで選抜するなど、多様な入試形態を採用している大学に対し改善を求めた。

●4割が薬局、病薬は3割に 6年制卒業者の就職動向調査（薬事日報11月14日）

薬学部6年制第1期生を輩出した67大学の卒業者のうち約40％が薬局、約30％が病院・診療所の薬剤部（科）、一般販売業へも従来より若干多い6％強が就職し、全体として4分の3が“現場薬剤師”への道を選んだ。薬学教育協議会がまとめた「2012年3月薬系大学卒業生・大学院修了者就職動向調査の集計報告」で明らかになった。

●抗がん剤副作用で死亡か 男性患者、徳島大病院（共同通信 11月22日）

徳島大病院は21日、抗がん剤治療を受けていた60代の男性患者が肝不全で死亡したのは、薬の副作用による可能性が高いと明らかにした。病院によると、男性は消化器系のがんを手術で切除し、退院後に在宅で抗がん剤を内服する治療を受けていた。その後の検査で肝臓や腎臓の機能に異常値が出ていたが、治療を継続。その後、自宅で意識障害になり、同病院で治療を受けたが劇症肝炎による肝不全で死亡した。調査の結果、男性の死因は薬の副作用による可能性が高いと判断。病院は「使用された薬の副作用は異例だが、継続投与した本院の責任は重大」としている。

●腋窩多汗、ボツリヌス保険適用（共同通信 11月26日）

日本美容皮膚科学会は、A型ボツリヌス毒素製剤の「重度の原発性腋窩多汗症」が保険適用となったことを受け、他のボツリヌス製剤との同時投与を避けるよう求めた厚生労働省の通知をホームページに掲載し、注意を促した。同時投与で、神経筋接合部の麻痺が増強し、呼吸困難や嚥下障害を引き起こす可能性がある。投与間隔を空けたり、他のボツリヌス毒素製剤の効果が消失していることを確かめたりしてから投与するよう求めている。

●薬局における一般名処方対応“肩すかし”（薬事日報 12月5日）

薬局での一般名処方への対応が今ひとつ盛り上がっていないことがジェネリック薬メーカーの感触として表れているようだ。先ごろ第2四半期決算を発表した沢井製薬、東和薬品ともに今期上期前半は大きく伸張したものの、4月を筆頭に勢いが鈍化、下期にかけても当初見込みよりも慎重な見通しにある。伸び悩む情勢について明確に「薬剤師による患者説明がなされていないと考えざるを得ない」との指摘もあり、今後のGE使用促進議論に影響を与えそうな雰囲気となっている。

●かかりつけ薬局、男性6割・女性4割が「不要」（薬事日報12月5日）

かかりつけ薬局を持ちたいと思わない生活者は増加傾向にある。調査会社インテージがアンケートを実施。特に男性においては約6割が「かかりつけ薬局は必要ない」と考えており、かかりつけ化へのハードルは高いと言えそうだ。また、セルフメディケーションという言葉の意味の浸透も遅々としていることも示唆された。調査は男女1500人から有効回答を得た。

●脱法ハーブ事故に実刑 危険運転を認定、初判決（共同通信 12月6日）

京都市で6月、脱法ハーブを吸って車を運転し、3人にけがを負わせる追突事故を起こしたとして、危険運転致傷罪に問われた被告（34）に、京都地裁は6日、懲役1年10月（求刑懲役2年6月）の判決を言い渡した。樋口裁判長は「脱法ハーブの影響下で運転すれば、正常な運転が困難となると認識していた。異常な運転で危険性の大きさは著しい。反省もなく刑事責任は重い」と述べた。脱法ハーブの影響による事故に、運転者が危険運転致傷罪を適用されたケースの初判決とみられる。

●地域レベルでも薬剤師の認知症医療への関わり活発に～文京区薬（薬局新聞 12月12日）

高齢社会の進展に伴って認知症患者が増加傾向にある。薬局においても、各地で認知症医療への関わりを模索する動きが出てきており、先ごろ東京の文京区薬剤師会では集合研修を実施。来局した認知症患者や介護関係者とのコミュニケーションを題材にしたグループディスカッションなどを繰り広げた。企画した同会副会長の新井氏は、国内のアルツハイマー型の認知症患者推定300万人のうち、100万人しか薬物療法を行っていないとの推計も踏まえ、患者の早期発見や適正な服薬サポートを行うなど、薬剤師の関与は今後さらに重要になるとして、さらに研修の実施などを通じて薬剤師の技能向上に努めていくとした。

薬事情報センターに寄せられた質問から

はい、薬事情報センターです

薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

Q：眼科より肝斑の方にトラネキサム酸、シナールが処方されている。保険上問題ないか。（病院）
A：医療用のトラネキサム酸、シナールについては、適応外使用となる。
＊一般用医薬品であるトランシーノについては、配合されているトラネキサム酸のメラノサイト活性化因子（プラスミン）の阻害作用、ビタミンCによるメラニン色素の形成抑制及び既成メラニン色素の還元促進作用により、しみ（肝斑）の効能効果を取得している。

Q：日本脳炎ワクチン接種後に亡くなられた小児が禁忌薬を併用していたというが、その併用薬は？（薬局）
A：小児が服用していたのは、ピモジド製剤（オーラップ®）、アリピラゾール（エビリファイ®）、塩酸セルトラリン（ジェイゾロフト®）。これらのうち、ピモジド製剤とSSRIの塩酸セルトラリンがQT延長を起こす恐れがあり併用禁忌とされている。
＊この事例については、１２月１４日に厚生労働省が日本脳炎ワクチンとの直接的な因果関係は認められないという見解をまとめ、今のワクチンを使った予防接種は継続されることとなった。

Q：バイアスピリンを服用中の患者に１日1回のアセトミノフェン５００mgが処方されている。併用は大丈夫か？（薬局）
A：NSAIDsの中でも、アセトアミノフェンはシクロオキシゲナーゼ阻害作用が少ないため影響は少ない。

Q：緑内障の患者に禁忌のアトロピン点眼が処方されている。どのような理由か。（薬局）
A：緑内障濾過手術や白内障手術の術後合併症として起こる悪性症候群の薬物治療として、散瞳薬（アトロピン点眼）や眼圧降下剤を使用する事がある。（悪性症候群：毛様突起と水晶体との癒着や毛様突起と硝子体の癒着によって、房水の流れが悪くなり，硝子体に貯留、隅角閉塞、眼圧が上昇する。薬物治療が無効な場合には手術を行う。）

Q：ワーファリンと一緒に使える抗生剤はないか。（薬局）
A：抗生剤との併用は特に問題はないが、投与した場合、ワーファリンの血中濃度を測定し用量調整をしていくことが必要。

Q：グルコサミンと医薬品との相互作用についてインスリン投与中、血圧の薬、バイアスピリン、痛み止めを服用している。問題ないか。（薬局）
A：グルコサミンの摂取は勧められない。糖尿病患者が塩酸グルコサミンまたは硫酸グルコサミンを使用したことによって血糖値およびHbA1c値が上昇したとの報告がある他、グルコサミン摂取による血圧、血中コレステロール値の上昇なども懸念されている。よって、糖尿病、高脂血症（脂質異常症）、高血圧のリスクのある人は注意して摂取する必要がある。

Q：アドエアディスカス、サルタノールインヘラーはドーピング禁止薬物か。（医師）
A：2012年WADA禁止薬物に指定されているが、製造販売会社によって推奨される治療法に従って吸入使用される場合は問題とならない。

Q：高山病に食べる酸素は効くのか。（薬局）
A：健康食品として販売されている「食べる酸素」という商品名によって、「酸素が多量に含まれている」と誤解させられるが、「食べる酸素」の原材料には、自然状態で含まれている以上の酸素は含まれておらず、商品説明書にも記載はない。実際には、濃縮した酸素を直接食べるのではなく、製品に含まれるバナジウムやゲルマニウムで酸素の運搬能力を高めるのだと説明されている。ただし、科学的、医学的なデータは今のところ見当たらない。

Q：ハルシオンとセロクエルを服用中の患者が、流涎がでるようになったという。副作用か。（薬局）
A：服用後に多量のよだれがでる症状は唾液分泌過多症とも言われ、錐体外路症状として抗うつ薬や抗精神病薬等で報告されている。セロクエルの副作用としても１～５％未満の頻度で報告されている。

Q：アリセプト３mgが継続して処方されている。レビー小体型認知症に使用するようだが、用量は？（薬局）
A：認知症の症状発症の比較的初期から認知症が前景に立つ場合をレビー小体型認知症と呼ぶ。特有な症状として、レム睡眠行動障害、薬剤への過敏性などがみられる。治療薬として、コリンエステラーゼ阻害剤が用いられる。アルツハイマー病治療薬のドネペジル、ガランタミン、リバスチグミンが使用されるが、これらはレビー小体型には適応外使用となる。３mg、５mgと使用されているが、副作用の出現により中止となった例もある。92歳の女性患者に1.5mgを投与し、興奮と幻視 幻聴が悪化、３日目で中止したという報告、3mgで開始、5mgへ増量したが8週間で効果なかったとする報告もある。

Q：リン酸コデインをがん疼痛治療目的では、どの位まで使用できるのか。（薬局）
A：ほぼ130mg/回が有効限界と考えられているので、２～３回の増量で痛みが緩和しないときには、モルヒネへの切り替えを考慮する。ちなみに、厚生労働省の医療用麻薬適正使用ガイダンスでは、コデインの開始量は１回20～30mgを４～６時間ごと。１回４０mg以上の投与が必要となる場合は、内服の負担を考慮しモルヒネ製剤やオキシコドン製剤への変更を検討するとしている。
参考：国立がん研究センターがん対策情報センターHP 、厚生労働省HP

沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口　Q&A

「おくすり相談室」の受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

【質問】コールタイジン点鼻液はつまった時だけ使ってという話だったが、量が判らないので使っていない。点鼻の方法も教えて。（男性）

【回答】コールタイジン点鼻液は、３～５時間ごとに１日２～３回鼻腔内に噴霧するか、２～４滴を鼻腔内に点鼻します。点鼻の方法は、頭を後ろに傾け、鼻の中に液を２～４滴たらします。その後、そのままの姿勢で数秒間鼻で静かに呼吸します。過度に使用すると、かえって鼻づまりを起こすことがありますので用法・用量を守り使用してください。

【質問】10才で31Kgの子にセフジトレンピボキシル（先発：メイアクトMS）錠が1回100mg１日３回処方されている。体重53Kgの私（母親）にも同じ量が出た事がある。子供には多くないのか。（女性）

【回答】セフジトレンピボキシルは、通常小児へは1回3～６mg／Kgを１日３回投与します。ただし、成人量の上限を超えない事（１日600mg）とされています。31Kgのお子様の場合、一日量を計算すると279～558mとなり、処方された１日300mgは問題ないといえます。一般的に小児は体内の水分量が多く、また代謝も速いため、薬によっては大人と比べて約２倍に相当する量が必要であるといわれています。そのため、今回のように大人量とさほど変わらない量が処方されることもあります。

●安全性情報●

【質問】クラリチン、ゼスラン、ポララミン、アレジオン、アゼプチン等のアレルギー治療薬を眠気の少ない順に教えてください。（男性）

【回答】副作用の眠気の頻度については、アレジオンが２%、クラリチン、ポララミン、アゼプチンは殆ど変わらず６%台、ゼスランは１４%と報告されています。

【質問】ランドセンを足のむずむずに、ベンザリンを睡眠薬としてもらった。両方ともてんかんに使う薬のようだが、一緒に飲んでも大丈夫か。（男性）

【回答】一緒に服用してはいけないという訳ではありません。一緒に服用すると双方の眠気等の副作用が強く出る事があります。日中までふらふらする様であれば、医師に相談して用量を調整するか他の薬剤に変更してもらうと良いでしょう。

●ドーピング●

【質問】スパークユンケルの使用は大丈夫か。（10代陸上選手）

【回答】特定競技の競技会においては、アルコールを含有しているため禁止薬物となりますが、陸上競技においては問題ないとされています。用法用量を守って摂取してください。（＊アルコールが禁止薬物とされる特定競技：航空スポーツ、アーチェリー、自動車、空手、モーターサイクル、パワーボード等）

【質問】コカコーラは大丈夫か。

【回答】ジュース類なので問題ないと思われがちですが、コーラ自体医薬品ではなく食品に分類されるため、成分表示が正しいとの保証がなく判断が困難です。また、医療上必須のものではないので、使用はあくまで選手の自己責任となります。

●その他の問い合わせ●

○エンシュアリキッドを１日１缶摂るようにと一週間分もらった。ご飯は食べなくて良いか。

○鼻水・鼻づまりに効くOTC薬でドーピングにかからない薬剤を教えて。

○ノボリンR３０の調剤に対し薬局で１０００円払った。３割負担なのに高くないか。

○薬局によって薬の値段は違うのか。

○歯科の診療明細がもらえない。

○薬局で買った処方せん薬は飲まないで翌日返品、返金可能か。

●薬局に対する意見・苦情●

○医師に相談して、抗不安薬（後にアモバンと判明）を多めにもらった。薬局に行ったら、かってに薬の数が調整され少なくなっていた。FAXしている間に患者を抜きに医師と相談するなんて、おかしい。医師と患者との間をつなぐ役割をしている薬剤師が、権限を振りかざしている。

○薬剤師が高圧的で謝りもしない。個人情報の保護を申し出た所、薬剤師に怪訝な顔をされた。

○いつも態度が悪い。薬剤師なのに教養が低い。人格がない。高飛車でひどい。服薬指導も警察の昔の取り調べ調。尋問されているようだった。私は高齢で、この先短いだろうし、病気で来ているのだから、病院や薬局では優しくしてほしい。

○いつも調剤が遅いし、鑑査も遅い。なのに、服薬指導が短く１分もない。別の薬局では、おくすり手帳のシールが他人のものだった。鑑査もいい加減な気がする。こんな事なら、おくすり手帳なんて何の意味もない。

○筋痛症でリリカをもらった。薬局でふらふらする副作用があるらしいと聞き、また「結構副作用多いですよ」と言われたので、飲みたくない。

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

消毒薬の選び方と使い方

MRSA、多剤耐性緑膿菌

月刊薬事　10月号

院内感染の原因菌であるMRSAは患者からの分離頻度が高く、その生存期間は１ヶ月間などの長期にわたる。ドアノブ等の手指頻回接触箇所は、少なくとも１日1回のアルコール消毒が適している。なぜなら、ウイルスによる汚染の可能性もあるからである。一方、病室内のベッド柵等の消毒には、通常0.2%塩化ベンザルコニウムや0.2%両性界面活性剤などの低水準消毒薬を選択しても差し支えない。

多剤耐性緑膿菌には原則的に全ての消毒薬が有効であるが、塩化ベンザルコニウム含浸綿球が無効な事もある為、次亜塩素酸ナトリウムや消毒用エタノール等の中水準消毒薬を選択する方が望ましい。MRSAや緑膿菌の手指消毒には、速乾性手指消毒薬が有効。緑膿菌は湿潤状態の用具のみならず、トマト等の野菜からも検出される為、造血幹細胞移植などの易感染患者へ生野菜を出してはならない。

山口大学医学部付属病院薬剤部
尾家　重治

母乳栄養と母親の薬剤使用

おっぱいやめますか？くすりやめますか？

臨床薬理　3号

薬剤の児への影響を懸念するあまり、授乳婦が服薬を控えて疾患を悪化させたり、母乳哺育を中断･中止するなど、過剰とも思える対応がしばしば生じているようである。おっぱいは赤ちゃんにとって栄養面のみならず、発育･発達に関わるさまざまな面で人工ミルクでは決して代替できない作用と役割がある。

判断のよりどころとすべき情報源にアクセスすると、この領域のデータは思いの他乏しい。それればかりか危険だから投与を控えるべきとされている薬剤、逆に安全とされている薬剤でも、必ずしも十分なデータに基づいているわけではない。分泌量の多少よりも、分泌された薬剤が授乳した児において問題となるレベルかどうかを相対的乳児投与量などを参考にして評価して行く事がポイントとなる。この点を掘り下げる事なく、服薬に際しての授乳を無条件に断念させるようなことがあってはならない。

JA静岡厚生連静岡厚生病院小児科
田中　敏博

「ステロイド」とドーピング

調剤と情報　Vol.18 No.11

「ステロイドの皮膚外用薬は使用可能か？」と尋ねられた場合、医療関係者は「糖質コルチコイド」と考え、「糖質コルチコイドの皮膚外用薬は局所投与のため禁止されない」と回答しがちだ。しかし、スポーツ関係者はステロイドを男性ホルモンと想定し、テストステロンやメチルテストステロンを含有する性機能障害などに用いられる製品（トノスやオットピン）や、体毛用に使われている皮膚外用薬（ミクロゲンパスタなど）が許可されるかを尋ねていたとすると、これらの皮膚外用薬はドーピング禁止物質のため使用不可になる。違反例も持病や腎疾患、アレルギー性鼻炎・花粉症の治療薬を、ＴＵＥ（治療目的使用に係る除外措置）申請することなく服用してしまった「うっかりドーピング」が多くなっている。スポーツに関わる薬剤師は、選手と同じ立場に立ち、時には翻訳者として、選手の役に立つ情報提供を行って欲しい。

静岡県薬剤師会　医薬品情報管理センター
大石　順子

拒食･断食で急性肝機能障害が起きる理由

日本医事新報　4614月号

肝臓は栄養代謝の中心臓器であり、神経食思（神経性食欲）不振症患者の約60%に肝障害が認められる。多くは軽微で栄養状態の改善と共に回復するが、肝不全に至る場合もある。拒食状態が肝障害を誘発する原因として、低栄養性脂肪肝、低環流・低酸素状態、肝内鉄沈着の３つが考えられている。

近年、オートファジー（自己貪食）も重要な原因として注目される。オートファジーが作動すると、細胞は栄養素を得る為に主に細胞内のハウスキーピング蛋白を分解しアミノ酸を生成、その際細胞膜の透過性も亢進、血清ALT値も上昇する。

低栄養状態にある患者に通常の栄養量を補給すると、急激なインスリン分泌に伴う電解質、糖質の細胞内流入により、低血糖や電解質異常を来す事がある（リフィーディング症候群）。肝臓がインスリンの主な標的臓器であることから、重篤な肝障害を発症しうることに留意する必要がある。

久留米大学医学部内科学講座
川口　巧

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

＊薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

○医薬ジャーナル　48巻10号

特集：レギュラトリーサイエンスの現状と進歩への課題

・院内製剤（５９）：口腔粘膜炎に対するインドメタシンスプレーの有用性（p.135）

・連載：副作用・薬物相互作用トレンドチェック
注目論文を読み解く（7）（p.146）

1．モキシフロキサシンによる血清ナトリウム値の低下

2.フルオロキノロンによる自殺企図

3.クロペラスチンシロップによる急性ジストニア

4．イトラコナゾール併用によるレナリドミド血漿中濃度の上昇

5．グレープフルーツジュースがトルバプタンの薬物動態に及ぼす影響

6．アムロジピン併用によるタクロリムス血液中濃度の上昇

○医薬ジャーナル　48巻11号

特集：腎疾患診療の最前線

小特集：新規持続型赤血球造血刺激因子製剤
～エポエチンベータペゴル

・連載：副作用・薬物相互作用トレンドチェック
注目論文を読み解く（8）（p.198）

1.ラモトリギンによる無菌性髄膜炎

2．アプレピタント併用でクエチアピンの血漿中濃度が上昇し傾眠が発現

3.ランソプラゾールとジソピラミドの併用でQT延長が悪化

4.ロスバスタチン併用でINRが上昇

5．フルボキサミンまたはパロキセチンの併用でフェキソフェナジンの血漿中濃度が上昇

6.ロラゼパムによる眼調節障害

○エキスパートナース 28巻 13号

特集：見抜きたい！心電図～迷う心電図の［見分け方］と［対処］

○エキスパートナース 28巻 14号（臨増）

まるごと知りたい～手術と術後ケア

○エキスパートナース 28巻 15号

特集：褥瘡ケア～2 時間ごとの体位変換、本当に必要？

○きょうの健康　11月号

特集：糖尿病～進歩する治療法

○きょうの健康　12月号

特集：不整脈～徹底研究

○月刊薬事　54巻 10号（臨増）

認知症の治療・ケアガイド

○月刊薬事　54巻 11号

特集：経管栄養管理に強くなる

・適応外使用の処方せんの読み方（２９）乳がん予防（p.107）

・臨床の“困った”に応える病院薬局製剤（10）
腫瘍の除去・止血・悪臭軽減のための低濃度モーズ軟膏（p.130）

・シチュエーションに応じた消毒薬の選び方と使い方（9）細菌の消毒（1）MRSA 多剤耐性緑膿菌（p.140）

○月刊薬事　54巻 12号

特集：話題のガイドラインUpdate

・適応外使用の処方せんの読み方（３０）にきび（尋常性ざ瘡（p.152）

・臨床の“困った”に応える病院薬局製剤（11）
疼痛緩和に用いるモルヒネゲル（p.137）

・シチュエーションに応じた消毒薬の選び方と使い方（10）細菌の消毒（2）腸管出血性大腸菌、多剤耐性アシネトバクター（p.141）

○新薬と臨牀　61巻 10号

・適応外使用を巡る裁判例（p.29）

・いわゆるしみに対するトラネキサム酸カプセル250mg「トーワ」の安全性と有用性（p.195）

○調剤と情報　18巻 10号（臨増）

在宅医療における薬剤師業務の実践

○調剤と情報　18巻 11号

特集：「不眠」にどう対処する？

・新薬くろーずあっぷ：イグザレルト錠10mg，15mg（p.121）

・薬を極めて服薬指導（１９）トラマドール塩酸塩（p.129）

・セルフメディケーションQ&A
小児に関する医薬品の適正使用（p.147）

○調剤と情報　18巻 9号

特集：ケーススタディ～糖尿病の薬学的管理

・新薬くろーずあっぷ：アイファガン点眼液0.1%（p.99）

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

・薬を極めて服薬指導（２０）デュタステリド（p.115）
・セルフメディケーションQ&A（8）
かぜ薬の適正使用（p.135）

○治療　94巻 10号
特集：てんかんの診断と連携

○治療　94巻 11号
特集：アレルギー疾患の新常識

○治療　94巻 12号
特集：プライマリ・ケアとしての骨粗鬆症診療

○日経ﾄﾞﾗｯｸﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ　180号
特集：癌の処方箋を受けたら～薬局でできる服薬支援
・ＤＩクイズ：急性鼻副鼻腔炎のステロイド点鼻薬の可否（PE001）
・ＤＩクイズ：抜歯前のビスホスホネート製剤の休薬基準（PE003）

○日経ﾄﾞﾗｯｸﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ　181号
特集：調剤過誤を起こしたとき
・ＤＩクイズ：メタボ患者にリピディルが追加された理由（PE001）
・ＤＩクイズ：パーキンソン病治療薬の変更に戸惑う患者（PE003）

○日経ﾄﾞﾗｯｸﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ　182号
特集：塗り薬の基本のキ
・ＤＩクイズ：ランマークの投与を開始する骨転移患者（PE001）
・ＤＩクイズ：リリカが増量された線維筋痛症の患者（PE003）

○日経メディカル　540号
特集：外来で治す創傷・熱傷
・医薬情報室：不活化ポリオワクチン導入時の注意点　（P.93）

○日本医事新報　4615号
・質疑応答Q＆A～精神神経科：睡眠薬のコンプライアンスと継続・中止の方法（P.60）

○日本医事新報　4616号
・質疑応答Q&A～小児科：小児の片頭痛（P.54）
・質疑応答Q＆A～医事法制：アナフィラキシー・ショックに対するエピネフリン投与が論点となった訴訟例（P.62）

○日本医事新報　4618号
・質疑応答Q＆A～小児科：小児へのアスピリン投与と留意点（P.55）

○日本医事新報　4619号
・ドライアイの点眼治療アップデート（P.80）

○日本医事新報　4620号
・質疑応答Q＆A～医事法制：薬剤師の疑義照会の不作為（P.62）

○日本医事新報　4621号
・質疑応答Q＆A～歯科口腔外科：齲蝕の原因食品・牛乳の過飲用との関係（P.60）

○薬局　63巻 11号
特集：有効性・安全性・経済性を考慮した「漢方薬」提案のヒント
・漢方薬の薬理作用に関するエビデンス
－漢方薬の医薬品情報－（p.49）

○薬局　63巻 12号
特集：薬の効果を考える多角的視点
・ジェネリック医薬品への変更に伴う薬効変化と有害事象（p.97）

○JIM　22巻10号
特集：「・・・血が出たんです」
～肛門・会陰部出血へのアプローチ

○JIM　22巻 11号
特集：実践！家族アプローチ

○JIM　22巻 12号
特集：高齢者診療アップグレード
～コツとピットフォール

○正しい治療と薬の情報　27巻 8-9号
・タミフルは中枢抑制剤：NMDA,GABA作動剤の可能性も（p.117）

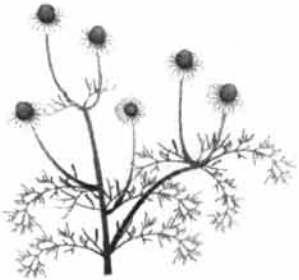
○正しい治療と薬の情報　27巻 10号
・低コレステロールと病気：脂質ラフト、HCVとLDL受容体、スタチンの害（p.137）

○The Medical Letter（日本語版）28巻15号
・メトホルミンの継ぎに使用する２型糖尿病治療薬は？（p.57）

○The Medical Letter（日本語版）28巻16号
・アタマジラミに対するイベルメクチン局所用ローション剤（p.61）
・錠剤の分割（p.63）

話題のビタミン・サプリメント(38)

カミツレ(カモミール)



Key Word:ハーブ、精油、リラックス、鎮静、不眠

冬・・・沖縄も寒くなってきました。暖かい飲み物が欲しくなります。心も身体もポカポカ♪忙しい年の瀬も元気に乗り切りたい！
今回は、ハーブティーでよく知られるカモミールを取り上げてみました！！

カミツレはカモミールとしてハーブティーなどでよく知られる代表的なハーブの一つです。ヨーロッパ原産のキク科植物で、温和なところに自生し庭草としては一般的な植物です。語源はギリシャ語で「地上のリンゴ」。カモミールはフランス語の読みで、オランダ語の読みからカミツレとも呼ばれます。一般に「カモミール」というと、ティーとしてよく利用されている【ジャーマンカモミール】があげられますが、【ローマンカモミール】もほぼ同じような用途で使用されています。

ジャーマンカモミールはヨーロッパで最も歴史のある民間薬とされています。日本には、江戸時代にポルトガルやオランダから持ち込まれ、日本薬局方に第7改正(1962年)まで『カミツレ花』として収載されていました。

精油成分のカマアズレンや、ビサボロール、ルチン、クエルシメリトリン等が含まれ、伝承的な効用は消化管の健康を維持する効果や抗炎症作用、鎮静作用、抗菌作用などが有名です。経口摂取、外用、入浴剤をはじめ、シャンプーやローションに配合されることもあります。コミッションEモノグラフで、ジャーマンカモミールは治療目的での使用を承認されているのに対し、ローマンカモミールは未承認ハーブとして記載され、薬用としての効果は劣り、アレルギー様の副作用のリスクがあることが報告されています。

カモミールは、体を温め発汗させる作用があるので、ヨーロッパでは、風邪の初期症状を緩和する薬茶として利用されています。また体が温まり血行がよくなることで月経痛を癒す効果も期待できるといわれています。

・・・ー・参考文献・ー・・・
1. 国立健康・栄養研究所「健康食品」の安全性・有効性情報
2. サプリメント事典，日経ヘルス
3. 機能性食品素材便覧，薬事日報社

【安全性】

適切に経口摂取すればおそらく安全と思われる。しかしカモミール茶など、高濃度摂取すると、嘔吐を起こすので危険性が示唆されている。

ローマンカモミールは子宮を刺激する作用があるので、妊娠中は使用してはならない。また授乳中の安全性については充分なデータがないので使用を避ける。

ローマンカモミールは外用で、接触性皮膚炎を起こすことがある。ヨモギやブタクサのアレルギーがある人は使用しない。

【相互作用】

ジャーマンカモミールは鎮静効果のあるハーブや中枢抑制薬、ベンゾジアゼピン系薬物との併用で、その作用及び副作用を増強させる可能性がある。

クマリンが含まれているため、出血のリスクが高まる可能性があり、出血性疾患のある人や、出血のリスクが高まる薬を飲んでいる人は注意して使用する必要がある。

カモミールティー

寝る前に飲むと、気持ちが落ち着いてぐっすり眠ることが出来るといわれています。味はあまりクセがなく、ミルクティーにしたり、砂糖や蜂蜜を加えると、小さな子どもでも飲みやすくなります。

無料アプリ pickup！

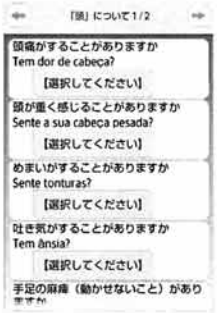
No.01

病気の症状、スマホが翻訳　22 言語対応の無料アプリ

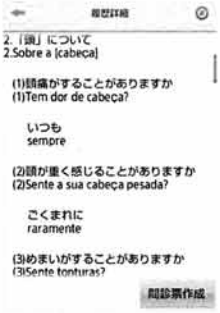
『ヘルスライフパスポート』

病気の症状を入力すると、内科を中心とした英語や中国語など 10 言語の外国語へ翻訳してくれるアプリ。タブレットなどを利用すれば、外国人旅行者へのインフォームドコンセントにも利用できます。また、一般の皆様も海外の医療機関で受診する際に提示することで、受診がスムーズに。

頭・胸・腹など問診項目の一覧が表示。



症状を入力する項目には選択された言語の「医療用語」で翻訳されて表示。

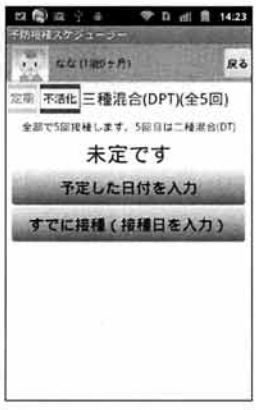


履歴詳細を保存しておくことで、問診の PDF 作成や印刷も可能。

子供の予防接種スケジュール管理ができる

『予防接種スケジューラー』

NPO 法人「VPD を知って、子どもを守ろうの会」とドコモが共同開発した子供の予防接種を管理/サポートするアプリ。全ワクチンリストは、定期と任意の予防接種一覧。接種の有無の記録が一目で分かるようになっています。これから受けるワクチンの予定の管理（日付）も可能。詳細ではワクチンの解説、時期、回数、おすすめの受け方が細かく閲覧できます。



主な機能

- ■ワクチン接種の予定日の記録、前日のお知らせ
- ■予防できる病気と各ワクチンの解説
- ■接種したワクチン、接種予定のワクチン一覧表示
- ■接種間隔をチェックし、エラーメッセージを表示

・・・etc

使ってみました！

『子供が３人いるので、複数のアカウントが利用でき、写真も入れられてとても便利です。また、定期接種だけでなく、任意接種のワクチンも管理でき、すごく助かっています。早い段階で接種の予定が立てやすく、携帯で管理できると、接種漏れも減ると思います！』

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1)医薬品情報の提供　(2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行　(3)医薬品に関するお問い合わせ　(4)県薬ホームページの制作・管理　(5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」　(6)医薬品 PL センター窓口業務　(7)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

（会員対象）　平日　午前：8 時 30 分～12 時　午後：1 時～5 時 30 分　（土・日・祝日休業）
（一般対象）　「おくすり相談室」平日（月～金）午前：9 時～12 時　午後：1 時～5 時

※おくすり相談室の電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL：098-963-8931　　FAX：098-963-8937
（社）沖縄県薬剤師会　薬事情報センター

＊　＊　海外文献から　＊　＊

●妊娠中の抗うつ剤（選択的セロトニン再取り込阻害剤，特にパロキセチン）使用と妊娠高血圧症候群のリスク増加：ネステッドケースコントロール研究　(Br. J. Clin. Pharmacol. 74(2)362–（2012.8))

Quebec Pregnancy Registry を使用し、子癇前症の有無にかかわらず、妊娠前の高血圧既往症歴がない妊娠高血圧症候群患者 1216 例を対象にネステッドケースコントロール研究を実施した。各症例につき対照 10 例をマッチングさせた。妊娠期間中に抗うつ剤を使用したのは症例群 45 例（3.7%）であったのに対し、対照群では 300 例（2.5%）であった。潜在的交絡因子を調整後、妊娠中の抗うつ剤使用により妊娠高血圧症候群の発症リスクは有意に増加。層別解析の結果、選択的セロトニン再取り込み阻害剤、特にパロキセチン単独使用により発症リスクが有意に増加した。

●アミノグリコシド添加骨セメントを用いた膝および股関節形成術後のアミノグリコシド全身暴露:患者 17 例における検討　(Ann. Pharmacother. 46(7,8)929–（2012.7)）

非経口投与のアミノグリコシドが腎毒性を有することは知られており，アミノグリコシド添加骨セメント(ALBC)インプラント使用患者における急性腎不全が報告されている。2010 年 1 月-4 月に ALBC インプラントを使用し,膝または股関節の再置換あるいは切除を行った患者 17 例(男 4 例,女 13 例,50-84 歳)を対象に、術後早期にアミノグリコシド濃度および血清クレアチニン濃度を測定した。その結果、8 例が検出可能な血清アミノグリコシド濃度(平均 0.42 μg/mL;0.3-2.0)を有し,1 例では術後 38 日目に 0.9 μg/mL であった。患者 6 例においてベースライン値から 0.3mg/dL を超える血清クレアチニンの上昇がみられた。高用量 ALBC インプラントの安全性が懸念される。

●スウェーデンにおいて報告された回避可能な薬物有害反応のプロスペクティブ分析（ Eur. J. Clin. Pharmacol. 68(8)1183– (2012.8))

スウェーデンのファーマコビジランスセンターに 2008 年-2009 年に報告された,ワクチンを除く全ての薬物有害反応（以下 ADRs）報告を分析。ADRs と医薬品の因果関係は WHO の基準を使用して評価し,回避可能性については Hallas 基準を使用した。その結果、1290 件の ADRs が報告され,1255 件が少なくとも医薬品と因果関係があると分類された。このうち 172 件(14%)が回避可能であるとされた。全ての回避可能な AERs で最も多くみられた医薬品は、ワルファリン(胃腸出血,鼻出血),オキシコドン(嘔吐,悪心),イオベルオール(じんま疹,発疹)であった。ADRs 報告システムは医薬品の危険な使用を減少させる目的において,有益である可能性がある。

●小児期の吸入グルココルチコイドが成人身長に及ぼす影響: 小児喘息管理プログラム（CAMP）試験に参加した小児における検討　(Engl. J. Med. 367(10)904– (2012.9.6))

CAMP の被験者 1041 例中 943 例(90.6%)の成人身長を測定した。被験者を 5-13 歳の時点でブデソニド吸入剤(パルミコートタービュヘイラー)400 μg/日群(311 例),nedocromil 吸入剤(Tilade)16mg/日群(312 例),プラセボ群(418 例)に無作為に割り付け,4-6 年間投与した。人口統計学的特性,喘息の特性,試験登録時の身長で補正する多重線形回帰を用いて,各実薬投与群とプラセボ群とで成人身長の差を算出した。測定時の平均年齢(±SD)は 24.9±2.7 歳。平均成人身長は，ブデソニド群ではプラセボ群よりも 1.2cm 低かった。最初の 2 年間の吸入グルココルチコイドの 1 日量が大きいほど,成人身長が低いことと関連していた。プラセボ群との比較でのブデソニド群の成人身長の低下は,投与開始から 2 年後に観察された低下と同程度であった。最初の 2 年間では，ブデソニド群における成長速度の低下が,主に思春期前の被験者に認められた。

県民の皆様へ　薬達ちゃーより

薬剤師会をご利用ください！

あまくま薬立つ情報

健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電　話　０９８－９６３－８９３０

おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電　話　０９８－９６３－８９３５

試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第１２条第１項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電　話　０９８－９６３－８９３４
e-mail　siken@okiyaku.or.jp

薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（沖縄県薬剤師会ホームページからも閲覧できます。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
＜ホームページアドレス　http://www.okiyaku.or.jp＞

GREAT MOMENTS IN PHARMACY

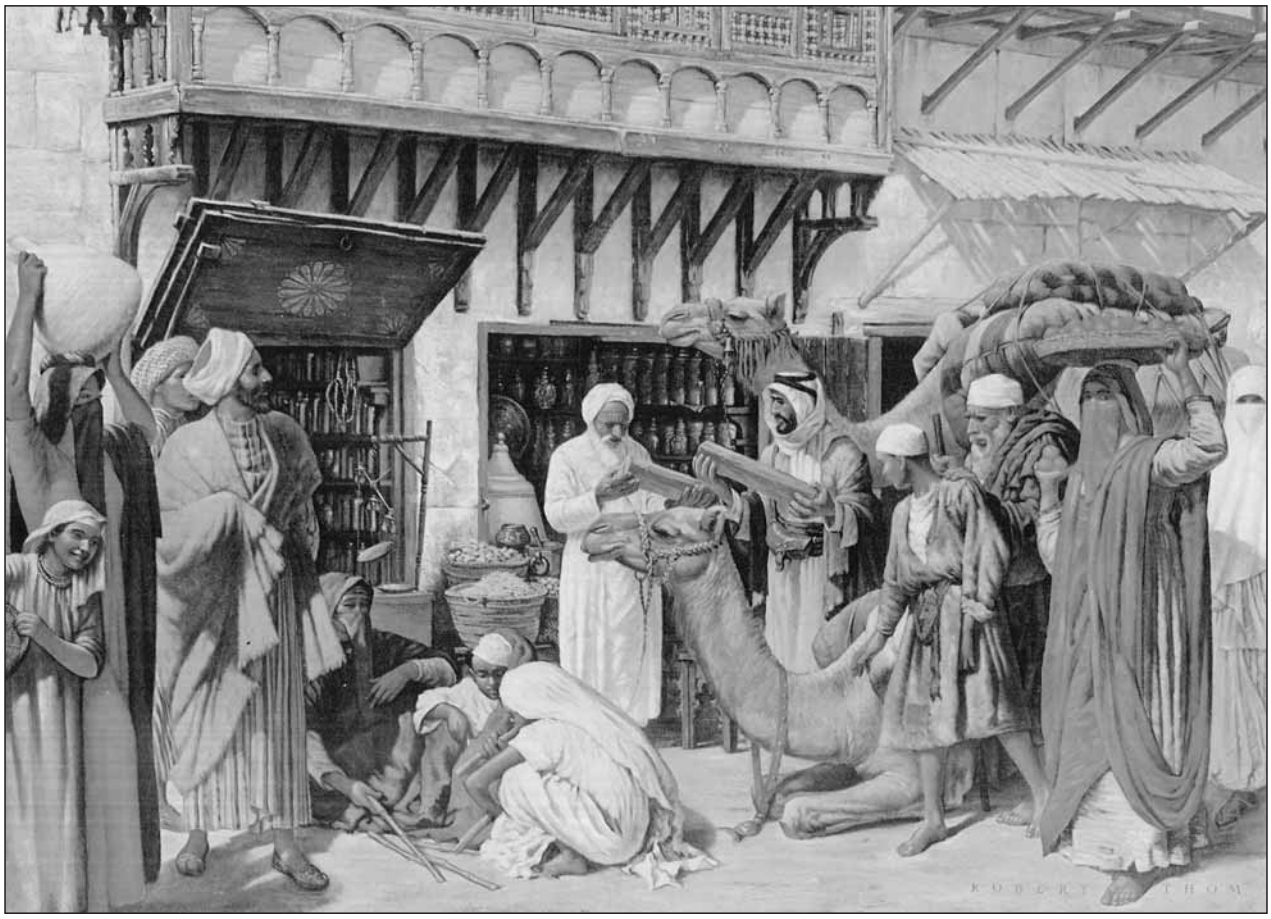
薬学の歴史

11. 修道院の薬学

5 世紀から12世紀にかけて、薬学と医学の西洋知識は修道院に保存されていました。当時の科学者たちは、7 世紀頃には既に修道院の回廊中庭で教えを受けていたことが知られています。多くの島々からもたらされた書物が翻訳あるいは複写され、修道院の図書室に収められました。修道士は野原で薬草を集め、また、自分たちの薬草園でも栽培をしていました。そして、薬剤師の知識をもとに、病気の人々や怪我を負った人々にそれらの薬草を使用しました。このような薬草園は、現代においても多くの国々の修道院で見られるかもしれません。

11. MONASTIC PHARMACY

During the Middle Ages remnants of the Western knowledge of Pharmacy and Medicine were preserved in the monasteries (fifth to twelfth centuries). These scientists are known to have been taught in the cloisters as early as the seventh century. Manuscripts from many islands were translated or copied for monastery libraries. The monks gathered herbs and simples in the field, or raised them in their own herb gardens. These they prepared according to the art of the apothecary for the benefit of the sick and injured. Gardens such as these still may be found in monasteries in many countries.



GREAT MOMENTS IN PHARMACY

薬学の歴史

12. 最初の薬局

古代アラビアでは、薬剤師と医師の職業は分業であり、最初の個人薬局は８世紀後半にバグダットで創業されました。薬局にはギリシャ・ローマの知恵が蓄えられており、それらを活用し天然素材を用いて作ったシロップ、糖剤、果物の砂糖煮、蒸留水やアルコール液により薬局が発展していきました。この絵には、薬剤師が旅の商人から差し出された白檀の幹を調べ、子供たちはサトウキビの甘い茎に夢中になっている様子が描かれています。イスラム諸国の人々がアフリカ、スペイン、南フランスに押し寄せてきた際には新しい薬学がもたらされ、西ヨーロッパでも早急に取り入れられていきました。

12. THE　RRST　APOTHECARY　SHOPS

The Arabs separated the arts of apothecary and physician, establishing in Bagdad late in the eighth century the first privately owned drug stores. They preserved much of the Greco-Roman wisdom, added to it, developing with the aid of their natural resources syrups, confections, conserves, distilled waters and alcoholic liquids. The apothecary is examining logs of sandalwood offered by a traveling merchant, while children indulge their taste for sweets with stalks of sugar cane. When the Moslems swept across Africa, Spain and southern France, they carried with them a new pattern of Pharmacy which western Europe soon assimilated.

第５回　暮らしの中の薬草学
身近な薬草を知ろう

女性薬剤師部会　狩俣 イソ

クワンソウ（アキノワスレグサ）

学　　名　*Hemerocallis fulva var.sempervirens*
科　　名　ユリ科
属　　名　ワスレグサ属
使用部位　根、茎、葉
有効成分　オキシピナタニン
　　アスパラギン酸・リジン
　　アルギニン

クワンソウの花

クワンソウの特徴

沖縄本島と離島を含む海洋性亜熱帯気候に広く自生する多年生単子葉植物で、古くから薬用・食用として栽培されてきた。ときに逸出して野生状をなすことがある。地下部が分けつして群生する性質があり、根は太く黄色で、時にかたまりの珠をつけることがある。地下茎は黄色、横に這いその先に新しい株をつくる。葉は２列生で下部は袴状に抱き合い、斜にのび、上部は反曲して、広線形でしだいに長鋭頭、長さ３０～７０㎝、幅０.８～１.５㎝。花茎は高さ３０～６０㎝、円柱形で先端は２～３分枝して３～５花を総状につける。花は橙黄色で漏斗状短梗があって、長さ８～９㎝、径８～１１㎝、花下に鋭尖頭卵状三角形の長さ３～８㎝内外の緑色の苞をそなえている。花被片はやや同大で先端は外曲し、倒披針形で鋭頭、長さ１０～１３㎝、幅１.５～２㎝。根にはアミノ酸、アスパラギン酸、リジン、アルギニンなどが含まれ利尿作用があるといわれる。花にはヒドロキシグルタミン酸、ベータシトステロールが含まれる。

「沖縄の薬草」多和田真淳

クワンソウの歴史

沖縄県が指定した沖縄伝統島野菜２８品目のひとつ。お茶として煮出したり、和え物や酢の物、煮物に加えたりする。花びらをてんぷらにしたものはその見た目の鮮やかさからかつて王室料理としても提供されていたという。食材の記録としては１８０８年には冊封使歓待（御冠船料理）の献立に登場している。１８３２年琉球国宮廷料理を記した琉国食療書『御膳本草』にも記されている。

クワンソウ大辞典

栄養成分（可食部100ｇ当たり）　2005年（財）日本食品分析センター

エネルギー	蛋白質	炭水化物	脂　質	植物繊維	マグネシウム	リ　ン	カロテン
41.0 kcal	0.9 g	9.0 g	0.2 g	3.5 g	7.9 mg	31.9 mg	282 μg
鉄	カリウム	カルシウム	ビタミンB_1	ビタミンB_2	葉　酸	ビタミンC	ビタミンK
1.05 mg	274 mg	29.5 mg	0.05 mg	0.03 mg	53 μg	13.0 mg	29.0 μg

地域イノベーション創出研究開発事業

同志社女子大学、琉球大学、クレイ沖縄、大阪バイオサイエンス研究所による共同研究の結果、世界で始めて沖縄野菜クワンソウから、高い睡眠誘発効果が認められるオキシピナタニンの安定的大量抽出に成功した。この産学連携研究が経済産業省の平成２１、２２年度「地域イノベーション創出開発事業」に選ばれ、また平成２３年度「地域ネットワークを活用した健康バイオ新商品開発推進事業」の支援を受けた。　琉球新報・ソノムクエスト

オキシピナタニンの作用メカニズムの解明

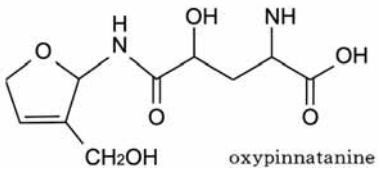
同志社女子大学・薬学部教授　小西天二グループ

１．アキノワスレグサからオキシピナタニンを効率よく分離する方法を検討：アキノワスレグサのメタノールエキスをダイアイオンＨＰ＝２０カラム担体を用い分離することにより、挟雑する化合物を効率よく除去できた。得られたオキシピナタニン含有粗分画は分取リサイクル高速液体クロマトグラフ装置により短時間で純粋なオキシピナタニンを分離することが出来た。また微量ではあるが、オキシピナタニン類縁物質の単離にも成功したことで、非常に良い分離方法の確立が成立したと思われる。しかし、目的物を高収量単離する方法は、未検討である。

２．オキシピナタニンの睡眠作用の検討：連携研究者の所属する期間において睡眠バイオアッセイ装置を用い、睡眠作用を検討した。マウスにオキシピナタニンを１０mg/kgの濃度で腹腔内投与及び経口投与したのち、自動睡眠解析ソフトにより脳波を測定した。腹腔内投与では睡眠作用は観測されなかったが、経口投与では蓄積睡眠量の優位な増加が認められた。この結果から、オキシピナタニンが直接睡眠作用を示すのではなく、体内の臓器で代謝を受け、その代謝物が作用している可能性が明らかとなった。また、投与量による睡眠作用の変動及び体内のどの臓器で代謝されているかなどの体内動態、どの代謝物が作用本体か検討する必要がある。

３．オキシピナタニンの合成：今のところほとんど進行していない。合成方法のスキームを考案している段階で、グルタミン酸あるいはグルタミンをベースにする合成方法が困難であると考えられた。　KAKENより引用

化学構造式　オキシピナタニンの構造式



oxypinnatanine

オキシピナタニンは、従来から海外の薬用植物に含まれる特殊なアミノ酸として知られていた。抽出したオキシピナタニンの機能解析を行ったところ、マウスやラットにおいてグリシン（中枢神経系においてグリシンはＧＡＢＡに次いで重要な抑制性神経伝達物質である）の１００倍以上の睡眠誘発効果を示し、眠りの質（熟睡＝ノンレム睡眠）が高くなり自然な眠りが深くなることが判明。（財）食品薬品安全性センターによる安全性試験においても問題が無いことが確認されている。

研究発表

「アキノワスレグサエキスの鎮静効果、睡眠効果、深部体温低下作用」「マウスの強制水泳処置誘発疲労の回復に及ぼすアキノワスレグサの効果」

（日本睡眠学会第３３回定期学術集会）

「マウスの水迷路学習場面を用いたアキノワスレグサの抗うつ様効果の検討」

（第２６回日本生理心理学会）

「沖縄産アキノワスレグサの抽出エキス・ヒプノカリスのヒトでの睡眠改善効果」

（日本睡眠学会第３４回定期学術集会）

「睡眠改善作用を持つ沖縄産アキノワスレグサとＧＡＢＡ高含有青パパイヤ乳酸醗酵液の深部体温低下作用と強制水泳ストレスに対する軽減効果の比較」

（日本睡眠学会第３４回定期学術集会）

沖縄クワンソウ普及協会より

授乳婦と薬剤

琉球大学医学部附属病院
薬剤部　伊差川 サヤカ

はじめまして。薬剤師３年生の伊差川サヤカと申します。

大学３年次にはスウェーデンに留学し、薬学の他に福祉制度などを学び、その合間にヨーロッパのあちこちをバックパックで旅してきました。沖縄育ちの私に冬の長い北国での生活は正直なじみませんでしたが、 夏至間際の明るい夜に公園で友人とパーティーをしたり、雪山を犬ぞりでまわったりするのはとても楽しかった思い出です。留学中の友人とは、帰国後会えることがあまりないのですが、今年の５月には韓国の友人と再会することができ、今でも連絡を取り合っています。

マッコリを持つ私

現在は、琉球大学医学部附属病院（以下、琉大）産婦人科担当薬剤師として、産婦人科病棟に入院している患者さんへの薬剤管理指導業務を行っております。

当院の産科施設では、管理の困難な合併症を持つ妊産婦や予期せず出生した早産児、病的新生児を県内の周産期センターと協力し、２４時間受け入れる体制を整えています。このため、入院されてくる妊産婦さんの中には、持病により産科的治療以外の目的で薬剤を内服している方もおり、積極的な薬剤管理指導業務が求められています。

当院の産科では、週に１度「周産期カンファレンス」が開かれ、産科医師、小児科医師、助産師、看護師、臨床心理士、臨床工学技士、薬剤師が一堂に集まり、患者さんの病態についての情報を共有しております。

また、妊娠中に継続して既往疾患に関する薬剤を内服しているケースでは、催奇形性に関する情報や母乳栄養の希望の有無、薬剤の授乳への影響を話しあっています。

合併症妊娠の妊婦さんの場合、妊娠中に限らず、出産後も持参薬の内服を継続することが多くあります。このため、妊娠期間における服薬指導時に、妊娠中の内服による胎児への影響だけではなく、産後の服薬継続時の授乳後の乳児への影響について尋ねられることもしばしばあります。

私が指導する際に心がけていることは、平成２４年３月に開催された「美ら島薬学ネットワーク」にて虎の門病院薬剤部長の林昌洋先生が述べていた以下の６点です。

① 添付文書の記載について説明（授乳禁忌であるか、有益性投与か）
② 添付文書情報の限界について（添付文書上の授乳禁忌薬剤は約４分の３を占めており、１３％が有益性投与となっているが、これでは母乳のメリットが活かされない。）
③ 母乳保育のメリット
④ 母乳移行性に関するデータ
⑤ 服薬した授乳婦の乳児に関する実在する情報（授乳後の乳児の有害事象例等）
⑥ 公的機関、学会等における授乳可否に関する判断を引用

上記の④⑤⑥については、様々な参考書が役立ちますが、私自身は琉大にある書籍を参考にしており、以下のものがその一部です。

「薬物治療コンサルテーション妊娠と授乳」
南山堂（2010/11/15）

「授乳婦と薬―薬剤の母乳移行性情報とその　評価」
じほう（2000/10）

「Drugs in pregnancy and lactation」
Lippincott Williams & Wilkins;
9版（2011/3/11）

また、ウェブサイトでは、
国立成育医療研究センター
（http://www.ncchd.go.jp/kusuri/）
ＬａｃｔＭｅｄ（http://toxnet.nlm.nih.gov/cgi-bin/sis/htmlgen?LACT）
などを参考にしております。

情報源が限られている場合や指導にあたる時間が限られている場合、全ての情報源に当たって調べまとめるのは非常に骨の折れることではないかと推測されます。授乳婦に対する薬剤のうち、どのようなものが服薬指導に困るか、どのように対応したのか、沖縄県内での症例を共有することで今後の服薬指導に反映されると思います。

ところ変わって、同じ九州地区の大分県では「母乳とくすりハンドブック」が刊行されています。これは大分県小児科医会発案のもと、大分県産婦人科医会、大分県薬剤師会の共同で勉強会を重ね、医療従事者間の授乳と薬剤に関する意見の相違から、授乳を希望するお母さんの混乱を招き、不必要に授乳を中断してしまう事のないようにするために作成されたハンドブックです。そして、このハンドブックはウェブでも参照可能なので、ぜひ検索してみてください。(http://www.oitaog.jp/syoko/binyutokusuri.pdf) 既存の書籍などの授乳の情報に加え、大分県の見解を述べているところがとても斬新だと思います。

沖縄県薬剤師会でも同様のハンドブックが作れたら面白いですね。

「母乳とくすりハンドブック」の表紙

さて、今年九月に開催された九州山口薬学大会において、沖縄県から「妊婦九州山口地区における妊婦・授乳婦の服用薬剤について」というテーマで九州山口地区の全診療科医師、病院・薬局薬剤師、妊婦・授乳婦を対象にアンケート調査を実施いたしました。今回は妊婦・授乳婦に対し、臨床で使用頻度の高い薬剤や、服薬指導内容など薬物治療に特化した実態調査を行い、問題点の抽出とその対策を検討しました。全ての結果をこの薬学大会において発表することは困難でしたので、いくつかのテーマに絞って発表を行っていく予定です。

実態調査を行う以前に、沖縄県病院薬剤師会では妊婦・授乳婦分科会が立ち上げられました。メンバーはまだ少人数ですが、今後も活動を拡大していく予定です。

九州山口薬学大会までは、発表に向けての調査の集計解析などを行っておりましたが、今後は、妊娠・授乳の基礎知識を確認し、各時期における主要な薬剤の影響をまとめ、各施設における相談事例等を共有していけたら良いなと考えております。

私自身、出産・育児の経験もなく、右も左も分からぬ状態で勉強を開始しました。一緒に学んでいける方がいればとても心強いと思います。

この記事をご覧になって興味を持った方はどなたでも、ぜひ一声おかけください!!

次号には外間 登先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

卒煙物語 その38

2回目

文：卒煙へようこそ担当
えんこ

時代はどんどん進んでいます。
どうしてこんな時代になったのか、
それなりの理由があります。
「卒煙」を知らないではすみません。
さぁ、一緒に取り組みましょう！

学校薬剤師の活動の中で、学年を重ねた子供たちに継続して防煙のお話をする機会に今までめぐり合いませんでした。大概一人の指導・支援者の講義は単発的です。ある講師の講義を受けた子供たちは、卒業するまでの間で別の角度から、学校職員や警察、医師、ダルク団体などなどといろんな方が関わりながら授業は進められる事が多いはずです。一人の講師の話を2年続けて聞くことはあまりないことです。しかし、今回、私は、昨年5年生であった子供たちが、6年に上がった今年に転校など多少のメンバーは変わっていましたが、ほぼ同じメンバーにお話しする機会に初めて出会いました。

期待したのは、前年を踏まえてスケールアップしたアンケートへの質問でした。私の講演は、まずアンケートで子供たちに家族の喫煙状況を聞く、子供の喫煙経験の度合いを聞く、喫煙がもたらす害の有り無しを聞く、これらはすべて選択で答えてもらって、最後には聞きたいことがあれば書いてくだいと添えます。2回目ですが、同じアンケートをとりました。昨年とそう変わりないアンケート結果で、講演で答えたはずの質問が書かれていました。理解していないのだなと残念な気持ちになりました。とは言っても、養護の先生との打ち合わせの中で、前年と同じスライドで2回見ることで理解ができることもあるとの助言をいただき、全く新しい質問には新しく揃え、前にも答えたような質問には同じスライドで講演をすることにしました。

2回目で飽きられてしまうのではという私の予測は全くの無駄な心配で、子供たちは真面目に聞いてくれて、時折「このスライドを覚えていますか？」の私の質問に手を上げてくれるのです。各スライドの印象はまばらで、多く手が上がるものや数人上がるものがありました。記憶に残ることは難しいのでしょう。最後まで終えて子供たちは清々しい様子で「俺、絶対吸わない！」という子や、ある子は「最後の話は先生がつくったの？最後が面白かった！」と言ってきました。私がいつも最後に話すイングランドで始めて喫煙をしたという想像図に描かれているウォルターダーレーの話。「下男がウォルターに水をかけた。ウォルターは水をかけたのはダーレーと怒っただろうか」という話。洒落は私が作ったのだけど、登場人物はある書籍からの参考です。洒落は5年生には難しかったのかもしれない。6年生で理解できたのでしょう。

6年生は小学生を卒業し、来年は中学生になる。ぐんと大人に近づく彼ら彼女らの心に大きく残りますように。

卒煙者の経験談を募集しています。皆様の声が大きな励みとなることでしょう。
下記までお寄せ下さい。

e-mail　**di3@okiyaku.or.jp**
〒901-1105　沖縄県島尻郡南風原町字新川218－10
TEL　098－963－8930　FAX　098－963－8932
薬事情報センター内　卒煙へようこそ担当　えんこ 行き

薬連だより

第５回若手薬剤師指導者育成フォーラム報告

～立ち上がろう若手薬剤師！もとう政治への意識！～

会期：平成24年11月17日・18日
会場：飯坂ホテル聚楽（福島県）

宜野湾薬局 広栄店　吉田 将司

＜研修内容＞

１１月１７日

①「国会活動報告」
参議院議員　藤井 基之 先生

②「薬剤師職能と政治」
日本薬剤師連盟会長　児玉 孝 先生

③「日本薬剤師会の課題と要望について」
日本薬剤師連盟幹事長　小田 利郎 先生

④「国会活動報告」
前衆議院議員　松本 純 先生

⑤ ＳＧＤ（スモールグループディスカッション）

１１月１８日

① ＳＧＤ発表

②「政治は被災者に対して何ができるか」
参議院議員　森 まさこ 先生

各県薬剤師会から２，３名の代表が参加して行われた今回の研修ではＳＧＤに多くの時間を割きました。

１２０人の参加者を１０のグループに分けて、それぞれのグループで共通の４つのテーマについて議論をし発表しました。

以下、我が６班の発表です。

（１）薬剤師の現状をどう認識し、どのような問題意識を持ってるか？

まだまだ責任感や薬剤師としての覚悟のようなものが足りなく、現状認識が甘かったり、問題意識をもってないのではないか。医薬分業の必要性をきちんと伝えていくことが大切です。

（２）薬剤師はなにを目指すべきか、どうなりたいか？

健康のプロフェッショナルになる。以前の薬局のようなセルフメディケーションの拠点となるような機能の回復。しかし以前より進化した相談窓口としての役割をはたしていこうということです。

目指せ分業率１００％です。

（３）薬剤師、薬局がその役割をはたすためにはどういう環境整備が必要か？

薬剤師免許というのは国家資格で、国から与えられた資格であり、国に期待されてることを果たす義務があります。それに対する職能意識がバラバラなので、保険薬局の薬剤師や病院薬剤師、ドラッグストアやその他薬剤師の資格を必要とする仕事の全体的な底上げをするために意思統一が必要ではないか。

（４）環境整備を進めるための政治力や連盟の組織強化をするためには何をすべきか？

若手を中心にオール薬剤師として政治に興味を持ってもらう。難しいことへの参加ではなく、薬剤師の代表を国会に送り、薬剤師としての必要な意見を述べてもらったり、インターネット販売などへの反対をしてもらう。薬剤師になる前の薬学生や薬学を志す学生へのアピールが必要。身近に情報共有ができる仕組みづくり（ツイッターやfacebook等の活用）

今回の研修を通して、個人個人の自己研鑽もとても大切だが、薬剤師という職業の全体的なレベルアップのために地区薬剤師会の活動、県薬剤師会の活動、そして日本薬剤師会の活動という組織的な活動をしていくことの必要性を感じました。

薬連だより

平成24年度日本薬剤師連盟九州ブロック協議会が開催される

日時：平成24年11月10日（土）17:00～19:30
会場：沖縄県市町村自治会館 4階 第7会議室

沖縄県薬剤師連盟幹事長　吉田 久子

１１月１０日（土）に、沖縄県の市町村自治会館において、藤井基之参議院議員、日薬連盟からは、小田幹事長、岩本副幹事長、小野総務、安東九州ブロック総務、事務局（２名）、九州各県からは、各県３～９人の出席のもと開催されました。

藤井基之先生から、国会活動報告（・保険調剤におけるポイントサービスの提供に関すること、インフルエンザワクチンに関すること、重要医薬品供給確保事業に関する質問、・医療用麻薬製剤に関すること、後発医薬品の薬価基準収載、販売名、使用促進と医療費改定に関すること、子宮けいがん等ワクチン接種緊急促進事業、放射性物質に係る漢方生薬製剤等の取扱い、基礎的輸液製剤の安定供給、指定薬物、脱法ハーブ等の取り締まり強化、薬学教育の質に関すること、医療関係職種等の勲章受章に関する事、日本標準産業分類の改定、院内製剤に関する質問主意書等）がありました。

会議は、小田幹事長より、日薬連盟の当面の政治的課題として、社会保障と税の一体改革、一般用医薬品の販売制度問題、チーム医療の推進、国民の皆保険増進、健康管理への薬局、薬剤師の活用、ＴＰＰ（参加と医療への影響）、薬事法、医療法等改正への対応等についての報告がありました。

日薬連盟の活動については、平成２５年度予算要望及び概算要求について、新閣僚及び各党への対応について、自民党衆議院選挙向け公約について、若手薬剤師指導者育成フォーラム、薬剤師地方議員意見交換会、・選挙推薦等の対応、委員会の整備、政治資金規正法に基づく収支報告書等があり、その他保険調剤等におけるポイント付与を原則禁止する件について、一般用医薬品のインターネット販売問題、在宅患者訪問薬剤管理指導料と居宅療養管理指導費の給付調整に係る留意事項等がありました。

協議は、衆参議院選挙について説明があり、組織強化と会員増強ついては、連盟の現状と会員増加対策の現状、会費納入、日薬連盟の責任負担金の在り方について、各県から説明がありしたが、日薬連から組織力が強力であると評価されている九州ブロックでも過半数の県が薬連入会費の納入で苦労している面がうかがえた。政治活動の必要性に関する意識は、まだまだ低いようですが、将来の不安、危機感、若手フォーラムの開催等で高まってきているとの話もありました。

会議の後の懇親会は、政治力で薬剤師の業務の拡充等を図ろうと皆の心が一つになる交流の場となりました。事務局の皆さんお疲れ様でした。

＜日薬九州ブロック協議会参加者＞

○藤井　基之（参議院議員）

日本薬剤師連盟
○小田　利郎（幹事長）
○岩本　　研（副幹事長）
○小野　春夫（総務）
○安東　哲也（九州ブロック総務）
○工藤　万知（事務局）
○渡部　栄美

福岡県薬剤師連盟
○藤野　哲朗（会長）
○三浦　公則（副会長）
○井上　章治（副会長）
○田尻　泰典（副幹事長）
○満生　清士（常任総務）
○中井　順一（監事）
○青木眞由美（事務局）

佐賀県薬剤師連盟
○吉富　直助（会長）
○曲渕　直喜（副会長）
○本田　茂樹（幹事長）
○内田　照彦（事務局長）

長崎県薬剤師連盟
○蒲池　芳明（副会長）
○猪平　民雄（幹事長）
○手嶋　無限
○馬渡　利一（事務局）

熊本県薬剤師連盟
○廣田　誠介（会長）
○江上　祥一（幹事長）
○神田　晴生

大分県薬剤師連盟
○副　　千秋（副会長）
○友成　　朗（総務）
○河野　宏彰
○森山　竜馬（事務局）

宮崎県薬剤師連盟
○田代　和久（会長）
○小山　明俊（幹事長）
○黒木　慎也
○久保薗　哲（事務局）

鹿児島県薬剤師連盟
○内野　　悟（会長）
○上野　泰弘（幹事長）
○井上　正英
○沼上　正樹（事務局長）

沖縄県薬剤師連盟
○神村　武之（会長）
○吉田　久子（幹事長）
○城間　盛光（副幹事長）
○江夏　京子（副幹事長）
○姫野　耕一（副幹事長）
○吉田　洋史（総務）
○川満　直紀（総務）
○藤原　明人
○山城　英人（事務局）

※敬称略

薬連だより

石破茂自民党幹事長と医療関係団体との懇談会

日時：平成24年10月17日（水）15:15～16:15
会場：パシフィックホテル沖縄

沖縄県薬剤師連盟事務局
山城 英人

去る１０月１７日（水）に石破茂自由民主党幹事長と医療関係団体（沖縄県医師連盟、沖縄県歯科医師連盟、沖縄県薬剤師連盟、沖縄県看護連盟）との懇談会が開催された。

沖縄県薬剤師連盟からは、神村会長はじめ８名の役員等が参加した。

始めに翁長政俊自由民主党沖縄県連会長と島尻安伊子参議院議員が挨拶を述べられた。

次に石破茂自由民主党幹事長の挨拶で、「国政が全く機能していない。衆議院解散後、国民に信を問いたい。現政権を批判するのではなく、自民党のマニフェストとして各都道府県が抱えている問題に対してローカルマニフェストを唱え、国政と県政を直結し、しっかり実行していくことが必要である。」と述べられた。

次に、各団体から事前に提出されていた下記の国政への要望が述べられ、石破氏は、その要望を受け止め、協議・検討していくと述べられた。

沖縄県医師連盟：医療機関が抱える消費税負担問題の解決に向けて

沖縄県歯科医師連盟：障害者歯科医療の問題について

沖縄県薬剤師連盟：一般用医薬品の通信販売問題について
→薬は安全が担保されなければならない。対面販売が必要であると述べられた。

沖縄県看護連盟：在宅医療に従事する看護職員の人材確保について

その後、次期衆議院選挙沖縄選挙区立候補予定の第一選挙区、國場幸之助氏、第二選挙区、宮崎政久氏、第三選挙区、比嘉奈津美氏、第四選挙区、西銘恒三郎氏の決意表明があり、最後に照屋守之自由民主党沖縄県連幹事長の挨拶をもって閉会となった。

余談の中で、石破氏の娘さんは薬科大学に通われていること、その他、親族にも医療関係者が多いことを話された。

石破茂自民党幹事長（中央）と記念撮影

薬連だより

国会レポート

～秋の臨時国会が始まる～

参議院議員・薬学博士　藤井 もとゆき

１０月１日、第三次野田改造内閣が発足しました。今回の内閣改造で三井衆議院議員が厚生労働大臣に就任され、薬剤師会にとってこれ以上ない強い味方が誕生したことになります。三井大臣には強いリーダーシップにより我が国の社会保障制度、特に医療保険制度が一層充実されるようがんばっていただきたいと期待しております。しかし、内閣においては大きな不安材料が見え隠れしています。発足後一ヶ月もたたないうちに田中慶秋法務大臣が健康上の理由で辞任しました。暴力団関係者との交際や外国人関係企業からの政治献金等の問題に対する野党からの激しい追及の結果だと思います。更に、最近では田中真紀子文部科学大臣による来春開学予定であった３大学の認可を巡る発言問題等がありました。もう少し落ち着いた国会対応となるよう求めたいと思います。

さて、１０月２９日、第１８１回臨時国会が開会され、１１月３０日までの３３日間を会期としています。衆議院においては野田総理の所信表明演説が行われましたが、参議院においては所信表明演説が行われないという異例な展開で幕を開けました。このような状況になったのは、通常国会の終盤に総理に対する問責決議が可決されたことによるものであり、ご理解をいただければ幸いです。

今臨時国会において、私は１年ぶりに厚生労働委員会に戻らせていただきました。昨年の臨時国会から、ＯＤＡ特別委員会の委員長、財政金融委員会の委員を務めさせていただき、ＯＤＡ関係の国連関係者との意見交換、社会保障と税の一体改革についての国会質問、また質問主意書により政府の対応方針を質すなどの活動を続けてまいりました。今後は、厚生労働委員会委員のほか、行政監視委員会委員、国民生活・経済・社会保障に関する調査会の筆頭理事として活動してまいることとなりましたので、引き続きのご支援をお願いいたします。一方、自民党においては広報本部の副本部長と新聞出版局長という役職を勤めることになりました。機関誌「自由民主」の発行にかかわることになりますので、「自由民主」をご覧になる際に、是非私のことを思い浮かべていただければ幸いです。

ところで最近、脱法ハーブによる事故の発生が社会問題となっています。１１月９日の朝開かれた自民党の厚生労働部会・薬事に関する小委員会合同会議では、麻薬取締官（員）に指定薬物の取り締まりを行えるようにすること、疑いのある物品の収去権限を職員に付与することを目的として麻薬・向精神薬取締法及び薬事法を改正するというものです。公明党議員からの提案による議員立法として今国会での成立を目指すことになります。ドラッグフリーの社会実現のため、これからもがんばります。

藤井基之ホームページ　　http://mfujii.gr.jp/

告知ポスター

「薬と健康の週間」広報ポスター

くすりと健康フェア《心身ともに健康》

薬と健康の週間 10/17(水)▶23(火)

県民公開講演会

入場無料

日時 平成24年10月17日(水) 18:30~20:00

会場 パレット市民劇場
那覇市久茂地1-1-1（パレットくもじ9F）

※ご来場の際は、バス、タクシー、モノレール等をご利用下さい。
※会場の都合により、定員を超えた場合はご入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

手話通訳あります。

演題
夢に向かって今日もスマイル

講師
ハートフルシンガー 大城 友弥

唄 曲目
大切なもの 他

●プロフィール
大城 友弥［おおしろ ともや］
沖縄県八重瀬町出身。
「音の出る信号機を贈ろう」キャンペーンや「盲導犬募金」への募金を募り、寄附。実行委員会を立ち上げ毎年開催し地域の社会福祉協議会や作業所へ収益金を全額寄付し福祉貢献をされている。現在、ラジオのレギュラー番組、学校コンサート、各種イベント等、精力的に活動中。

講師

やなせ なな（梁瀬 奈々）

いのちの支縁講演会・コンサート
~やさしい癒しの歌の数々を講話と共に~

いのちの大切さ、ご縁の尊さを
美しいメロディに乗せて歌います♪

●プロフィール
やなせ なな［梁瀬 奈々］
奈良県出身。シンガーソングライター。浄土真宗本願寺派・教恩寺住職。
2004年シングル「帰ろう。」でデビュー。子宮体ガンを克服した経験と僧侶の立場から、いのちに関する歌を数多く制作し、年間100回を超えるコンサート・講演会活動を行う傍ら、エッセイの執筆、ラジオのDJ、ニュース番組のコメンテーターとしても活躍中。

お薬と健康相談会

相談無料!

講演会前に薬剤師がお薬と健康の相談を致します。
（病院薬、大衆薬、漢方薬、健康食品、禁煙、メタボリックシンドローム、薬物乱用など）

午後4時30分~午後6時30分 お気軽にご相談ください

県民の健康を願い
沖縄県薬剤師会は
チャーガンジューおきなわ応援団として
健康おきなわ21推進事業に取り組んでいます！
健康おきなわ21

献血にご協力下さい！
沖縄県薬剤師会は
献血を推進しています！
期間：10月17日(水)~23日(火)
沖縄県赤十字血液センター
久茂地献血ルーム
TEL.098(864)0368
受付／9：30~13：00／14：00~17：00
（成分献血受付は16：00まで）

お薬手帳 5つのいいこと

- い 医療機関にかかる時は必ず持って行きましょう
- い 言いたい事や伝えたい事を書いておきましょう
- い 一般用医薬品(OTC医薬品、大衆薬)・健康食品も記録して
- い いつも携帯・いつも同じ場所に保管して
- い 一冊にまとめましょう

主催 沖縄県・(社) 沖縄県薬剤師会　お問い合わせ (社)沖縄県薬剤師会事務局 ☎098-963-8930
沖縄県福祉保健部薬務疾病対策課 ☎098-866-2215

転載記事

「薬と健康の週間」（10月17日～23日）関連記事

くすりと健康フェア《心身ともに健康》

薬と健康の週間 10/17(水)▶23(火)

県民公開講演会

入場無料

日時 平成24年10月17日(水) 18:30~20:00

会場 パレット市民劇場
那覇市久茂地1-1-1（パレットくもじ9F）

※ご来場の際は、バス、タクシー、モノレール等をご利用下さい。
※会場の都合により、定員を超えた場合はご入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

手話通訳あります。

講師 やなせ なな（梁瀬 奈々）

いのちの支縁講演会・コンサート
～やさしい癒しの歌の数々を講話と共に～

いのちの大切さ、ご縁の尊さを美しいメロディに乗せて歌います♪

●プロフィール

奈良県出身。シンガーソングライター。浄土真宗本願寺派・教恩寺住職。子宮体ガンを克服した経験と僧侶の立場から、いのちに関する歌を数多く制作し、年間100回を超えるコンサート・講演会活動を行う傍ら、エッセイの執筆、ラジオのDJ、ニュース番組のコメンテーターとしても活躍中。

演題 夢に向かって今日もスマイル

講師 ハートフルシンガー 大城 友弥

唄曲目 大切なもの 他

●プロフィール

沖縄県八重瀬町出身。毎年地域の社会福祉協議会や作業所へ収益金を全額寄付し福祉貢献をされている。ラジオのレギュラー番組、学校コンサート、各種イベント等、精力的に活動中。

お薬と健康相談会

相談無料!

講演会前に薬剤師がお薬と健康の相談を致します。
（病院薬、大衆薬、漢方薬、健康食品、禁煙、メタボリックシンドローム、薬物乱用など）

午後4時30分～午後6時30分 お気軽にご相談ください

県民の健康を願い

健康おきなわ21

沖縄県薬剤師会はチャーガンジューおきなわ応援団として健康おきなわ21推進事業に取り組んでいます！

献血にご協力下さい！

沖縄県薬剤師会は
献血を推進しています！

期間：10月17日(日)~23日(土)

沖縄県赤十字血液センター
久茂地献血ルーム
TEL.098(864)0368
受付／9:30~13:00／14:00~17:00
（成分献血受付は16:00まで）

久茂地献血ルームでこの券をご提示ください

お薬手帳 5つのいいこと

- い 医療機関にかかる時は必ず持って行きましょう
- い 言いたい事や伝えたい事を書いておきましょう
- い 一般用医薬品(OTC医薬品、大衆薬)・健康食品も記録して
- い いつも携帯・いつも同じ場所に保管して
- い 一冊にまとめましょう

主催 沖縄県・沖縄県薬剤師会　お問い合わせ 薬剤師会事務局 ☎098-963-8930・県薬務疾病対策課 ☎098-866-2215

後援 沖縄県薬業連合会／沖縄県医薬品卸業協会／沖縄県医薬品配置協議会／沖縄県医薬品登録販売者協会

会営薬局 休日・夜間薬局
医療センター前 南風原町新川218-10
うえはら 西原町字上原241-1
とよみ 豊見城市字宜保271

平成24年10月14日（日）　琉球新報・沖縄タイムス

転載記事

「薬と健康の週間」（10月17日～23日）関連記事

論壇

お薬手帳持参 忘れずに

安心安全な処方に必要

池間　記世

病院や保険薬局に行った時、「お薬手帳をお持ちですか?」と聞かれた事はありませんか。薬剤師会は薬物治療を受けている全ての人に、お薬手帳の携帯を勧めるという取り組みを行っています。お薬手帳は、緊急時、複数の医療機関の受診時、入院時などに特に有用です。昨年の東日本大震災の時、お薬手帳は、医師が疾病名や疾病の程度を把握するのに大変役に立ち、被災された方々に適切な薬を速やかに手渡すことができました。

沖縄県は、全国一ジェネリック医薬品の使用率が高い県です。ジェネリック医薬品は、有効成分が同一でありながら、先発品に比べて価格が安いために、患者さんの費用負担の軽減や医療保険財政の改善に役立つ事から、積極的に推奨されています。

今年、4月からジェネリック医薬品の使用をさらに推進するため「一般名処方」が行われるようになりました。「一般名処方」とは、医薬品の銘柄を指定するのではなく、有効成分が同一であれば患者さんの同意を得た上で、どの銘柄の医薬品を使用しても良い、という意味です。

現在、市場には一つのお薬成分に対して多数の銘柄の医薬品があります。その結果、複数の医療機関を受診していると、名前は異なっていても同じ成分の薬が重複して処方される危険性が増えてきました。また、高齢者は飲み忘れ、飲み間違い防止のために、処方された薬の中身だけを「あさの薬」「ひるの薬」「よるの薬」とひとまとめ（一包化）にしている方も少なくありません。

この場合、お薬の判別が非常に困難になります。お薬手帳には、「医薬品名」「用法」「用量」が正確に記載されるので、薬剤師はお薬手帳の情報をもとに、重複投与をはじめとして、飲み合わせの悪いお薬や、その方にとって不都合な薬の処方等が容易に判断できます。また、入院時にも、持参したお薬の確認にお薬手帳は必須です。入院前に飲んでいた薬の中には、手術前に中止しないといけない薬や、病状の変化に応じて飲むのを中止した方がよい薬が入っていたりします。

1冊のお薬手帳の中に、一般用医薬品やサプリメントを含めた薬に関する全ての情報を順次書き入れ、さらに副作用歴やアレルギー歴も書き加えることによって、有用性はさらに高まります。お薬手帳を十分に活用して、安心、安全な薬物治療のためにお役立てください。

（県薬剤師会広報委員、66歳）

2012・10・13　沖縄タイムス

転載記事

「薬と健康の週間」
（10月17日～23日）
関連記事

平成24年10月19日（金）　琉球新報

2012年10月19日

論　壇

違法ドラッグ乱用防止を
学校での教育徹底が重要

前濱　朋子

違法ドラッグの使用による事件事故が後を絶たない中、幻覚や興奮作用のある違法ドラッグは、脱法ハーブやお香と称して販売されている。人体への摂取や吸引が禁止されているにもかかわらず、乱用による健康被害は増え続けている。沖縄県においても例外ではなく、3月末時点での県内での違法ドラッグ取扱店舗数は、東京都、大阪府、愛知県に次ぐ全国4位である。

去る7月2日、沖縄県では、違法ドラッグ不正使用による健康被害発生の未然防止を第一に考え、その危険性を広く県民へ周知するために、「違法ドラッグ注意報」が発令された。厚生労働省による平成24年1～6月の違法ドラッグが原因と疑われる救急搬送事例件数を発表した。平成24年6月時点で、既に23人（10代5人、20代12人、30代6人）の報告があり、前年度（平成23年度）の10人を大きく上回っている。

同日、違法ドラッグによる健康被害の増加を受けての対策強化として、沖縄県福祉保健部、沖縄県警察本部、九州厚生局沖縄麻薬取締所より「違法ドラッグ注意報」が発令された。厚生労働省による平成24年1～6月の違法ドラッグが原因と疑われる救急搬送事例件数を発表した。平成24年6月時点で、既に23人（10代5人、20代12人、30代6人）の報告があり、前年度（平成23年度）の10人を大きく上回っている。

同日、違法ドラッグによる健康被害の増加を受けての対策強化として、沖縄県福祉保健部、沖縄県警察本部、九州厚生局沖縄麻薬取締所より市場に出回っている。このような成分構造を一部変えただけの違法ドラッグについては、販売・流通と規制の〝いたちごっこ〟が続いている。

政府の薬物乱用対策推進会議が違法ドラッグに関する新たな薬物乱用防止策を8月30日に発表した。薬事法の「指定薬物」と成分構造が類似していれば、一括して規制対象とする「包括指定」を年明けにも導入する方針を明らかにしている。また、新たに違法ドラッグから見つかった17種類の化学物質が指定薬物に追加された。

さらに、流通している薬物が製造・販売禁止の対象となる「指定薬物」に含まれるかどうかを調べるため、国や自治体職員が店頭から商品を強制的に没収できるようにするほか、麻薬取締官の捜査権限が拡大され、麻薬以外の指定薬物も取り締まれるようになり、指定薬物の販売も麻薬と同様に逮捕や強制捜査などの厳しい取り締まりが可能となる。教育現場では、学習指導要領の中の「保健」の分野に「医薬品の正しい使い方」、いわゆる「くすり教育」が加えられた。

児童・生徒には薬に対する正しい知識を習得し、違法ドラッグを断る力をつけてほしい。違法ドラッグは「買わない、使わない、かかわらない」を徹底し、学校でのくすり教育が、若者を中心に広がる違法ドラッグによる健康被害を未然に防止する力となることを願う。

（沖縄県薬剤師会理事、49歳）

転載記事

「薬と健康の週間」
（10月17日～23日）
関連記事

盲目の大城さん 健康と笑顔歌う

県・薬剤師会フェア

大城友弥さん

医薬品や薬剤師の役割を正しく知ってもらおうと、県と県薬剤師会主催の「くすりと健康フェア」が17日、那覇市のパレット市民劇場で開かれた。市民ら約100人が参加した。

八重瀬町の盲目の歌手、大城友弥さん(22)が「夢に向かって今日もスマイル」のテーマで講演し「何があっても笑顔も絶やさず、体に気をつけて夢を追い続けて」と語った。自作の2曲も披露した。

薬剤師による健康相談会や奈良県出身のシンガー・ソングライター、やなせななさんの講演もあった。17日から始まった「薬と健康の週間」（～23日）の一環。

平成24年10月18日（木）
琉球新報

平成24年10月23日（火）　沖縄タイムス

季節風

○…県薬剤師会は22日、「薬と健康の週間」街頭キャンペーンを那覇市のパレットくもじ前で開いた＝写真。約30人が薬の飲み方や保管、安価なジェネリック医薬品のチラシを配った。

○…薬剤師会の神村武之会長は東日本大震災後、被災者が服用する医薬品の特定に「お薬手帳」が役立ったといい、「携帯すれば急な受診にも役立つ」と呼び掛けた。

○…同週間の最終日の23日は、薬事功労者知事表彰として田場英治さん（県立中部病院薬局長）、金城栄一さん（県南部地区薬剤師会役員）の２人を表彰する。

平成24年10月16日（火）　琉球新報

くすりと健康フェア あす、パレット市民劇場

県薬剤師会など主催

県と県薬剤師会主催のくすりと健康フェア・県民公開講演会が17日午後６時半から那覇市のパレット市民劇場で開かれる。奈良県出身の住職・歌手、やなせななさんが講師を務め、講話と歌を披露する。歌手の大城友弥さんも出演する。

17～23日が「薬と健康の週間」。午後４時半からは、薬剤師会会員たちが無料で相談に応じる、お薬と健康相談会も劇場ロビーで行われる。

11日、同会の宮城敦子理事＝写真右、前濱朋子理事が琉球新報社を訪れＰＲした。宮城理事は「やなせさんの話を聞いて癒やされてほしい」と来場を呼び掛けた。講演会は入場無料。問い合わせは県薬剤師会事務局☎098（963）8930。

転載記事

「薬と健康の週間」
（10月17日～23日）
関連記事

平成24年10月21日（金）　宮古毎日新聞

薬は正しく飲もう

「健康週間」でパンフ配布

薬剤師会など

薬と健康の週間（17～23日）にちなんだ街頭キャンペーン（主催・県、県薬剤師会）が20日、市内の大型スーパー前で行われた＝写真。宮古地区薬剤師会（川満正啓会長）と宮古福祉保健所（仲宗根正所長）の関係者らが、買い物客らに薬の正しい飲み方などが書かれたパンフレットを配布した。

同週間は、医薬品および薬剤師などの専門家の役割に関する正しい認識を広く国民に浸透させることにより、国民の保健衛生の維持向上に寄与するのが目的。

川満会長は「不特定多数の人に、正しい薬の使い方を啓蒙してください」と呼び掛けた。

平成24年10月25日（木）　沖縄タイムス

「お薬手帳」で健康の管理を

10月13日の論壇、池間記世さんの「お薬手帳持参忘れずに　安心安全な処方に必要」を読んでぜひ通院している人はお薬手帳を持参してほしいと私も同感しました。

私は慢性疾患があるため毎月通院しているのでお薬手帳を作ってもらい、記入してもらっています。大変役に立っています。

たまに腰痛などで整形外科にも受診しますが、そこで院内処方してもらったお薬の説明書も自分で貼っています。

先日、薬局で私のお薬手帳をごらんになった薬剤師が「これは整形外科で出してもらったお薬ですが、同じ成分のお薬が今日出てますよね」と言われ、私は「はい、でも飲み終わって現在はありませんので」と言ったので薬剤師は納得しました。

お薬手帳持参のおかげでお互いに話がスムーズにいくし重複処方もさけることができます。

以前は自分で手作りのノートに記入していましたが、続かなかったのでお薬手帳を作ってもらってからはきちんと自己管理にも役立っています。

（豊見城市、主婦＝67歳　よし子　大嶺）

※投稿者から許可を得て掲載しています。

転載記事

平成24年11月20日（火）　沖縄タイムス

琉球人形通し文化発信

27日から 作家ら10人展示会

いにしえの人形展への来場を呼び掛ける久場とよさん（中央）座間味末子さん（右端）ら県琉球創作人形協会のみなさん＝沖縄タイムス社

県琉球創作人形協会（久場とよ理事長）は27日から、いにしえの人形展を那覇市民ギャラリーで開く。人形作家の座間味末子さん（64）ら10人の作家が琉球人形約300点を出品する。12月2日まで。

同協会は、琉球人形を通じた琉球文化の継承と人材育成を目的として、6月に結成。展覧会は初開催。

人形には本物の紅型やかすりを衣装に用い、琉球王朝時代の行列やエイサーなどを再現。座間味さんは「人形で沖縄の文化や伝統を発信したい。多くの人に見てほしい」と来場を呼び掛けた。

入場無料。問い合わせは同協会の座間味さん、電話090（3794）8714。

多分野にご活躍、ご健在の久場とよ先生（当会名誉会員）

探せグッジョブ！ 児童・生徒が考えた

久米島小の16人 薬局や郵便局へ

【久米島】児童・生徒の就業意識を図る「久米島小学校ジョブシャドウイング」がこのほど、町内事業所であった。6年生16人が久米島博物館や久米島郵便局など16カ所の事業所で働く社会人の姿から仕事や職種に関する知識を広げた。出発式で児童代表の新川果林さんは「働く楽しさや、厳しさを自分の目や耳で確かめたい」と決意表明した。

店を訪れた上地恭輔君＝写真右＝は「薬剤師は免許が必要であることが分かった。大変な仕事だけどみんな楽しそうにやっている」と感想を述べた。同薬局管理薬剤師の赤城宗範さんは「このような機会を増やし、視野を広げてほしい」と話した。

（比嘉正明通信員）

平成24年11月26日（月）　沖縄タイムス

琉球新報

2012年11月14日　ティータイム

喜友名 朝順

年金食

健康食等いろいろあるが、「年金食」という言葉があるかどうかは分からない。沖縄市には「年金通り」と呼ばれる飲食店街があり、高齢者でにぎわっているという。

わが家では、年金生活に入り、生活全般に質素倹約を強いられている。食事も「おいしい」から「体にいい」ものに変わった。スーパーから「八重山カズラ」と思われる「カンダバー」を買い、葉を食べて茎は庭の「アタイグヮー」（小さな畑）に差し込んでいたら、今では繁茂してカンダバーを常食できるほどになっている。

「カンダバージューシー」（雑炊）をはじめ、炒めもの、ピーナツバターを使ったサラダは最高で、フランス料理にも負けないくらいにおいしい。アタイは今までは、ジャガイモの時期にだけ植え付けていて、収穫後は雑草が茂り管理が大変だったが、カンダバーを畑全部に植えて後は雑草もなく畑らしくなっている。

先月かかり付けの薬剤師から「肉食よりも魚がいいですよ。特に青物のサンマ、サバ、イワシは血液サラサラにしてくれます。鮮魚だけでなく、缶詰でもいいです。必ず毎日一食は食べてください」と指導を受けた。

早速妻と相談して実行することにして、サンマ、サバ、イワシの缶詰を買い込んで、ご飯に載せて食べているが、慣れたらおいしいと感じるようになった。「年金食」を食べて、昔の70台は無理でも、80台の夢をもってゴルフレンジ通いに精を出している。

（北谷町、74歳）

※投稿者から許可を得て掲載しています。

転載記事

平成24年11月29日（木）　沖縄タイムス

論壇

障がい者への虐待防げ

沖縄弁護士会が1日拡大協議会

照屋　俊幸

平成16年11月26日福岡法務局は、知的障害者更生施設で職員による施設入所者への虐待の疑いがあるとの報告を受け、同施設の調査に乗り出した。

「施設入所者顔面へ消毒用に使用する木酢液（タールなどの発ガン性有害物質を含む）を噴霧した」「炭や唐辛子、さらにはキャラメルの包み紙をお菓子だと偽り入所者へ食べさせた」「熱湯で入れたコーヒーを飲ませ口や食道に大やけどを負わせた」

これらが、福岡法務局の調査で明らかになった。この調査後、同施設運営法人の理事会が一新されることになったが、虐待はその後も施設内で起こっており、最終調査までに被害者30人計46件の虐待行為が確認された。いわゆる「カリタスの家事件」と呼ばれる事件である。知的障害者更生施設職員によって行われた数十件にわたる虐待行為が世間に衝撃を与え、この事件を契機として、平成24年10月1日『障害者虐待防止法』が施行されることになる。

障害者に対しての行為は、障害の特性から「しつけ」や「指導」のもと行われることが多い。また、虐待を受けている側が虐待行為として自覚していない場合もある。そのため、虐待行為にあたるのかどうかについての判断は簡単ではない。施設や就労現場での虐待の場合、親族は虐待の疑いがあっても「預かってもらっているのだから、これくらいの事は仕方ない」と我慢することも考えられ、虐待行為を発見することも困難だ。

虐待行為が発見された後対応は誰が行い、どのような観点から対応すべきなのだろうか。障害者虐待防止法はこれらのことに一定の答えを出している。虐待防止法の概要を知り、法の目的を達成できるようにするのが我々の役目だと思う。さらに、加害者と被害者の意識レベルを研究し、人権に対する鋭敏な感覚を養うことも大事である。虐待に対する有効な防止策としては、社会全体が虐待行為そのものを無くしていくという動きへとシフトしていく必要があるように思える。

沖縄弁護士会は九州弁護士会連合会と共催のもと、高齢者・障害者の支援に関する拡大協議会『障害者虐待防止法の意義と課題』を12月1日に開催する。この協議会は、障害者への虐待問題、権利擁護や諸機関との連携に関する問題について討議し、障害者虐待防止法の目的に沿った運営を行うため、実務家として問題に直面したときにどのように対処すべきかを理解し、実務に役立てることを目的としている。多くの皆さまにご参加をいただきたい。時間＝午後1時半～、場所＝サザンプラザ海邦大ホール（那覇市旭町）。

（弁護士、那覇市、61歳）

2012・11・29　沖縄タイムス

※当会の指導弁護士である照屋俊幸氏の論壇記事です。

照屋 俊幸（てるや としゆき）

1951（昭和26）年３月生まれ
1975（昭和50）年３月　熊本大学法文学部法律学科卒業
1993（平成５）年４月　弁護士登録（沖縄弁護士会）
1997（平成９）年10月　照屋俊幸法律事務所開設

「オンブズマン大賞」受賞

包括外部監査は、都道府県４７、政令市１９、中核市４０、合計１２０自治体で実施された。平成２２年度の包括外部監査報告において、全国市民オンブズマン連絡会議より、最優秀賞である「オンブズマン大賞」を受賞。

沖縄県の外部監査人による大賞の受賞は初の快挙。

年間目次

おきなわ薬剤師会報 平成24年もくじ

通巻256号～261号

		№.(号)	発行月号	頁
表紙掲載会員作品				
写真「川霧の中で」	新井直久	256	1・2	表紙
写真「香港の夜景」	鈴木一徳	257	3・4	表紙
写真「赤瓦の風景」	宮良夏子	258	5・6	表紙
写真「夏の夜に妖艶に咲き誇るサガリバナ」	宮良善久	259	7・8	表紙
写真「月下美人」	上原克美	260	9・10	表紙
写真「アジサシ」	小渡静男	261	11・12	表紙
年頭挨拶				
新年の挨拶	神村武之	256	1・2	2
新年挨拶	児玉　孝	256	1・2	4
新年のあいさつ	宮里達也	256	1・2	6
薬剤師新世紀の幕開け	藤井もとゆき	256	1・2	7
年頭のご挨拶	松本　純	256	1・2	8
年頭にあたり	島尻安伊子	256	1・2	9
新年を迎えて	渡嘉敷奈緒美	256	1・2	10
祝賀会				
平成23年度薬事功労受賞者合同祝賀会開催	大城喜仁	256	1・2	12
平成23年度薬事功労受賞者プロフィール		256	1・2	14
学校薬剤師活動を振り返って	渡嘉敷見	256	1・2	18
表 彰				
平成23年沖縄県少年育成ネットワーク会長表彰（前濱朋子先生・古謝通子先生）		256	1・2	19
東日本大震災に係る被災地支援薬剤師へ感謝状贈呈	大城喜仁	256	1・2	19
平成23年度沖縄県健康教育関係表彰（被表彰者：伊敷幸太郎先生、宮良善孝先生）		257	3・4	3
2012年春の叙勲 旭日双光章 受章（我喜屋宏先生）		258	5・6	2
九州山口薬学大会表彰受賞（被表彰者：亀谷浩昌先生）		260	9・10	3
九州山口薬学会会報論文奨励賞受賞（被表彰者：比嘉浩一先生）		260	9・10	3
2012秋の叙勲 瑞宝双光章 受章（我部政男先生）		261	11・12	28
平成24年度沖縄県薬事功労者知事表彰（金城栄一先生・田場英治先生）		261	11・12	28
平成24年度薬事功労者厚生労働大臣表彰（大橋得二先生）		261	11・12	29
第44回沖縄県公衆衛生大会長表彰（我喜屋美香先生）		261	11・12	29

巻頭言

ゆいま～る♪ 保険薬局	川上善久	257	3・4	2
八重山地区の医療の現状	荒谷敏巳	258	5・6	1
新しい時代の幕開け	前原信照	260	9・10	4
一般社団法人移行に伴う諸選挙について	野崎真敏	261	11・12	26

告 示

沖縄県薬剤師会代議員選挙の告示	神村武之	259	7・8	2
一般社団法人沖縄県薬剤師会代議員選挙規程（案）		259	7・8	4
代議員選挙各種様式（立候補届・立候補者経歴書・立候補辞退届）		259	7・8	9
一般社団法人沖縄県薬剤師会定款（案）		259	7・8	12
新法人移行に伴う沖縄県薬剤師会代議員選挙結果の告示について	神村武之	260	9・10	1

公 示

会長候補者及び監事選挙に関する公示	神村武之	261	11・12	1

寄 付

沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式報告	大城喜仁	257	3・4	40

総 会

第67回通常総会会長演述	神村武之	259	7・8	23
第67回通常総会開催	亀谷浩昌	259	7・8	24
第67回通常総会特別講演報告	池間記世	259	7・8	27
第67回通常総会懇親会報告	宮城敦子	259	7・8	28
平成23年度会員・薬局等の業態現況報告		259	7・8	29
平成23年度事業経過報告ならびに平成24年度事業計画		259	7・8	30
平成23年度決算ならびに平成24年度予算		259	7・8	48
第67回通常総会におけるその他の議案事項		259	7・8	49

新入会員

平成23年度沖縄県薬剤師会新入会員（平成23年10月～平成24年３月末日入会分）		257	3・4	65
平成24年度沖縄県薬剤師会新入会員（平成24年４月～９月末日入会分）		260	9・10	51

投 稿

第６回日本禁煙科学会学術総会 in 沖縄参加報告	伊敷松太郎	256	1・2	29
第76回日本循環器学会学術集会参加報告	田崎　仁	258	5・6	17
第20回医療薬学フォーラム参加報告	比嘉浩一	260	9・10	35
第35回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプ参加報告	外間　登	261	11・12	64

薬と健康の週間

くすりと健康フェア（県民公開講演会）	宮城敦子	261	11・12	45
薬祖祭・街頭キャンペーン・平成24年度薬と健康の週間表		261	11・12	50

会務ハイライト

平成23年度第２回地区薬剤師会会長会議	糸嶺　達	257	3・4	5
第76回臨時代議員会開催	前濱朋子	257	3・4	6
第77回通常代議員会開催	大城喜仁	258	5・6	3
平成24年度調剤報酬改定等説明会開催報告	吉田洋史	258	5・6	6
平成24年度第１回地区薬剤師会会長会議報告	糸嶺　達	259	7・8	50
第５回熟年の集い開催	鈴木一徳	260	9・10	6
平成24年度医薬分業対策会議報告	西川　裕	260	9・10	8
なごみ会主催第２回県民健康フェア報告	上原幸代	260	9・10	12
平成24年度第１回日本薬剤師会九州ブロック会議報告	吉田洋史	261	11・12	52

研修会

平成23年度自殺予防対策事業ゲートキーパー養成研修会報告	村田美智子	256	1・2	20
医薬分業対策委員会主催研修会報告	西川　裕	257	3・4	8
改正薬事法対応研修会報告	島袋さゆり	257	3・4	10
第２回在宅医療に関する講習会報告	又吉智賀子	257	3・4	12
平成23年度医療安全講習会報告	吉冨弓江	257	3・4	14
2012公認スポーツファーマシスト実務講習会報告	大城恭子	257	3・4	16
平成23年度ゲートキーパー養成研修会開催にあたり	村田美智子	257	3・4	17
平成23年度ゲートキーパー養成研修会報告	比嘉佳穂子	257	3・4	18
平成23年度ゲートキーパー養成研修会アンケート結果				
（財）沖縄県立総合精神保健福祉センター		257	3・4	20
平成24年度改正薬事法対応研修会報告	新垣秀幸	258	5・6	7
第13回公開「認定実務実習指導薬剤師」養成講習会報告	佐藤雅美	259	7・8	52
平成24年度新任・新人薬剤師研修会報告	亀谷浩昌	260	9・10	15
～見やすいスライドを作成するために～	亀谷浩昌	260	9・10	19
開局委員会主催第１回スキルアップ研修会報告	島袋さゆり	260	9・10	20
認定実務実習指導薬剤師養成講習会報告	宮城幸枝	260	9・10	22
開局委員会主催第２回スキルアップ研修会報告	新垣秀幸	261	11・12	54
平成24年度高度管理医療機器等継続研修会報告	山城　専	261	11・12	55

委員会だより

後発医薬品への変更調剤についてのアンケート調査結果報告	池間記世	256	1・2	22
「新任薬剤師のための調剤事故防止テキスト（第二版）」発行	具志堅興信	256	1・2	25
公益性ある会報誌をめざして	亀谷浩昌	256	1・2	31
記念に写真を撮って差し上げます！	広報委員会	257	3・4	69
お薬手帳販売のご案内･･･２種類のお薬手帳を揃えています	お薬手帳検討委員会	258	5・6	2

記念に写真を撮って差し上げます！	広報委員会	258	5・6	45
記念に写真を撮って差し上げます！	広報委員会	261	11・12	55

実務実習

平成24年度第Ⅰ期薬学生実務実習終了！！	我喜屋美香	259	7・8	53
平成24年度薬学生実務実習Ⅰ期生からの体験記・感想		259	7・8	54
平成24年度第Ⅱ期薬学生実務実習報告	我喜屋美香	261	11・12	56
平成24年度薬学生実務実習Ⅱ期生からの体験記・感想		261	11・12	57

部会だより

女性薬剤師部会主催第10回漢方講座報告	玉城有子・与儀和子	257	3・4	22
平成23年度診療ガイドライン薬剤コース・スクーリング開催・報告にあたり	村田美智子	257	3・4	24
平成23年度診療ガイドライン薬剤コース・スクーリング報告	仲村すがよ・長元恒子・金城昭子・外間安次・平田逸子・國吉直子	257	3・4	25
学校薬剤師会の動向	池間　正	257	3・4	32
学校薬剤師について、知っていますか？	前濱朋子	257	3・4	33
違法ドラッグの法規制：薬事法指定薬物（指定薬物一覧）	吉田久子	257	3・4	35
平成24年度学校薬剤師新任研修会報告	大城恭子	258	5・6	8
平成24年度学校環境衛生・安全管理講習会参加報告	上間睦美	258	5・6	9
学校薬剤師について、知っていますか？～空気について～	大城恭子	258	5・6	10
第７回青年薬剤師部会通常総会報告	佐川和徳	259	7・8	56
第40回学校薬剤師会通常総会・研修会報告	柴田忠佳	259	7・8	57
沖縄県薬物乱用防止協会総会＆協会表彰報告	前濱朋子	259	7・8	57
教室内の騒音測定について（騒音測定に関する研修会）	知名博樹	259	7・8	58
騒音測定雑感	渡嘉敷見	259	7・8	59
那覇地区学校保健会功労者表彰（被表彰者：新垣美恵子先生）	前濱朋子	259	7・8	60
学校薬剤師の活動～薬と健康の週間～	吉田久子	259	7・8	60
薬の正しい使い方・薬物乱用防止の講話 実施一覧表		259	7・8	61
第８回保険薬局部会総会・研修会報告	川上善久	259	7・8	62
第41回沖縄県病院薬剤師会通常総会報告	田場英治	259	7・8	64
女性薬剤師部会主催第11回漢方講座報告	金城昭子・山田敦子	260	9・10	24
女性薬剤師部会平成24年通常総会報告	与儀和子	260	9・10	26
一般社団法人日本女性薬剤師会第４回定時社員総会・学術講演会報告	狩俣イソ	260	9・10	27
学校薬剤師部会研修会報告	草壁瑞恵	260	9・10	28
学校薬剤師について、知っていますか？～採光及び照明～	柴田忠佳	260	9・10	29
学校薬剤師について知っていますか？～手洗いとインフルエンザ～	久場加代子	261	11・12	74

月例相談会

第98回健康とおくすり相談会報告（八重山地区薬剤師会）	宮良善朗	256	1・2	26
第99回健康とおくすり相談会報告（宮古地区薬剤師会）	前里由紀子	256	1・2	27
第100回健康とおくすり相談会報告（中部地区薬剤師会）	茹　初子	256	1・2	28
第101回健康とおくすり相談会報告（那覇地区薬剤師会）	姫野耕一	257	3・4	38
第101回健康とおくすり相談会印象記	西原浩也	257	3・4	39
第102回健康とおくすり相談会報告（那覇地区薬剤師会）	具志堅興信	259	7・8	70
第103回健康とおくすり相談会報告（八重山地区薬剤師会）	森　　巧	259	7・8	71
第104回健康とおくすり相談会報告（那覇地区薬剤師会）	伊是名秀平	260	9・10	23
第105回健康とおくすり相談会報告（南部地区薬剤師会）	新垣秀幸	261	11・12	62
第106回健康とおくすり相談会報告（那覇地区薬剤師会）	姫野さやか	261	11・12	63

会議レポート

平成23年度全国職能対策実務担当者会議報告	川上善久	257	3・4	44
平成23年度日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議に参加して	宮城幸枝	257	3・4	46
平成23年度薬局実務実習担当者全国会議参加報告	佐藤雅美	257	3・4	47
平成23年度医薬分業指導者協議会報告	池間記世	258	5・6	14
平成24年度沖縄県禁煙協議会総会報告	我喜屋美香	260	9・10	30

研修レポート

平成23年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会に参加して	吉冨弓江	257	3・4	48
平成23年度日本医薬品卸勤務薬剤師会フォーラム参加報告	森下彰久	257	3・4	49
平成24年度日本医薬品卸勤務薬剤師会研修会参加報告	安次富長洋	258	5・6	15
第42回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 九州・福岡参加報告	野村久子・大塚成一郎・金城奈々美	260	9・10	31

薬草学

『くらしの中の薬草学』連載にあたって	宮城敦子・村田美智子	257	3・4	66
身近な薬草を知ろう　第１回 春ウコン（姜黄）	狩俣イソ	257	3・4	67
身近な薬草を知ろう　第２回 パッションフルーツ	狩俣イソ	258	5・6	36
暮らしの中の薬草学　第３回 ラッカセイ	狩俣イソ	259	7・8	98
暮らしの中の薬草学　第４回 クミスクチン	狩俣イソ	260	9・10	54
暮らしの中の薬草学　第５回 クワンソウ（アキノワスレグサ）	狩俣イソ	261	11・12	90

ＦＡＰＡ

アジア薬剤師連合学術大会（ＦＡＰＡ２０１２）に参加して	玉城武範	261	11・12	71

同窓会

名城大学薬学部公開講演会に参加して	久手堅奈央	260	9・10	34

啓蒙・普及活動

平成23年度自殺対策強化月間チラシ等配布報告　大城喜仁　257　3・4　41
健康づくり支援事業「リーダー養成講習会」報告
（財）沖縄県老人クラブ連合会事務局　257　3・4　42
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6.26ヤング街頭キャンペーン　259　7・8　75
しごとミュージアム参加報告　大城喜仁　259　7・8　76
偽造・変造処方せんに関する注意喚起ポスターについて　糸嶺　達　259　7・8　79

薬業連合会

平成24年第57回沖縄県薬業連合会理事会・総会及び懇親会報告　稲福文隆　259　7・8　69

九山薬学大会

第74回九州山口薬学大会医療安全対策連絡協議会報告　吉冨弓江　261　11・12　68

日薬学術大会

第45回日本薬剤師会学術大会参加報告　川上雄一朗　261　11・12　68

沖縄学術大会

第26回沖縄県薬剤師会学術大会報告　亀谷浩昌　261　11・12　31
第26回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム　261　11・12　33
第26回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会報告　大城喜仁　261　11・12　38
第26回沖縄県薬剤師会学術大会会員発表審査報告
笠原大吾・伊藤昌徳・山里 勇　261　11・12　40
第26回沖縄県薬剤師会学術大会奨励賞受賞発表要旨　261　11・12　42

地区・支部だより

那覇地区薬剤師会平成23年ボウリング大会および忘年会報告　宮里　直　256　1・2　30
平成24年度宮古地区薬剤師会総会報告　前里由紀子　258　5・6　12
平成23年度八重山地区薬剤師会総会報告　山城　専　258　5・6　13
八重山地区薬剤師会研修会・調剤報酬改定等説明会
ならびに医療安全講習会開催　大城喜仁　258　5・6　13
第10回北部地区薬剤師会定時総会報告　北部地区薬剤師会事務局　259　7・8　72
平成23年度中部地区薬剤師会総会報告　劼　初子　259　7・8　73
第16回那覇地区薬剤師会通常総会報告　那覇地区薬剤師会事務局　259　7・8　74
平成24年度南部地区薬剤師会総会報告　新垣秀幸　259　7・8　75

その他報告

沖縄の食と農とくらしを守るＴＰＰ参加阻止県民集会参加報告　大城喜仁　258　5・6　18
沖縄全戦没者追悼式に参列して　亀谷浩昌　259　7・8　68

県民の皆様へ

あまくま薬立つ情報（禁煙サポート薬局一覧）		256	1・2	31
あまくま薬立つ情報（訪問服薬指導実施薬局一覧）		257	3・4	51
あまくま薬立つ情報（訪問服薬指導実施薬局一覧）		258	5・6	19
あまくま薬立つ情報		259	7・8	80
あまくま薬立つ情報～禁煙サポート薬局の紹介～		260	9・10	37
あまくま薬立つ情報		261	11・12	87

試験検査センター

機器の更新について	試験検査センター	258	5・6	33

ＤＩ

薬事情報おきなわ　№.２１４	薬事情報センター	256	1・2	33
薬事情報おきなわ　№.２１５	薬事情報センター	257	3・4	53
薬事情報おきなわ　№.２１６	薬事情報センター	258	5・6	21
薬事情報おきなわ　№.２１７	薬事情報センター	259	7・8	81
薬事情報おきなわ　№.２１８	薬事情報センター	260	9・10	39
薬事情報おきなわ　№.２１９	薬事情報センター	261	11・12	75

薬学の歴史

「ＧＲＥＡＴ　ＭＯＭＥＮＴＳ　ＩＮ　ＰＨＡＲＭＡＣＹ－薬学の歴史」 ～連載にあたり～	亀谷浩昌	256	1・2	47
第１回　薬学の黎明期		256	1・2	48
第２回　古代バビロニア王国の薬学		256	1・2	49
第３回　古代中国の薬学		257	3・4	70
第４回　パピルス古文書の時代		257	3・4	71
第５回　植物学の父、テオフラストス		258	5・6	34
第６回　王室の毒物学者、ミトリダテス６世		258	5・6	35
第７回　商標が付けられた最初の薬、Ｔｅｒｒａ　Ｓｉｇｉｌｌａｔａ		259	7・8	96
第８回　薬に目を向けた科学者、ディオスコリデス		259	7・8	97
第９回　薬剤調合の実験者、ガレノス		260	9・10	52
第10回　薬学の守護聖人、ダミアンとコスマス		260	9・10	53
第11回　修道院の薬学		261	11・12	88
第12回　最初の薬局		261	11・12	89

Spot Light

渡久山京子先生 ～真理を求めて～	池間記世	257	3・4	72
宮良善久先生 ～日本の医薬分業の始まりに関わって～	前濱朋子	258	5・6	38
浜元朝孝先生 ～会営薬局とよみ開局の立役者～	前濱朋子	259	7・8	100
具志堅博一先生 ～災いを福に転じて人生は楽しい！～	池間記世	260	9・10	56

病診内薬局訪問

(財) 沖縄県総合保健協会	亀谷浩昌	256	1・2	50
医療法人上善会 かりゆし病院	宮城敦子	258	5・6	40

薬局訪問

はいさい！中央薬局 ～人生はコツコツと、真面目が一番!!～	池間記世	258	5・6	42
はいさい！恩納薬局 ～ひたすら走り続けて～	池間記世	259	7・8	102

リレー随筆

奈良旅行	與世平千夏	256	1・2	52
投薬を通して学んだこと	山城瑞乃	257	3・4	74
八重山案内 ～野底マーペー～	宮良善朗	258	5・6	44
リバウンドなう	藤原明人	259	7・8	104
２足の草鞋	宮里有美	260	9・10	58
授乳婦と薬剤	伊差川サヤカ	261	11・12	92

ぶれいくたいむ

最南端の学薬奮闘記	大浜貴子	258	5・6	11
石垣島取材同行記	亀谷浩昌	258	5・6	46

卒煙物語

その３３　アンケートから	え ん こ	256	1・2	53
その３４　ツボ	え ん こ	257	3・4	76
その３５　僕は吸わない	え ん こ	258	5・6	48
その３６　きっかけ	え ん こ	259	7・8	105
その３７　休憩	え ん こ	260	9・10	59
その３８　２回目	え ん こ	261	11・12	94

理事会

平成23年度　第４回定例理事会議事概要		256	1・2	60
平成23年度　第５回定例理事会議事概要		256	1・2	65
平成23年度　第６回定例理事会議事概要		256	1・2	69
平成23年度　第７回定例理事会議事概要		256	1・2	72
平成23年度　第８回定例理事会議事概要		257	3・4	82
平成23年度　第９回定例理事会議事概要		257	3・4	88
平成23年度　第10回定例理事会議事概要		257	3・4	93
平成23年度　第11回定例理事会議事概要		257	3・4	98
平成23年度　第12回定例理事会議事概要		257	3・4	103
平成23年度　第13回定例理事会議事概要		257	3・4	111
平成24年度　第１回定例理事会議事概要		259	7・8	108
平成24年度　第２回定例理事会議事概要		259	7・8	113
平成24年度　第３回定例理事会議事概要		259	7・8	118

日薬通達

平成24年２月薬剤師賠償責任保険募集のお知らせ	256	1・2	58
保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則等の一部改正について	257	3・4	78
平成24年度診療報酬改定等に伴う疑義解釈資料の送付について	258	5・6	50
疑義解釈資料の送付について（その８）	260	9・10	65
保険調剤等におけるポイント付与を原則禁止する件について（保険医療機関及び保険医療養担当規則等の一部改正に伴う施行の件）	260	9・10	65

行政通達

処方せんのコピーは「ダメ！ゼッタイ！！」	256	1・2	57
違法ドラッグから「指定薬物」検出！	257	3・4	77
資格関係誤りレセピトの未然防止について（お願い）	260	9・10	69

薬連だより

第４回全国若手薬剤師指導者育成フォーラム参加報告	玉城武範	256	1・2	54
藤井もとゆき国会レポート～次期医療費改定の大枠が決定～	藤井もとゆき	256	1・2	56
沖縄県若手薬剤師フォーラム報告	佐川和徳	257	3・4	80
藤井もとゆき国会レポート　～質問主意書～	藤井もとゆき	257	3・4	81
藤井もとゆき国会レポート　～一体改革法案が審議入り～	藤井もとゆき	258	5・6	49
平成24年度沖縄県薬剤師連盟総会報告	山城英人	259	7・8	106
藤井もとゆき国会レポート	藤井もとゆき	259	7・8	107
第１回九州ブロック・山口県若手薬剤師フォーラム参加報告	吉田久子・西川裕・宮良善朗・藤原明人	260	9・10	60
藤井もとゆき国会レポート　～第180回通常国会が閉会～	藤井もとゆき	260	9・10	64
第５回若手薬剤師指導者育成フォーラム報告	吉田将司	261	11・12	95
平成24年度日本薬剤師連盟九州ブロック協議会が開催される	吉田久子	261	11・12	96
石波茂自民党幹事長と医療関係団体との懇談会	山城英人	261	11・12	98
藤井もとゆき国会レポート～秋の臨時国会が始まる～	藤井もとゆき	261	11・12	99
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成23年12月・平成24年１月）		256	1・2	56
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成24年２月・平成24年３月）		257	3・4	117
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成24年４月・５月分）		258	5・6	66
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成24年６月・７月分）		259	7・8	106
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成24年８月・９月分）		260	9・10	81
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成24年10月・11月分）		261	11・12	124

告知ポスター

くすりと健康フェア（県民公開講演会）配布用告知ポスター	261	11・12	100

転載記事

「受診が面倒」処方箋偽造の疑い		256	1・2	57
第73回九州山口薬学大会関連記事（特別講演Ⅰ・Ⅱ）		256	1・2	82
学校保健の功績 教育長に大臣賞報告　渡嘉敷見先生		256	1・2	82
竹富で初の薬剤師会相談会～薬手帳でアドバイス～		256	1・2	83
日本薬剤師会 一般紙（読売新聞）への啓発広告記事		256	1・2	84
希望のヒマワリ 沖縄から仙台へ（種送った県薬事務局の山城係長ご家族）		256	1・2	86
交通遺児育成に63万円余を寄付（県内医療４団体）		257	3・4	40
くすり教育始動 中学校 来月から完全義務化		257	3・4	118
喫煙や飲酒の人体影響学ぶ 安田小で薬物教室（笠原大吾先生）		257	3・4	118
論壇「人生狂わす違法ドラッグ」（吉田久子先生）		257	3・4	119
日本薬剤師会 一般紙（読売新聞）への啓発広告記事		257	3・4	120
書籍紹介コーナー晴読雨読「才女にささぐ敬愛の念」（宮里晄子先生）		257	3・4	122
沖縄忌俳句大会開催今年が最後（宮里晄子先生）		257	3・4	122
第24回なんぶトリムマラソン・ピタリ賞（佐川和徳先生）		257	3・4	122
春の叙勲 旭日双光章に我喜屋宏先生が受章		258	5・6	2
週刊「薬事新報」第2734号論壇（亀谷浩昌先生執筆）		258	5・6	60
日薬雑誌「温故知新」に新垣薬局（糸満市）		259	7・8	124
処方箋偽造防止へポスターを作成 県薬剤師会など		259	7・8	125
薬剤師会が相談会 お薬の悩みに回答 石垣公民館に住民集う		259	7・8	125
宜野湾で県民健康フェア		259	7・8	126
たばこ、酒はだめ 伊江中で薬剤師笠原さん講演		259	7・8	126
沖縄タイムス賞 豊平峰雲氏が受賞		259	7・8	127
薬物乱用防止へ 街頭で資料配付		259	7・8	127
誘い断る勇気を 首里高で薬物防止講話		259	7・8	127
九州山口薬学会会報論文奨励賞受賞作品（比嘉浩一先生）		260	9・10	71
第２回なごみ会主催県民健康フェア2012関連記事		260	9・10	76
争論 医薬品のネット販売		260	9・10	77
くすりと健康フェア（県民公開講演会）開催案内告知記事		261	11・12	101
論壇 お薬手帳持参忘れずに～安心安全な処方に必要～	池間記世	261	11・12	102
論壇 違法ドラッグ乱用防止を～学校での教育徹底が重要～	前濱朋子	261	11・12	103
盲目の大城さん 健康と笑顔歌う～県・薬剤師会フェア～		261	11・12	104
季節風「薬と健康の週間」街頭キャンペーン		261	11・12	104
広報委員会による「くすりと健康フェア」告知の記事		261	11・12	104
薬は正しく飲もう「健康週間」でパンフ配布（宮古地区薬剤師会）		261	11・12	105
「お薬手帳」で健康の管理を（一般投稿記事より）		261	11・12	105
琉球人形通し文化発信～多分野のご活躍の久場とよ先生～		261	11・12	106
探せグッジョブ！～久米島小の16人・薬局や郵便局へ～		261	11・12	106
ティータイム　年金食（一般投稿記事より）		261	11・12	106
論壇　障がい者への虐待防げ～当会指導弁護士の論壇記事を紹介～		261	11・12	107

一包一話

旅の一座	橋 の 下	256	1・2	80
春の遠足	橋 の 下	257	3・4	112
節目、節目に節目を考える	橋 の 下	258	5・6	62

会務報告

平成23年12月19日～平成24年１月31日分	256	1・2	78
平成24年２月24日～平成24年４月15日分	257	3・4	114
平成24年４月～５月分	258	5・6	64
平成24年６月～７月分	259	7・8	128
平成24年８月～９月分	260	9・10	78
平成24年10月～11月分	261	11・12	120

訃 報

新本一成先生、山城興一郎先生	260	9・10	82
上原克美先生、平山靖先生	261	11・12	123

会員作品（誌上ギャラリー・薬剤師川柳）

平成23年誌上ギャラリー大賞・優秀作品

写真「ママと握手」（大賞）	鈴木一徳	256	1・2	裏表紙
写真「利尻島沖にて」（優秀作品）	山里美恵子	256	1・2	裏表紙
写真「屋久島のシンボル“屋久杉”」（優秀作品）	笠原大吾	256	1・2	裏表紙
写真「遅咲きでも頑張ってる」	松山朝雄	257	3・4	裏表紙
写真「浮見堂」	與世平千夏	257	3・4	裏表紙
写真「カト・ミリの風車」	山里美恵子	257	3・4	裏表紙
写真「うりずん」	玉山善正	257	3・4	裏表紙
写真「野底マーペー」	宮良善朗	258	5・6	裏表紙
写真「がらがらどんだ！！」	岡林　薫	258	5・6	裏表紙
写真「オオゴマダラ」	宮良善久	258	5・6	裏表紙
写真「バナナの葉」	宮良夏子	258	5・6	裏表紙
写真「国頭村楚洲海岸」	新垣慶朗	259	7・8	裏表紙
写真「酔フヨウの花」	玉山善正	259	7・8	裏表紙
写真「泊港にて」	鈴木一徳	259	7・8	裏表紙
写真「沖縄平和祈念像」	吉田久子	259	7・8	裏表紙
写真「青森県黒石のりんご園にて」	吉田久子	260	9・10	裏表紙
写真「夏の宮島」	村上市子	260	9・10	裏表紙
写真「樹齢300年の巨大ガジュマル」	玉山善正	260	9・10	裏表紙
写真「雲海に浮かぶ富士山」	吉田久子	261	11・12	裏表紙
写真「ウコン」	吉川敏男	261	11・12	裏表紙
写真「ロンドンのピカデリーサーカス」	宮城敦子	261	11・12	裏表紙
写真「石垣島の珊瑚礁」	宮良夏子	261	11・12	裏表紙

太田節子先生の作品（書）を紹介	260	9・10	82
薬剤師川柳 会長賞・優秀賞 発表！ ～薬剤師川柳募集	256	1・2	87
薬剤師川柳 作品募集中！	257	3・4	123

○以下のコーナーについては、ページ等の詳細は省略いたします。

編集後記

お知らせ
平成23年度ゲートキーパー養成研修会開催案内
県薬が会員に販売している印刷物等
研修認定薬剤師になるには
会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について
会報原稿募集のご案内
第67回通常総会・特別講演会のご案内
第26回沖縄県薬剤師会学術大会の演題の募集について
くすりと健康フェア（県民公開講演会）のご案内
第２回県民健康フェア２０１２開催案内
第26回沖縄県薬剤師会学術大会参加案内について
第２回スキルアップ研修会開催案内
日本薬剤師生涯学習支援システムＪＰＡＬＳについて
沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内

平成24年10月

２火○平成２４年度第２回医薬品事故・過誤対策委員会　県薬会議室
　○第２回不動在庫・備蓄ネットワーク委員会　県薬研修室
　○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会　社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室　社会保険医療担当：仲真良重氏
３水○第７回定例幹事会　県薬会議室
　○くすりと健康フェアに関する薬務疾病対策課との事前打ち合わせ　那覇市パレット市民劇場　稲福・大城両係長
　○くすりと健康フェアＰＲ活動（那覇市自治会長会訪問）　那覇市真和志支所　前濱理事（広報委員会）
　○くすりと健康フェアＰＲ活動（那覇市自治会長会訪問）　那覇市協働大使活動支援センター　宮城理事（広報委員会）
４木○役員及び代議員の選挙規程整備に関する打ち合わせ会議　照屋俊幸法律事務所　山城理事、大城係長
　○動脈硬化性疾患予防ガイドライン２０１２年版 普及啓発共催セミナー沖縄　ホテル日航那覇グランドキャッスル　共催：ノバルティスファーマ(株)
５金○くすりと健康フェアＰＲ活動（那覇市自治会長会訪問）　那覇市首里支所　亀谷常任理事（広報委員会）
　○くすりと健康フェアＰＲ活動（那覇市自治会長会訪問）　那覇市小禄支所　大城係長
　○第３回那覇・浦添 コ・メディカル糖尿病セミナー　浦添市産業振興センター・結の町　共催：ＭＳＤ(株)
６土○第１回都道府県会長協議会　オークラアクトシティホテル浜松　神村会長
７日○第４５回日本薬剤師会学術大会　アクトシティ浜松・オークラアクトシティホテル浜松・他（静岡県）　神村会長
　○平成２４年度全国薬剤師研修協議会実務担当者会議　アクトシティ浜松研修交流センター（静岡県）　亀谷常任理事
８月○**第４５回日本薬剤師会学術大会**　アクトシティ浜松・オークラアクトシティホテル浜松・他（静岡県）
９火○日本薬剤師会災害対策委員会　日薬　吉田副会長
10水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会　社会保険診療報酬支払基金沖縄支部　神村会長
　○表彰選考諮問委員会　県薬会議室
　○保健福祉委員会　県薬研修室
11木○くすりと健康フェア告知のための地元紙訪問　琉球新報社、沖縄タイムス社　宮城・前濱両理事、大城係長
　○個別指導（２薬局）　県庁　社会保険医療担当：仲真良重氏
　○薬学生実務実習（ＤＩ業務について）　県薬薬事情報センター室　吉田典子・大城恭子（ＤＩ）
12金○第９回セロトニン関連障害研究会　ザ・ナハテラス　共催：Ｍｅｉｊｉ　Ｓｅｉｋａファルマ(株)
　○沖縄パニック障害学術講演会　沖縄県医師会館　共催：ファイザー(株)
13土○第７回定例理事会　県薬研修室

15月○会計監査（会営薬局）　県薬会議室　仲程みちの税理士、事務局金城・與那嶺
16火○ＭＲＳＡフォーラムｉｎ　ＯＫＩＮＡＷＡ　ラグナガーデンホテル　共催：ファイザー(株)
17水○沖縄県精神疾患対策検討会　県庁　比嘉佳穂子委員（自殺対策検討委員会）
○**第１０５回健康とおくすり相談会**　パレット市民劇場ロビー　担当：南部地区薬剤師会
○**くすりと健康フェア（県民公開講演会）**　パレット市民劇場　講師：やなせなな・大城友弥
○第５回利尿薬を見直すフォーラム　沖縄県医師会館　共催：大日本住友製薬(株)
19金○第１６回　腎と高血圧研究会　沖縄県医師会館　共催：ファイザー(株)
20土○**「薬と健康の週間」街頭キャンペーン**　サンエーショッピングタウン宮古前　宮古地区薬剤師会、沖縄県
○**「薬と健康の週間」街頭キャンペーン**　イオン名護店　北部地区薬剤師会、沖縄県
○**「薬と健康の週間」街頭キャンペーン**　サンエー石垣シティ前　八重山地区薬剤師会、沖縄県
21日○**平成２４年度高度管理医療機器継続研修会**　県薬ホール　共催：テルモ(株)
22月○**薬祖祭**　波之上本殿　吉田副会長、大城監事、山城・稲福・大城各係長
○**「薬と健康の週間」街頭キャンペーン**　パレットくもじ前広場　沖縄県薬業連合会・沖縄県
○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会第１次審査　社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室　社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
23火○**平成２４年度薬事功労者厚生労働大臣表彰式**　厚生労働省講堂　（被表彰者）大橋得二氏
○**平成２４年度沖縄県薬事功労者知事表彰表彰式**　沖縄県福祉保健部長室　金城栄一氏・田場英治氏（被表彰者)、神村会長、大城係長
○平成２４年度第４回薬剤師学術研修委員会　県薬研修室
24水○第２回沖縄小児アレルギー疾患セミナー　ホテル日航那覇グランドキャッスル　共催：ＭＳＤ(株)
25木○個別指導（２薬局）　沖縄県宮古合同庁舎　吉田副会長
○薬学生実務実習（ＤＩ業務について）　県薬薬事情報センター室　吉田・大城（ＤＩ）
○沖縄県老人クラブ連合会　創立５０周年・公益財団法人移行記念祝賀会　総合結婚式場ジュビランス　江夏常任理事・吉田久子氏
○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会　社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室　社会保険医療担当：仲真良重氏、照屋林一郎氏
○平成２４年度第３回選挙管理委員会　県薬会議室
26金○個別指導（１薬局）　沖縄県宮古合同庁舎　吉田副会長
○平成２５年度以降の会費徴収に係る全国担当者会議（第２回）　日本薬剤師会館　糸嶺理事、山城係長・宮城（事務局）
○食品の安全・安心意見交換会　県庁　笠原理事
○第４回糖尿病週間学術講演会　ザ・ナハテラス　共催：ノボ ノルディスクファーマ(株)
○薬学生実務実習受入委員会　県薬研修室
28日○**開局委員会主催研修会 第２回スキルアップ研修会**　県薬研修室
29月○公益法人制度改革についての総務私学課との第４回打合せ　県庁　山城理事、前原新公益法人制度改革委員会委員長、山城係長・宮城
30火○健康おきなわ２１　第２回分野別検討委員会（タバコ）　県庁　笠原理事
○平成２４年度第３回スポーツファーマシスト委員会　県薬会議室

平成24年11月

１木○薬学生実務実習（夜間救急について）　会営薬局医療センター前　新城薬局長
２金○第二十一回麻薬・覚醒剤乱用防止運動沖縄地区大会　浦添市てだこホール　神村会長、大城係長
○日本医業経営コンサルタント大会懇親会　沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ　吉田副会長
○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会　社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室　社会保険医療担当：仲真良重氏
５月○平成２４年度第３回開局委員会　県薬会議室
６火○薬学生実務実習（夜間救急について）　会営薬局医療センター前　新城薬局長
○沖縄肝臓栄養治療フォーラム　ホテル日航那覇グランドキャッスル　共催：大塚製薬(株)
○平成２４年度第３回不動在庫・備蓄ネットワーク委員会　県薬研修室
７水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会　社会保険診療報酬支払基金沖縄支部　神村会長
○平成２４年度第１回沖縄県医療保健連合（なごみ会）幹事会　沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ　神村会長、吉田副会長
○平成２４年度第１回沖縄県医療保健連合（なごみ会）懇談会　沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ　神村会長、宇野・吉田両副会長、江夏・亀谷・山里各常任理事
８木○個別指導（２薬局）　県庁　社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
○九州厚生局長来訪（表敬訪問）　県薬会長室　神村会長
○沖縄県ＬＳＭＰ（生活習慣病改善プログラム）学術講演会　ザ・ナハテラス　共催：ファイザー(株)
９金○**第４４回沖縄県公衆衛生大会長表彰式**　沖縄県市町村自治会館　我喜屋美香氏（被表彰者）、吉田久子氏、前濱朋子理事、大城係長
○サムスカ学術講演会　ちばなクリニック　共催：大塚製薬(株)
○第３回琉球精神薬理研究会Ryukyu Conference of Psychopharmcoligy（ＲＣＰ）　ザ・ナハテラス　共催：大塚製薬(株)
10土○**平成２４年度第１回日本薬剤師会九州ブロック会議**　自治会館
11日○**第２６回沖縄県薬剤師会学術大会**　県薬・県医師会館　共催：沖縄県病院薬剤師会
12月○役員及び代議員の選挙規程整備に関する第２回打ち合わせ会議　照屋俊幸法律事務所　山城理事、大城係長
13火○第８回定例幹事会　県薬会議室
14水○第４回沖縄Airway Conference　沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ　共催：杏林製薬(株)
15木○個別指導（２薬局）　県庁　社会保険医療担当：仲真良重氏
○第四回沖縄ＣＫＤ－ＭＢＤ研究会　ザ・ナハテラス　共催：バイエル薬品(株)
16金○沖縄県Ｕターン・Ｉターン希望薬学部学生との進路相談・説明・懇談会（１８日迄）　北陸大学　川満直紀青年部副部長、大城係長
○腎疾患と薬物治療を考える会　県薬ホール　共催：興和創薬(株)
○第３４回おきなわこどもＣＭＥ～げんきながっこう生活をおくるために～　沖縄県医師会館　共催：グラクソ・スミスクライン(株)
17土○第８回定例理事会　県薬研修室

18日 ○**第１０６回健康とおくすり相談会**　サンエー那覇メインプレイス　担当：那覇地区薬剤師会
○**平成２４年度高度管理医療機器等継続研修会（宮古地区）**　宮古福祉保健所　講師：吉田副会長
19月 ○**平成２４年度高度管理医療機器等継続研修会（八重山地区）**　大濱信泉記念館（石垣市）講師：吉田副会長
○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会　社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室　社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
20火 ○ＯＫＩＮＡＷＡ　Ａｓｔｈｍａ　Ｓｅｍｉｎａｒ～喘息の新ステージへ～　ザ・ナハテラス　共催：アステラス製薬(株)
21水 ○第２回　沖縄県アレルギー性鼻炎学術講演会　沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ　共催：ＭＳＤ(株)
22木 ○第１８期沖縄県自然環境保全審議会委員委嘱辞令交付式及び沖縄県自然環境保全審議会　県庁　宮城理事
○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会　社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室　社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
26月 ○保険薬局部会役員会　県薬部会室
27火 ○平成２４年度第３回医薬品事故・過誤対策委員会　県薬研修室
29木 ○個別指導（２薬局）　県庁　社会保険医療担当：仲真良重氏
○平成２４年度第１回沖縄県自然環境保全審議会自然公園・温泉部会及び現地調査　現地視察：本部町／温泉部会：本部町役場会議室　宮城理事
○平成２４年度第１回自殺対策検討委員会　県薬研修室
30金 ○２０１２年度公認スポーツファーマシスト認定制度特別講習会　品川フロントホテル（東京都）　大城恭子委員・伊藤昌徳委員（スポーツファーマシスト委員会）
○沖縄県病院薬剤師会精神科分科会勉強会　県薬ホール　共催：MeijiSeikaファルマ(株)
○中部地区脳卒中医療連携カンファレンス　中部地区医師会館　共催：バイエル薬品(株)

訃 報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

上原　克美 先生（享年66歳）　平成24年12月６日ご逝去
平山　　靖 先生（享年52歳）　平成24年12月12日ご逝去

会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、
沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
（香典・生花等の手配があります）

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願いします。

【連絡先】県薬事務局：０９８-９６３-８９３０

沖縄県薬剤師連盟会務報告

平成24年10月

15月○遠山清彦衆議院議員と語る女性の集い　かりゆしアーバンリゾート那覇　江夏副幹事長、新城光枝氏
○２０１２公明党政経文化セミナー　かりゆしアーバンリゾート那覇　江夏副幹事長、新城光枝氏
○比嘉なつみ氏を囲む会　パシフィックホテル沖縄　神村会長、吉田久子幹事長、江夏副幹事長
17水○石破茂 自由民主党幹事長との意見交換会　パシフィックホテル沖縄　神村会長、吉田幹事長、城間・江夏各副幹事長、山里・吉田・川満各総務、亀谷常任理事、新城光枝氏
22月○國場幸之助君を激励する集い　沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ　神村会長、吉田幹事長、城間・江夏各副幹事長、宮城総務、前濱朋子氏、太田節子氏、新城光枝氏
29月○翁長雄志那覇市長選挙立候補予定者への推薦状交付　ひやみかち・改革市民の会　神村会長、山城係長

平成24年１１月

３土○オナガ雄志・必勝出陣式　オナガ雄志選挙対策本部前広場　神村会長、吉田幹事長
５月○オナガ雄志女性部総会決起大会　沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ　吉田幹事長、江夏副幹事長、宮城総務、新城光枝氏、狩俣イソ氏、与儀和子氏、前濱朋子氏、事務局（山城係長・宮城・金城）
10土○平成２４年度日本薬剤師連盟九州ブロック協議会　沖縄県市町村自治会館　神村会長、吉田幹事長、城間・江夏・姫野各副幹事長、吉田・川満各総務、藤原明人氏、事務局（山城係長・金城・宮城）
14水○平成２４年度第２回全国会長・幹事長拡大会議　東京會舘　神村会長、城間盛光副幹事長
17土○第５回若手薬剤師指導者育成フォーラム（１８日迄）　福島県飯坂温泉　ホテル聚楽　吉田将司氏、伊敷松太郎氏
○比嘉なつみ氏と共に薬局訪問　うるま市・沖縄市　江夏副幹事長
19月○比嘉なつみ氏へ沖縄県薬剤師連盟からの推薦状交付　比嘉なつみ選対事務所　神村会長、山城係長
○コクバ幸之助氏へ沖縄県薬剤師連盟からの推薦状交付　コクバ幸之助選対事務所　神村会長、山城係長
26月○みやざき政久を国政に送る『女性の集い』 カルチャーリゾート フェストーネ　山城係長、與那嶺（事務局）
27火○ニシメ恒三郎氏へ沖縄県薬剤師連盟からの推薦状交付　ニシメ恒三郎選対事務所　神村会長、山城係長
○比嘉なつみ選挙事務所開き　比嘉なつみ選対事務所　神村会長、山城係長
○みやざき政久氏へ沖縄県薬剤師連盟からの推薦状交付　みやざき政久選対事務所　神村会長、山城係長
○沖縄県薬剤師連盟会議（中部地区）　ＥＭウェルネスリゾートコスタビスタ沖縄ホテル　神村会長、吉田幹事長、江夏副幹事長、山城係長、他

誌上ギャラリー(裏表紙)について

左上：「雲海に浮かぶ富士山」　photo by　吉田 久子（学校薬剤師）
右中央上：「ウコン」　photo by　吉川 敏男（吉川漢方薬局）
右中央下：「ロンドンのピカデリーサーカス」　photo by　宮城 敦子（クララ薬局）
左下：「石垣島の珊瑚礁」　photo by　宮良 夏子（こすも薬局）

編集後記

ついにというか、いよいよというか、６年制薬学部卒業生が私の周囲にも出現した。さる１１月の学術大会の司会を新制度卒の薬剤師が務めていたのだ。薬剤師新時代を象徴する彼らの登場を待ち望んでいた反面、旧教育を受けた我が身は薬剤師職能で後れを取るのではないかと焦りにも似た感覚が湧き上がった。対処策をぼんやりと考えながら大会業務をこなしていった。しばらくして行き着いた先はやはり生涯学習の着実な実践であった。形だけでなく、身に着く学習でなければならない。幸い今年は日本薬剤師会自前の生涯学習・認定薬剤師制度が発足した。これを軸に自分の能力を高めていくしかないな、と極めて当然の結論に至った。　（亀）

編集後記を書こうとして、ふと、今は１２月、この１年を振り返る時期になってしまっていることに気がついた。今年は調剤報酬改定の対応に追われて、例年にも増して矢のように過ぎ去った１年であった。沖縄県はジェネリック医薬品の使用率が全国一高いことが、各方面から注目され、県薬にはいろいろな問い合わせや調査以来があった。その中に総務省からのヒアリング調査があり、ジェネリック医薬品の使用率が高い薬局と、低い薬局を調査したいので選んで下さいとおっしゃる。その低い薬局に私のところが選ばれて（？）しまった。「監査ではないから大丈夫」と慰められたがやはり不安な気持ちで準備に追われた。調査後「このままではいけない」と思い、先発品一辺倒の医療機関に「直訴」して、やっと人並みに後発品使用率が上がったのである。ジェネリック医薬品にやっと慣れたかと思ったら、「お薬手帳の義務化」「一般名処方への対応」と次々と課題が出来、その対応に追われていたように思う。しかし課題も乗り越えれば、また新しい世界が見えてくることも分かって、非常に有意義な１年であったと感謝している。　（ピアナ）

初めての実務実習生の受け入れも何とか終え、１１月末に、大学での報告会＆指導薬剤師意見交換会へ参加した。神戸学院大学の煉瓦造りのおしゃれな校舎はまるでヨーロッパの大学を思わせる。大学では薬学部が６年生になってからの実習室（調剤室、エアーシャワー付き無菌室、フィジカルアセスメント実習室など）も見学させてもらった。フィジカルアセスメント実習用の人形とも初対面。投薬すると血圧などへ反応があり、バイタルサインチェックが出来るのだそうだ。そういえば、県薬と病薬の薬剤師の、琉球大学の研修センターでのフィジカルアセスメント講座もやがて1年となる。2年計画と聞いているが、来年、再来年、我々も実際に研修センターで実習する機会があるかもしれない。実習生受け入れ期間中に、薬局を訪問してくださった教授に、在宅訪問に向けた、フィジカルアセスメントミニ講座も開いていただいた。音叉を使った末梢神経障害の確認法、腕からの血圧測定が困難な患者さんの場合の、水銀血圧計を使った足首での血圧測定方法等を教えていただいた。足首で血圧が測れるって、驚きである。さて、先ほどの実習用の人形の名前は「スタンくん」。教授室で休憩中のスタン君を他の職員が見て、裸で先生が倒れていると騒ぎになったとか。う〜ん、確かにかなりリアルなのである。　（ＴＯＭＯ）

２０１２年もあっという間に過ぎようとしてます（毎年同じことを言ってますが…）。先日、今年の漢字が発表され「金」が選ばれました。ロンドンオリンピックでの金メダルラッシュ、東京スカイツリーの開業と数多くの金字塔が打ち立てられたという理由からみたいです。私の場合、何だろうと考えてたら…「健」でした。健康であってこそ普段の何気ない生活があるのだなと、また健康だから仕事も趣味もバリバリできると色々と感じた年でした。忙しくても食事と睡眠はきっちりとならくちゃ！来年はどんな字で表現できるでしょうか？　（クロップ）

社団法人 沖縄県薬剤師会
〒901-1105　沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10　http://www.okiyaku.or.jp　e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp
■事　務　局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932　■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946　■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1　TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567
■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1　TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報　第261号　平成24年12月17日発行
◇次号は、平成25年２月中旬発行予定です。
発行人：(社)沖縄県薬剤師会　会長 神村武之
編　集：広報委員会　委員長／亀谷浩昌　委員／宮城敦子・池間記世・前濱朋子・砂川智子・鈴木聡子・鈴木一徳
久米島通信員／山城晶　宮古地区通信員／前里由紀子　八重山地区通信員／宮良善朗　事務局／大城喜仁
印　刷：有限会社 金 城 印 刷

お知らせ

医療関係者の皆様へ

セーフティ情報もメールで配信
pmda メディナビ

PMDAメディナビは
医薬品・医療機器に関する
最新の安全性情報を
すぐにお届けします。

回覧

平成24年度診療報酬改定

PMDAメディナビなどにより
インターネットから最新情報を収集し、
関係者への周知を行うことが
病棟薬剤業務実施加算、基準調剤加算の
要件の一つとされました。

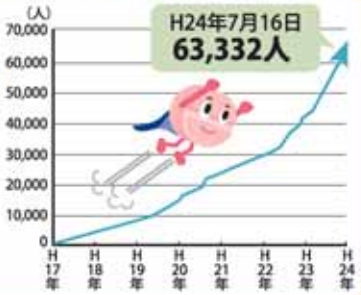
PMDAメディナビとは

医薬品・医療機器の安全性情報等に関する特に重要な情報が発出された際に、
いち早くメールで配信する無料の情報サービスです。

PMDAメディナビに登録すると、
いつも最新の安全性情報が
入手できます!

すでに登録者数
6万人突破

病院、一般診療所、
歯科診療所、薬局の
方など、幅広い方に
登録されています。



今すぐ!
ご登録は、こちら! PMDAメディナビ 検索
スマートフォンからも登録OK!

pmda
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

pmda メディナビ

ご登録は簡単！ 3ステップ

STEP 1 「PMDAメディナビ」にアクセス！

PMDAメディナビ　検索

http://www.info.pmda.go.jp/info/idx-push.html

スマホでもできるよ

STEP 2 必要事項を記入！ 必要な情報を、項目ごとに選択できます！

- ☑ 緊急安全性情報・安全性速報
- ☑ 医薬品・医療機器等安全性情報
- ☑ 使用上の注意改訂指示通知
- ☑ 自主点検通知
- ☑ DSU（医薬品安全対策情報）
- ☑ PMDA医療安全情報
- ☑ 回収情報（クラスⅠ）
- ☑ 承認情報（医療用医薬品/医療機器）
- ☑ 医薬品に関する評価中のリスク等情報

STEP 3 確認用メールが届いたら、本文中のリンク先にアクセス！

ご登録のメールアドレスに、本登録の確認用メールが届きます。
メール本文中のリンクをクリックすることにより登録が完了します。

登録が完了すると、安全性情報メールが配信されます。

メール配信

メール配信例

さらに便利なサービス！

登録オプション機能 マイ医薬品集作成サービス

利用者が必要な医薬品を登録することで、登録医薬品の添付文書、インタビューフォーム、患者向け医薬品ガイド等へのリンクを一覧表の形で保存、管理。利用者自身がカスタマイズできる医薬品集をWeb上に作成できるサービスです。

医薬品・医療機器 情報提供ホームページ http://www.info.pmda.go.jp

最新の医薬品・医療機器の添付文書情報を掲載しております。医療用医薬品について患者向けにわかりやすく説明した「患者向け医薬品ガイド」や副作用の早期発見を目的とした「重篤副作用疾患別対応マニュアル」などの掲載も行っております。ぜひご活用ください。

お問合せ先
push-master@pmda.go.jp

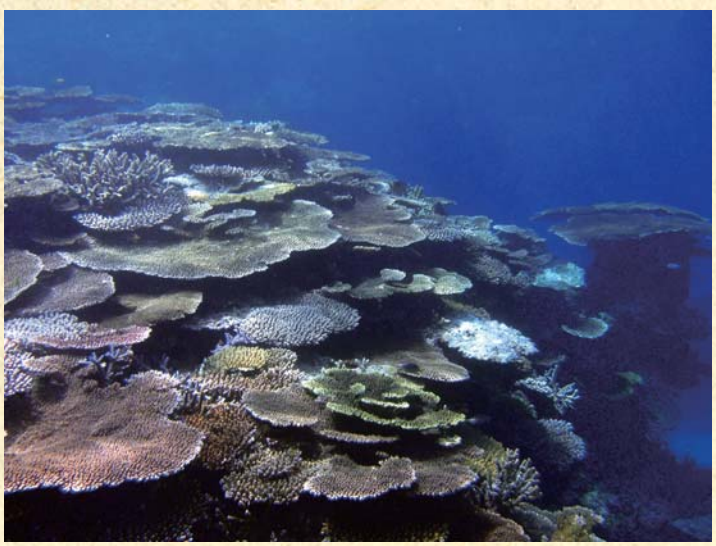
PMDA（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）について

PMDAは、医薬品の副作用や生物由来製品を介した感染等による健康被害に対して迅速な救済を図り（健康被害救済）、医薬品や医療機器などの品質、有効性および安全性について、治療前から承認までを一貫した体制で指導・審査し（承認審査）、市販後における安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う（安全対策）ことを通じて、国民保健の向上に貢献することを目的としています。

誌上ギャラリー

（会員作品）

お気軽にご投稿下さい。



定価四〇〇円（会員の購読料は含会費）